

國 情 義 義

2010年度

講 義 計 画

桃山学院大学

回

十

數

精

科目名 クラス 講義区分	
地誌 [4] 02<通期>	
野尻 亘	4単位

【講義概要】

地理学の応用領域である「地誌」の授業においては、世界および日本の諸地域の特色を理解し把握するために、人文・社会・自然環境の観点から総合的に考察を加える。あわせて、中学校社会科・高校地理歴史科授業のための地理教材研究・地域教材開発を行う。

【学習目標】

世界および日本の諸地域について、それらの全体的特色について、全般的・網羅的に学習するとともに、中学・高校の授業教材として活用する方法を検討する。学生自らが、身近な地域を事例に社会科地域教材を開発し、指導案を作成する実習を行う。

【講義計画】

- 第1回 序論
はじめに 地誌とは何か
- 第2回 社会科および地理教育と地域教材の重要性
- 第3回 等質地域と結節地域の概念の違い
- 第4回 I 世界地誌 世界の国々と人々
世界の国々と人々
- 第5回 世界の自然環境を大観する 地形・気候・農業的土地利用
- 第6回 東アジアの地誌
- 第7回 東南アジアの地誌
- 第8回 南アジアの地誌
- 第9回 西アジアと北アフリカの地誌
- 第10回 中・南アフリカの地誌
- 第11回 ヨーロッパの地誌(1)
- 第12回 ヨーロッパの地誌(2)
- 第13回 ロシア連邦と周辺諸国の地誌
- 第14回 アングロアメリカの地誌(1)
- 第15回 アングロアメリカの地誌(2)
- 第16回 ラテンアメリカの地誌
- 第17回 オセアニアと両極地方の地誌
- 第18回 世界の諸地域について教材化する
- 第19回 II 日本地誌 世界からみた日本
世界から見た日本
- 第20回 日本の諸地域 大都市圏と農村地帯 太平洋ベルト地帯と環日本海圏
太平洋ベルト地帯と環日本海圏
- 第21回 九州・沖縄の地誌
- 第22回 中国・四国の地誌
- 第23回 近畿地方の地誌
- 第24回 中部地方の地誌
- 第25回 関東地方の地誌
- 第26回 東北地方の地誌
- 第27回 北海道地方の地誌
- 第28回 変化する日本と世界の結びつき
- 第29回 身近な日本の諸地域を教材化する
- 第30回 地域教材の指導案づくり

【成績評価の方法】

レポート 50% 出席 50%
世界の諸地域を教材とした中学校社会科・高校地理の授業指導案を作成する。また身近な日本の諸地域を事例とした授業指導案を作成する。これらのレポートの提出を単位認定の条件とする。

【教科書】

教科書は使用しない。毎時間授業中に必要なプリントを配布する。

【参考文献】

地誌に関する文献については授業中に適時紹介する。
中学・高校時に使用した「地図帳」が家に残っていれば、授業に持参していただければ幸いです。

【備考】

<08~10生>のみ履修可。教職に関する随意科目。教職以外の卒業単位数には計上されません。
日常の復習として、大学図書館で世界諸地域の地理の本、地図帳を読んで、授業内容を再確認し、教員採用試験受験に備えてください。
・08~10生対象

科目名 クラス 講義区分	
知的財産法 <秋集>	
馬場 巖	4単位

【講義概要】

ガイドランス・知的財産権の目的・特許法・実用新案法・意匠法・商標・商号・著作権法・パブリシティの権利・不正競争防止法・種苗法の順番でおおのこの法律をみていきます。

なお、これらに関する事件・判例などが出た場合には、それについての授業にかえる場合があります。

【学習目標】

知的財産権は、いたって私達にとって身近な権利です。講義で詳しく話しますが、例をあげればカップヌードルや携帯電話などに関係しています。

知的財産権とは、特許法(発明)・実用新案法(考案)・意匠法(意匠)・商標法(商標)といった産業財産権と著作権法(著作物)、不正競争防止法・商号・種苗法などの無体物で財産的価値のあるものを対象にしています。

本授業では、これら知的財産権の基礎知識の習得を目指します。

【講義計画】

- 第1回 授業のガイドランス
- 第2回 知的所有権の概要
- 第3回 知的所有権が保護される根拠
- 第4回 知的所有権と民法の関係
- 第5回 まとめ
- 第6回 特許法の概要
- 第7回 特許法・発明
- 第8回 特許法・積極的要件
- 第9回 特許法・積極的要件・消極的要件
- 第10回 特許法・登録手続き
- 第11回 まとめ
- 第12回 実用新案権の概要
- 第13回 実用新案権
- 第14回 まとめ
- 第15回 意匠法の概要
- 第16回 意匠法・登録要件
- 第17回 意匠法・登録要件
- 第18回 意匠法・登録手続き
- 第19回 まとめ
- 第20回 商標法の概要
- 第21回 意匠法・登録要件
- 第22回 意匠法・登録要件
- 第23回 意匠法・登録要件
- 第24回 意匠法・登録手続き
- 第25回 まとめ
- 第26回 著作権の概要
- 第27回 著作権・著作物
- 第28回 著作権・著作権の制限
- 第29回 著作権・著作者人格権・登録
- 第30回 まとめ

【成績評価の方法】

試験 100%
試験で評価します。

【教科書】

清水幸雄 新はじめて学ぶ知的所有権法 北樹出版

【参考文献】

授業において指示する。

【備考】

準備学習についての指示
授業において次回授業の予習内容を指示するので、それに従って予習を行なうこと。
・04~06生は読替一覧参照

科目名 クラス 講義区分	
地方財政論 <秋集>	
田代昌孝	4単位

【講義概要】

経済のグローバル化と少子高齢化が進む中で、政府に求められる役割が大きくなってきた。国も地方も膨大な借金を抱えており、今日において財政の再編が求められている。とりわけ、地方財政は厳しい財政状況に直面しており、何らかの改革が必要となっている。地方分権や地域経済の活性化、あるいは官業の民間委託等はその典型的な例と言えよう。本講義では地方財政論の理論や制度、そして、わが国の地方財政の実態について説明する。

【学習目標】

本講義の目的は、地方財政論の理論及び基礎知識の習得をすることにある。具体的な地方自治体の財政データを示しながら、新聞報道の地方財政関連記事に興味を持たせ、わが国における地方財政問題について語る能力を身につけることにこの授業の狙いがある。

【講義計画】

- 第1回 ガイダンス
- 第2回 財政の役割(財政の三機能)
- 第3回 国と地方の役割分担
- 第4回 地方財政計画
- 第5回 地方の歳出構造
- 第6回 地方公共財の供給
- 第7回 地方の歳入構造
- 第8回 地方税の原則
- 第9回 地方税の理論
- 第10回 地方税の制度
- 第11回 財政移転の理論(補助金の経済効果)
- 第12回 国庫支出金の制度
- 第13回 地方交付税の制度
- 第14回 地方債の理論
- 第15回 地方債の制度
- 第16回 地方分権改革
- 第17回 分権化定理
- 第18回 政府間競争
- 第19回 地方分権と三位一体改革
- 第20回 市町村合併と広域行政
- 第21回 道州制の議論
- 第22回 地方財政と福祉
- 第23回 地域経済の発展と地方財政
- 第24回 地方財政の効率化と自治体行政
- 第25回 地方公営企業のあり方
- 第26回 第三セクター問題
- 第27回 夕張市の財政破綻問題
- 第28回 新しい地方公共サービスの供給(PFI事業)
- 第29回 試験

【成績評価の方法】

試験 70% 出席 30%
試験は70点満点とします。出席を何回取るかは第1回のガイダンス講義で決めたいと思います。

【教科書】

林 宏昭・橋本恭之著『入門地方財政 第2版』中央経済社
佐藤主光著『地方財政論入門』新世社

【参考文献】

和田八東・星野 泉・青木宗明編『現代の地方財政 第3版』有斐閣ブックス、2004年。(ISBN4641183074)

【備考】

授業中にプリントを配布します。
講義の内容でミクロ経済学の基礎知識を必要とする部分があります。

科目名 クラス 講義区分	
中級英語L 01<秋集> 中級英語L 06<秋集>	
上村淳子	2単位

【講義概要】

リスニングの力を付けるために、英語の音声の特性を学習しながら、聴き取り、書き取り、翻訳、音読の基本的な作業を繰り返し行う。ほぼ毎回完成したスクリプトを提出する。

【学習目標】

1. 意識して聴いたり、注意して書き取ったりすることにより音声に対する集中力を養う。
2. 英文を正しく理解する。
3. 声に出して発音することにより、正確な発音やリズムを身につける。

【講義計画】

- 第1回 オリエンテーション
Unit 1 音声の知識 1
- 第2回 Unit 1 Part 1
- 第3回 Unit 1 Part 2
Unit 1 Part 3
- 第4回 Unit 1 Part 4
- 第5回 Unit 1 Part 5
- 第6回 Unit 2 音声の知識 2
- 第7回 Unit 2 Part 1
- 第8回 Unit 2 part 2
- 第9回 Unit 3 音声の知識 3
- 第10回 Unit 3 Part 1
Unit 3 Part 2
- 第11回 Unit 4 音声の知識 4
- 第12回 Unit 4 part 1
- 第13回 Unit 4 Part 2
- 第14回 Unit 5 音声の知識 5
- 第15回 Unit 5 Part 1
- 第16回 Unit 5 Part 2
- 第17回 Unit 6 音声の知識 6
- 第18回 Unit 6 Part 1
Unit 6 Part 2
- 第19回 Unit 6 Part 3
Unit 6 Part 4
- 第20回 Unit 7 音声の知識 7
Unit 7 Part 1
- 第21回 Unit 7 Part 2
Unit 7 Part 3
- 第22回 Unit 8 音声の知識 8
- 第23回 Unit 8 Part 1
Unit 8 part 2
- 第24回 Unit 8 Part 3
Unit 8 part 4
- 第25回 Unit 8 part 5
Unit 8 part 6
- 第26回 Unit 9 音声の知識 9
Unit 9 Part 1
- 第27回 Unit 10 音声の知識10
Conversation
- 第28回 Unit 11 音声の知識11
Conversation
- 第29回 復習問題
- 第30回 最終試験

【成績評価の方法】

- 最終試験 50%
- 提出物 30%
- 出席 20%

【教科書】

Masaki Tsuzuki Easy English Listening & Dictation Asahi Press

【備考】

【準備学習の指示】

- ・授業には、出席するだけでなく、積極的に参加することが重要です。
- ・課題と予習は必ず行ってください。
- ・02～07生は読替一覧参照

科目名 クラス 講義区分	
中級英語L 02<秋集>	
井 口 淳	2単位

【講義概要】

大意の把握だけではなく、より細部まで正確に聞き取れるようになるための指導を行う。

【学習目標】

英語によるコミュニケーション能力の育成を重視すると同時に、実際の社会生活において要求される、より正確かつ精確な英語力を身に付けさせることを目標とする。

【講義計画】

- 第1回 授業方針の説明を行う。学生諸君の理解度を見ながら授業を進めたい。従って、以下の計画は、一応の目安であり、変更することもあり得る。時間に余裕があれば、プリントを使用して授業を行う。
- 冠詞
- 第2回 代名詞
- 第3回 前置詞
- 第4回 助動詞・接続詞
- 第5回 リズムによる短縮
- 第6回 母音の弱化や脱落
- 第7回 リエゾン
- 第8回 リエゾン
- 第9回 語中の[t]音
- 第10回 語中の[t]音
- 第11回 音声同化
- 第12回 音声同化
- 第13回 語末の子音連鎖
- 第14回 語末の子音連鎖
- 第15回 中間試験
- 第16回 語頭・語中の子音連鎖
- 第17回 語末有声子音の響き
- 第18回 語末有声子音の無声化
- 第19回 語末有声子音の無声化
- 第20回 前置詞つきの慣用語句
- 第21回 前置詞つきの慣用語句
- 第22回 各種の語末の"s"
- 第23回 各種の語末の"s"
- 第24回 各種の語尾変化
- 第25回 各種の語尾変化
- 第26回 総合演習(1)
- 第27回 総合演習(2)
- 第28回 総合演習(3)
- 第29回 総合演習(4)
- 第30回 定期試験

【成績評価の方法】

試験 70% レポート 10% 出席 20%
 中間試験、定期試験、レポート(宿題)、授業での発表内容、授業に積極的に参加しているかどうか、出席率などを総合的に評価する。

【教科書】

Tadao Murata他 News Listening Capsules 三修社

【参考文献】

授業で指示する。

【備考】

【準備学習の指示】 予習をしておきたい。具体的には、CDを繰り返し聴いておくこと。NHK のラジオ講座を聴くことを推奨する。
 ・02～07生は読替一覧参照

科目名 クラス 講義区分	
中級英語L 03<秋集> 中級英語L 14<春集>	
松 田 雄 治	2単位

【講義概要】

リスニングを基本から、また音レベルから指導します。さらに習得した聞き取り能力を、英語長文の聴取、読解に応用します。音読にはシャドーイングを応用します。見た目より分量のあるテキストですので、一つのChapterを2週間で消化します。科目はリスニングですが、気がつけばリーディングをも学習してしまっています。TOEICテストへの基礎力・応用力養成を目指します。

【学習目標】

英語の4技能の一つであるリスニングの演習を徹底的に行ってもらいます。このために同時通訳者の訓練方法の一つであるシャドーイング(パラレルリーディング)を十二分に活用していきます。

【講義計画】

- 第1回 授業のオリエンテーションの後、すぐに授業に入ります。
- Chapter 1: Duck Hunting--Gun Control (1)
- 第2回 Chapter 1: Duck Hunting--Gun Control (2)
- 第3回 Chapter 2: Tax-free in Japan--Economics (1)
- 第4回 Chapter 2: Tax-free in Japan--Economics (2)
- 第5回 Chapter 3: California Health Craze (1)
- 第6回 Chapter 3: California Health Craze (2)
- 第7回 Chapter 4: Georgia Crackers (1)
- 第8回 Chapter 4: Georgia Crackers (2)
- 第9回 Chapter 5: My First Job (1)
- 第10回 Chapter 5: My First Job (2)
- 第11回 Chapter 6: My Favorite Food (1)
- 第12回 Chapter 6: My Favorite Food (2)
- 第13回 TOEICテストの傾向と対策(1) (投げ込み教材)
- 第14回 TOEICテストの傾向と対策(2) (投げ込み教材)
- 第15回 定期試験(筆記試験)
- 第16回 Chapter 7: Match dot com (1)
- 第17回 Chapter 7: Match dot com (2)
- 第18回 Chapter 8: Grannies Against War?God Bless America (1)
- 第19回 Chapter 8: Grannies Against War?God Bless America (2)
- 第20回 Chapter 9: My Mother's Disease (1)
- 第21回 Chapter 9: My Mother's Disease (2)
- 第22回 Chapter 10: Shoplifter--Recycling (1)
- 第23回 Chapter 10: Shoplifter--Recycling (2)
- 第24回 Chapter 11: The Richard Caraker Quartet--Music and Me (1)
- 第25回 Chapter 11: The Richard Caraker Quartet--Music and Me (2)
- 第26回 Chapter 12: Househusbands--Strollers and Beer (1)
- 第27回 Chapter 12: Househusbands--Strollers and Beer (2)
- 第28回 TOEICテストの傾向と対策(1) (投げ込み教材)
- 第29回 TOEICテストの傾向と対策(2) (投げ込み教材)
- 第30回 定期試験(筆記試験)

【成績評価の方法】

試験 20% レポート 30% 出席 50%
 なによりも講義(演習)への出席が肝要です。レポート等は締切を守って下さい。

【教科書】

依田良、キャラクター・リチャード English Expert: From Sound to Meaning 開文社出版(株)

【参考文献】

開講時に紹介します。

【備考】

・02～07生は読替一覧参照

た
行

科目名 クラス 講義区分	
中級英語Ⅱ 04<秋集>	
福屋義則	2単位

【講義概要】

この授業で受講生は映画を媒介としたアメリカ文化に触れる。映画は四作品に焦点をあてる—Gone with the Wind (風と共に去りぬ)、Little Women (若草物語)、The Wizard of Oz (オズの魔法使い)、To Kill a Mockingbird (アラバマ物語)。

【学習目標】

大意の把握にとどまらず細部まで正確に聞き取れるリスニング力向上を目標とする。また、アメリカ文化に触れる事で実際の社会生活に必要な知識と語彙を身につけることを目標とする。

【講義計画】

- 第1回 Course Introduction
[The Wizard of Oz (オズの魔法使い)]
Unit 9: Scene 1 (ドロシーの想い)
- 第2回 Unit 9: Scene 2 (トトを守るために)
Unit 9: Scene 3 (オズの国へ)
- 第3回 Unit 9: Review and Additional Exercises
Unit 10: Scene 1 (西の魔女の脅し)
- 第4回 Unit 10: Scene 2 (脳みそのないカカシ)
Unit 10: Scene 3 (臆病なライオン)
- 第5回 Unit 10: Review and Additional Exercises
Unit 11: Scene 1 (エメラルドの都へ)
- 第6回 Unit 11: Scene 2 (オズの魔法使い)
Unit 11: Scene 3 (魔女の企み)
Unit 11: Review and Additional Exercises 【Homework】
- 第7回 Unit 12: Scene 1 (西の魔女退治)
Unit 12: Scene 2 (オズの正体)
- 第8回 Unit 12: Scene 3 (故郷カンザスへ)
Unit 9-12 Summary
- 第9回 [To Kill a Mockingbird (アラバマ物語)]
Unit 13: Scene 1 (アティカスの家庭)
Unit 13: Scene 2 (父と子の会話)
- 第10回 Unit 13: Scene 3 (裁判所ののぞき見)
Unit 13: Review and Additional Exercises 【Homework】
Unit 14: Scene 1 (学校)
- 第11回 Unit 14: Scene 2 (約束)
Unit 14: Scene 3 (アティカスを守る)
Unit 14: Review and Additional Exercises 【Homework】
- 第12回 Unit 15: Scene 1 (ユーウェル親子の証言)
Unit 15: Scene 2 (トムの証言とアティカスの最終弁論)
- 第13回 Unit 15: Scene 3 (アティカス、最後の訴え)
Unit 15: Review and Additional Exercises 【Homework】
Unit 16: Scene 1 (裁判の結末)
- 第14回 Unit 16: Scene 2 (命の恩人)
Unit 16: Scene 3 (懐かしい日々)
- 第15回 Unit 13-16 Summary
- 第16回 [Gone with the Wind (風と共に去りぬ)]
Unit 1: Scene 1 (スカーレットの秘密)
Unit 1: Scene 2 (大園遊会で)
- 第17回 Unit 1: Scene 3 (レットとの出会い)
Unit 1: Review and Additional Exercises 【Homework】
Unit 2: Scene 1 (アトランタからの脱出)
- 第18回 Unit 2: Scene 2 (廃墟と化した故郷)
Unit 2: Scene 3 (スカーレットの戦い)
Unit 2: Review and Additional Exercises 【Homework】
- 第19回 Unit 3: Scene 1 (レットとの面会)
Unit 3: Scene 2 (スカーレットの作戦)
- 第20回 Unit 3: Scene 3 (レットとの求婚)
Unit 3: Review and Additional Exercises 【Homework】
Unit 4: Scene 1 (メラニーの最期)
- 第21回 Unit 4: Scene 2 (レットとスカーレットの別れ)
Unit 4: Scene 3 (去っていくレット)
- 第22回 Unit 1-4 Summary
[Little Women (若草物語)]
Unit 5: Scene 1 (プレゼントのないクリスマスなんて)
- 第23回 Unit 5: Scene 2 (姉妹のクリスマスプレゼント)
Unit 5: Scene 3 (クリスマスの朝に)
Unit 5: Review and Additional Exercises 【Homework】

- 第24回 Unit 6: Scene 1 (ローレンス家への訪問)
Unit 6: Scene 2 (ローレンス家のパーティー)
- 第25回 Unit 6: Scene 3 (ジョーの想い)
Unit 6: Review and Additional Exercises 【Homework】
Unit 7: Scene 1 (電報)
- 第26回 Unit 7: Scene 2 (ベスの病)
Unit 7: Scene 3 (ジョーとローリー)
Unit 7: Review and Additional Exercises 【Homework】
- 第27回 Unit 8: Scene 1 (ジョー、ニューヨークへ)
Unit 8: Scene 2 (故郷へ)
- 第28回 Unit 8: Scene 3 (新しい旅立ち)
Unit 5-8 Summary
- 第29回 秋学期末試験は無し

【成績評価の方法】

語彙テスト40%、課題60%、出席0% (五回以上欠席した受講生には単位を与えない。)

【教科書】

Mika Ishizuka / Megumi Kobayashi / Miyoko Maass / Mutsuko Nagasaki American Spirits in Movies (2009) 名作映画で学ぶアメリカの心 成美堂
DVD included.

【備考】

【授業時間以外での準備学習と課題】

毎回の語彙テストに備える。聴解課題をこなす。
・02~07生は読替一覧参照

科目名 クラス 講義区分	
中級英語L 05<秋集>	
宮之原 匡 子	2単位

【講義概要】

イギリスの文化、生活習慣などについて書かれたエッセイを集めたテキストを使用し、読解演習とリスニング演習を通じて、リスニング能力を養う。

【学習目標】

語彙力を強化する。大意の把握だけでなく、より細部まで正確に聞き取れるようリスニング力を高める。

【講義計画】

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 Lesson 1
- 第3回 Lesson 2
- 第4回 Lesson 3
- 第5回 Lesson 4
- 第6回 Lesson 5
- 第7回 Lesson 6
- 第8回 Lesson 7
- 第9回 Lesson 8
- 第10回 Review
- 第11回 Lesson 9
- 第12回 Lesson 10
- 第13回 Lesson 11
- 第14回 Lesson 12
- 第15回 Lesson 13
- 第16回 Lesson 14
- 第17回 Lesson 15
- 第18回 Lesson 16
- 第19回 Review
- 第20回 Lesson 17
- 第21回 Lesson 18
- 第22回 Lesson 19
- 第23回 Lesson 20
- 第24回 Lesson 21
- 第25回 Lesson 22
- 第26回 Lesson 23
- 第27回 Lesson 24
- 第28回 Lesson 25
- 第29回 秋学期末試験

【成績評価の方法】

秋学期末試験:50%、出席状況、小テスト、提出物などの平常点:50%

【教科書】

Terry O'Brien Looking Around England 南雲堂

【備考】

辞書は必携。
・02～07生は読替一覧参照

科目名 クラス 講義区分	
中級英語L 07<秋集>	
井 口 淳	2単位

【講義概要】

大意の把握だけでなく、より細部まで正確に聞き取れるようになるための指導を行う。

【学習目標】

英語によるコミュニケーション能力の育成を重視すると同時に、実際の社会生活において要求される、より正確かつ精確な英語力を身に付けさせることを目標とする。

【講義計画】

- 第1回 授業方針の説明を行う。学生諸君の理解度を見ながら授業を進めたい。従って、以下の計画は、一応の目安であり、変更することもあり得る。時間に余裕があれば、プリントを使用して授業を行う。
Me, Myself and I
- 第2回 Me, Myself and I
- 第3回 Me, Myself and I
- 第4回 Either You Like It, or You Don't
- 第5回 Either You Like It, or You Don't
- 第6回 Either You Like It, or You Don't
- 第7回 Everyday Happenings
- 第8回 Everyday Happenings
- 第9回 Those I Love — My Family
- 第10回 Those I Love — My Family
- 第11回 Have a Great Time !
- 第12回 Have a Great Time !
- 第13回 How About a Date Saturday Night ?
- 第14回 How About a Date Saturday Night ?
- 第15回 中間試験
- 第16回 Where I hang Out — My Room
- 第17回 Where I hang Out — My Room
- 第18回 Where I hang Out — My Room
- 第19回 Home, Sweet Hometown
- 第20回 Home, Sweet Hometown
- 第21回 Home, Sweet Hometown
- 第22回 Let's Disco!
Let's Disco
- 第23回 Let's Disco !
- 第24回 Keep Slim! Eat a Salad!
- 第25回 Keep Slim! Eat a Salad!
- 第26回 The Pros and Cons
- 第27回 The Pros and Cons
- 第28回 Endings, Happy or Sad ?
- 第29回 Endings, Happy or Sad ?
- 第30回 定期試験

【成績評価の方法】

試験 70% レポート 10% 出席 20%
中間試験、定期試験、レポート(宿題)、授業での発表内容、授業に積極的に参加しているかどうか、出席率などを総合的に評価する。

【教科書】

Hisae Niki 他 My English, My Self 三修社

【参考文献】

授業で指示する。

【備考】

【準備学習の指示】 予習をしておきたい。具体的には、CDを繰り返し聴いておくこと。NHK のラジオ講座を聴くことを推奨する。
・02～07生は読替一覧参照

た
行

科目名	クラス	講義区分
中級英語L 08<春集>		
葛原 香代子	2単位	

【講義概要】

到達目標を念頭におきながら、日常会話、ニュース、インタビュー、朗読、ドラマ、映画、歌など様々な英語を題材にしてリスニングの訓練を行い、同時にリスニング力向上のために必要な知識、および語彙力、文法力を身につけてもらう。

【学習目標】

中級英語では、英語によるコミュニケーション能力の育成を重視すると同時に、実際の社会生活において要求される、より正確かつ精確な英語力を身に付けさせることを目標とする。リスニングにおいては、大意の把握だけでなく、より細部まで正確に聞き取れるようになるための指導を行う。

【講義計画】

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 Topic 1
- 第3回 Topic 1
- 第4回 Topic 2
- 第5回 Topic 2
- 第6回 Topic 3
- 第7回 Topic 3
- 第8回 Topic 4
- 第9回 Topic 4
- 第10回 Topic 5
- 第11回 Topic 5
- 第12回 Topic 6
- 第13回 Topic 6
- 第14回 Topic 7
- 第15回 Topic 7
- 第16回 Topic 7
- 第17回 Topic 8
- 第18回 Topic 8
- 第19回 Topic 8
- 第20回 Topic 9
- 第21回 Topic 9
- 第22回 Topic 9
- 第23回 Topic10
- 第24回 Topic10
- 第25回 Topic10
- 第26回 Topic11
- 第27回 Topic11
- 第28回 Topic11
- 第29回 Final Exam

【成績評価の方法】

試験 70% 出席 30%
試験70%の内訳には Semester 期末試験50%と数回の小テスト20%が含まれる。

【教科書】

Kazushi Kuzumi, Hiroaki Natsume, Suzy Fukuda What It's About!
三修社

【備考】

準備学習の指示:「英語」の授業には、出席するだけでなく、積極的に参加することが重要です。課題と予習は必ず行ってください。

・02~07生は読替一覧参照

科目名	クラス	講義区分
中級英語L 09<春集> 中級英語L 10<春集>		
川口 剛	2単位	

【講義概要】

実際のコミュニケーションの場面に即した聞き取りを中心に、聞き取りのポイントに注意しながら、リスニング力を高めていく。

【学習目標】

英語のリズム、スピードに慣れ、文法力や語彙、背景知識を強化すると同時に、記憶力、推察力を高めていく方法を身につけ、総合的なリスニング力の向上を目指す。

【講義計画】

- 第1回 Primary Listening のテキストに沿って進めていく。進め方はテキストに基づき、聞き取りのポイント → Model Dialogues/Monologues/News → Exercises → Let's Challenge! の順で行う。必要に応じて場面に関連した副教材も使用する予定にしている。第1回目はUnit 1 センテンス・ストレス 内容語
- 第2回 Unit 2 センテンス・ストレス 機能後
- 第3回 Unit 3 場面設定と主題の理解
- 第4回 Unit 4 話の展開の予測
- 第5回 Unit 5 イントネーション
- 第6回 Unit 6 数字(1)
- 第7回 Unit 7 数字(2)
- 第8回 Unit 8 疑問文の形をした表現
- 第9回 Unit 9 音の変化(1)
- 第10回 Unit 10 音の変化(2)
- 第11回 Unit 11 数字(3)
- 第12回 Unit 12 ポーズと意味のまとめり 文頭からの理解
- 第13回 Unit 13 トランジションの内容の予測
- 第14回 Unit 14 聞き取りのポイント:文脈からの意味の予測
- 第15回 Test
- 第16回 Chapter 1 海外での会話 一日の生活 Daily Conversation
The U.S. Immigration and Customs
Unit 1 入国
Unit 1-1 機内にて On the Airplane プリント配布
- 第17回 Unit 1-2 入国審査 Immigration プリント配布
- 第18回 Unit 1-3 税関審査 Customs プリント配布
- 第19回 Unit 2 交通機関を利用する
Unit 2-1 道を聞く Asking Directions プリント配布
- 第20回 Unit 2-2 BARTにのる Using BART プリント配布
- 第21回 Unit 2-3 タクシーを利用する Taking a Taxi プリント配布
- 第22回 Unit 3 友達からの電話A Telephone Call from a Friend
プリント配布
Unit 3-1 電話のかけ方・取り次ぎかた
Making and Receiving a Phone Call プリント配布
- 第23回 Unit 3-2 時間と場所の打ち合わせ
Making an Appointment プリント配布
- 第24回 Unit 4 銀行で At a Bank
Unit 4-1 現行で口座を開く Opening a New Account
プリント配布
- 第25回 Unit 4-2 お金を引き出す making a Withdrawal プリント配布
- 第26回 Unit 5 手紙・荷物を出す Sending out and Airmail
Letter/ Package
Unit 5-1 郵便局で小包を送る Sending out a Small
Package at the Post office プリント配布
- 第27回 Unit 5-2 郵便局から速達便で送る Express Delivery
Service from the Post office プリント配布
- 第28回 Unit 6 病気になったら When You Get Sick
Unit 6-1 薬の買いかた Buying Medicine プリント配布
- 第29回 Unit 6-2 歯医者に行く Going to a Dentist's office
プリント配布
- 第30回 Unit 6-3 病院で A Hospital Scene プリント配布

【成績評価の方法】

試験 60% 出席 40%
授業への意欲的な姿勢を評価します。

【教科書】

Atsuko Tsuda Primary Listening KINSEIDO
 金星堂出版のテキストです。授業開始までに各自で購入していただくようにお願いします。

【参考文献】

トミー植松著 英語実務 実教出版

【備考】**【準備学習の指示】**

指定のテキストの各回に予定されているユニットを事前に読んで予習して置いてください。また普段からNHKワールドなど英語ニュースを聞く習慣を付けてください。websiteで聞くこともできます。

・02～07生は読替一覧参照

科目名 クラス 講義区分

中級英語L 11<春集>

葛原 香代子

2単位

【講義概要】

到達目標を念頭におきながら、日常会話、ニュース、インタビュー、朗読、ドラマ、映画、歌など様々な英語を題材にしてリスニングの訓練を行い、同時にリスニング力向上のために必要な知識、語彙力、文法力を身につけてもらう。

【学習目標】

中級英語では、英語によるコミュニケーション能力の育成を重視すると同時に、社会生活において要求される、より正確かつ精確な英語力を身につけさせることを目標とする。特にリスニングにおいては、大意の把握だけでなく、より細部まで正確に聞き取れるようになるための指導を行う。

【講義計画】

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 Unit 1
- 第3回 Unit 2
- 第4回 Unit 3
- 第5回 Review
- 第6回 Unit 4
- 第7回 Unit 5
- 第8回 Unit 6
- 第9回 Review
- 第10回 Unit 7
- 第11回 Unit 8
- 第12回 Unit 9
- 第13回 Review
- 第14回 Unit10
- 第15回 Unit11
- 第16回 Unit12
- 第17回 Review
- 第18回 Unit13
- 第19回 Unit14
- 第20回 Unit15
- 第21回 Review
- 第22回 Unit16
- 第23回 Unit17
- 第24回 Unit18
- 第25回 Review
- 第26回 Unit19
- 第27回 Unit20
- 第28回 Review
- 第29回 Final Exam

【成績評価の方法】

試験 70% 出席 30%

試験70%の内訳にはセメスター期末試験50%と数回の小テスト20%が含まれる。

【教科書】

Yuichiro Yoshinari, Bill Benfield Step-Up Listening 成美堂

【備考】

準備学習の指示:「英語」の授業には、出席するだけでなく、積極的に参加することが重要です。課題と予習は必ず行ってください。

・02～07生は読替一覧参照

科目名 クラス 講義区分	
中級英語Ⅰ 12<春集> 中級英語Ⅰ 13<春集>	
宮之原 匡 子	2 単位

【講義概要】

イギリスの文化、生活習慣などについて書かれたエッセイを集めたテキストを使用し、読解演習とリスニング演習を通じて、リスニング能力を養う。

【学習目標】

語彙力を強化する。大意の把握だけでなく、より細部まで正確に聞き取れるようリスニング力を高める。

【講義計画】

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 Lesson 1
- 第3回 Lesson 2
- 第4回 Lesson 3
- 第5回 Lesson 4
- 第6回 Lesson 5
- 第7回 Lesson 6
- 第8回 Lesson 7
- 第9回 Lesson 8
- 第10回 Review
- 第11回 Lesson 9
- 第12回 Lesson 10
- 第13回 Lesson 11
- 第14回 Lesson 12
- 第15回 Lesson 13
- 第16回 Lesson 14
- 第17回 Lesson 15
- 第18回 Lesson 16
- 第19回 Review
- 第20回 Lesson 17
- 第21回 Lesson 18
- 第22回 Lesson 19
- 第23回 Lesson 20
- 第24回 Lesson 21
- 第25回 Lesson 22
- 第26回 Lesson 23
- 第27回 Lesson 24
- 第28回 Lesson 25
- 第29回 春学期末試験

【成績評価の方法】

春学期末試験：50%、出席状況、小テスト、提出物などの平常点：50%

【教科書】

Terry O'Brien Looking Around England 南雲堂

【備考】

辞書は必携。
・02～07生は読替一覧参照

科目名 クラス 講義区分	
中級英語OC 01<春集>	
Terence J. O'Brien	2 単位

【講義概要】

This course will provide good training in communication skills.

【学習目標】

By using the textbook students will have practice in reading and comprehension. They will also learn differences in cultures. Students will be required to talk about the topics in the textbook.

【講義計画】

- 第1回 Self introductions
- 第2回 Terror in the city
- 第3回 Walls
- 第4回 British history
- 第5回 The elephant and the mouse
- 第6回 Presentation
- 第7回 American history
- 第8回 Names
- 第9回 Rain in the UK
- 第10回 Presentation
- 第11回 Sport
- 第12回 Universities in the UK
- 第13回 Glamour and Glitz
- 第14回 Baths
- 第15回 9/11 Part 1: The shock
- 第16回 9/11 Part 2: The Aftermath
- 第17回 Old houses
- 第18回 Presentation
- 第19回 Why?
- 第20回 Disappearing icons
- 第21回 UK pride
- 第22回 Trends and swings
- 第23回 Cars
- 第24回 Presentation
- 第25回 Looking big or looking back?
- 第26回 Animals are forever
- 第27回 Privacy
- 第28回 Youth
- 第29回 You
- 第30回 Test

【成績評価の方法】

Students need to have good attendance, good participation in class and have good homework and test scores.

【教科書】

Terry O'Brien The UK and the USA Nan'un-do

【備考】

・02～07生は読替一覧参照

科目名 クラス 講義区分	
中級英語OC 02<春集>	
Antonio Smith	2単位

【講義概要】

英会話の練習や英語の文章のリーディングを行うことで英語の基礎的な技能を伸ばす。英会話の練習では、文字に頼る勉強法ではなく、リスニングの練習に力を入れる。練習方法は、ペアで自主的に行い、受講生のレベルに合った内容で実施する。リーディングに関しては、Graded readersを利用し、レベルに合った英文を読むことで、英語を読む楽しみを知り、英語の表現・構文を自然に学ぶ。また英語力を高めるストラテジーについても考えていく。

基本的に週2回の授業は以下の内容である。

月曜日：テキストを利用して、リスニングと会話練習（ペア学習）。
木曜日：月曜日に学んだ会話の復習。その後、各受講生がリーディングのタスクを実施中に、教員は各ペアの会話の発表を聞いて、到達度を確認する。授業最後に10分間、リーディングのまとめとして、reading journal の記入。

【学習目標】

リスニングとリーディングのレベルを高めると共に、英語での発信力を向上させる。

【講義計画】

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 Hear it! Say it! Chapter 1
- 第3回 リーディング
- 第4回 Hear it! Say it! Chapter 2
- 第5回 リーディング
- 第6回 Hear it! Say it! Chapter 3
- 第7回 リーディング
- 第8回 Hear it! Say it! Chapter 4
- 第9回 小テスト1 リーディング
- 第10回 Hear it! Say it! Chapter 5
- 第11回 リーディング
- 第12回 Hear it! Say it! Chapter 6
- 第13回 リーディング
- 第14回 Hear it! Say it! Chapter 7
- 第15回 リーディング
- 第16回 Hear it! Say it! Chapter 8
- 第17回 リーディング
- 第18回 Hear it! Say it! Chapter 9
- 第19回 小テスト リーディング
- 第20回 Hear it! Say it! Chapter 10
- 第21回 リーディング
- 第22回 Hear it! Say it! Chapter 11
- 第23回 リーディング
- 第24回 Hear it! Say it! Chapter 12
- 第25回 リーディング
- 第26回 Hear it! Say it! Chapter 13
- 第27回 リーディング
- 第28回 Hear it! Say it! Chapter 14
- 第29回 リーディングreading journal 提出
期末テスト

【成績評価の方法】

試験 30% レポート 30% 出席 40%

【教科書】

Hear it! Say it! 金星堂

【備考】

・02～07生は読替一覧参照

科目名 クラス 講義区分	
中級英語OC 03<春集>	
Mark Donnellan	2単位

【講義概要】

Taking into account the achievement objectives, students will practice oral communication through various activities such as everyday conversation, drama, discussion, debates, speeches, presentations, and so on. At the same time they will acquire vocabulary, grammar, and the necessary world knowledge needed to improve their speaking skills.

【学習目標】

In Intermediate English OC (Oral Communication) students will be taught not only to express their own intentions, but also to distinguish between appropriate styles of expressions and utterances, and to speak with accurate pronunciation, wording, and grammar.

【講義計画】

- 第1回 Introductions/class rules/instructions
- 第2回 Unit 1
- 第3回 Unit 1
- 第4回 Unit 2
- 第5回 Unit 2
- 第6回 Unit 3
- 第7回 Unit 3
- 第8回 Group Projects/Presentations
- 第9回 Unit 4
- 第10回 Unit 4
- 第11回 Unit 5
- 第12回 Unit 5
- 第13回 Unit 6
- 第14回 Unit 6
- 第15回 Mid-term test
- 第16回 Unit 7
- 第17回 Unit 7
- 第18回 Unit 8
- 第19回 Unit 8
- 第20回 Unit 9
- 第21回 Unit 9
- 第22回 Group Projects/Presentations
- 第23回 Unit 10
- 第24回 Unit 10
- 第25回 Unit 11
- 第26回 Unit 11
- 第27回 Unit 12
- 第28回 Unit 12
- 第29回 Review
- 第30回 Final Test

【成績評価の方法】

試験 25% レポート 25% 出席 50%

The attendance score also includes participation and homework.

There will be a final test and a mid-term test.

The reports will be either projects, group work or presentations.

【教科書】

McCarthy touchstone 3 Cambridge

【備考】

・02～07生は読替一覧参照

た
行

科目名 クラス 講義区分	
中級英語OC 04<春集>	
Craig Gamble	2単位

【講義概要】

This course focuses on improving students' skills in communicative English with emphasis on speaking and listening in a cross-cultural environment. Students will be given opportunities to express their ideas on various subjects. Fluency practice will also be included to increase the speed of speaking, language processing, and confidence in the material learned. Supplementary material may be used to increase the amount of communicative practice in pairs and groups. Reading and writing will be used to reinforce oral tasks.

【学習目標】

The objectives of this course are to strengthen student's ability and confidence in all basic areas, inferring meaning, and using accurate and appropriate exponents to achieve practical functional outcomes in direct communication with one another. At the end of this course students will be able to:

- Use intonation and stress patterns approaching those of native speakers
- Speak fairly fluently, using circumlocution when lacking relevant vocabulary
- Report the ideas and opinions of others in their own words (paraphrasing)
- Actively participate in discussions, responding quickly and effectively to questions from others
- Argue a point of view in an informal debate, after collecting and organizing supporting information
- Use vocabulary and grammatical structures necessary to present a complex process or story
- Actively use new words typically used by educated speakers of English
- Present an informative presentation to the class (up to 10 minutes) from an outline or notes
- Make spontaneous contributions in class discussions or group activities
- Recognize clues and cues provided by tone of voice, stress and intonation in identifying contrast and emphasis
- Identify specific information (recognize which information is important)
- Evaluate arguments, recognizing common logical mistakes

【講義計画】

- 第1回 Class orientation
Greetings
- 第2回 Unit 1 - Communication (Note-taking)
- 第3回 Unit 1 - Communication (idioms)
- 第4回 Unit 1 - Communication
- 第5回 Unit 1 - Quiz
Unit 2 - Environment (Designing a questionnaire)
- 第6回 Unit 2 - Environment (local environment issues)
- 第7回 Unit 2 - Environment
- 第8回 Unit 2 - Environment
- 第9回 Unit 2 - Quiz
Unit 3 - Sport (Understanding essay questions)
- 第10回 Unit 3 - Sport (Quantifiers and idioms used in sport)
- 第11回 Unit 3 - Sport
- 第12回 Unit 3 - Sport
- 第13回 Unit 1-3 Test
- 第14回 Unit 4 - Medicine (evaluating resources on the internet)
- 第15回 Unit 4 - Medicine (conditions and illnesses)
- 第16回 Unit 4 - Medicine
- 第17回 Unit 4 - Medicine
- 第18回 Unit 4 - Quiz
Unit 5 - Transportation (Describing graphs and tables)
- 第19回 Unit 5 - Transportation (Methods and problems)
- 第20回 Unit 5 - Transportation

- 第21回 Unit 5 - Transportation
- 第22回 Unit 5 - Quiz
Unit 6 - Literature (improving listening skills)
- 第23回 Unit 6 - Literature (types of writing/ people in literature)
- 第24回 Unit 6 - Literature
- 第25回 Unit 6 - Literature
- 第26回 Unit 6 - Literature
- 第27回 Unit 4-6 Test
- 第28回 Review Units 1-6 for final semester exam

【成績評価の方法】

試験 60% レポート 40% 出席 0%
Tests
Regular tests/quizzes 30%
Final semester test 30%

Reports

Homework 10%
Class activities 30%

【教科書】

David Cotton, David Falvey, Simon Kent Language Leader - Upper intermediate Pearson/Longman

【参考文献】

None

【備考】

- 02~07生は読替一覧参照

科目名 クラス 講義区分	
中級英語OC 05<春集>	
Antonio Smith	2単位

【講義概要】

英会話の練習や英語の文章のリーディングを行うことで英語の基礎的な技能を伸ばす。英会話の練習では、文字に頼る勉強法ではなく、リスニングの練習に力を入れる。練習方法は、ペアで自主的に行い、受講生のレベルに合った内容で実施する。リーディングに関しては、Graded readersを利用し、レベルに合った英文を読むことで、英語を読む楽しみを知り、英語の表現・構文を自然に学ぶ。また英語力を高めるストラテジーについても考えていく。

基本的に週2回の授業は以下の内容である。

月曜日：テキストを利用して、リスニングと会話練習（ペア学習）。
木曜日：月曜日に学んだ会話の復習。その後、各受講生がリーディングのタスクを実施中に、教員は各ペアの会話の発表を聞いて、到達度を確認する。授業最後に10分間、リーディングのまとめとして、reading journal の記入。

【学習目標】

リスニングとリーディングのレベルを高めると共に、英語での発信力を向上させる。

【講義計画】

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 Hear it! Say it! Chapter 1
- 第3回 リーディング
- 第4回 Hear it! Say it! Chapter 2
- 第5回 リーディング
- 第6回 Hear it! Say it! Chapter 3
- 第7回 リーディング
- 第8回 Hear it! Say it! Chapter 4
- 第9回 小テスト1 リーディング
- 第10回 Hear it! Say it! Chapter 5
- 第11回 リーディング
- 第12回 Hear it! Say it! Chapter 6
- 第13回 リーディング
- 第14回 Hear it! Say it! Chapter 7
- 第15回 リーディング
- 第16回 Hear it! Say it! Chapter 8
- 第17回 リーディング
- 第18回 Hear it! Say it! Chapter 9
- 第19回 小テスト リーディング
- 第20回 Hear it! Say it! Chapter 10
- 第21回 リーディング
- 第22回 Hear it! Say it! Chapter 11
- 第23回 リーディング
- 第24回 Hear it! Say it! Chapter 12
- 第25回 リーディング
- 第26回 Hear it! Say it! Chapter 13
- 第27回 リーディング
- 第28回 Hear it! Say it! Chapter 14
- 第29回 リーディングreading journal 提出
期末テスト

【成績評価の方法】

試験 30% レポート 30% 出席 40%

【教科書】

Hear it! Say it! 金星堂

【備考】

・02～07生は読替一覧参照

科目名 クラス 講義区分	
中級英語OC 06<春集>	
John Weir	2単位

【講義概要】

Taking into account the achievement objectives, students will practice oral communication through various activities such as everyday conversation, drama, discussion, debates, speeches, presentations, and so on. At the same time they will acquire vocabulary, grammar, and the necessary world knowledge needed to improve their speaking skills.

【学習目標】

The broad objectives of Intermediate English are to raise the English communication ability of students, while at the same time helping them to acquire accuracy. In Intermediate English OC (Oral Communication) students will be taught not only to express their own intentions, but also to distinguish between appropriate styles of expressions and utterances, and to speak with accurate pronunciation, wording, and grammar.

【講義計画】

- 第1回 Introduction
- 第2回 Sharing personal information: jobs, wh- questions I
- 第3回 Sharing personal information: jobs, wh- questions II
- 第4回 Talking about likes and dislikes: food and drink, use of simple present I
- 第5回 Talking about likes and dislikes: food and drink, use of simple present II
- 第6回 Review and story telling
- 第7回 How often...? Sports and routines I
- 第8回 How often...? Sports and routines II
- 第9回 Daily activities: present continuous, what are you doing? I
- 第10回 Daily activities: present continuous, what are you doing? II
- 第11回 Talking about past events I
- 第12回 Talking about past events II
- 第13回 Review and story telling
- 第14回 Making comparisons I
- 第15回 Making comparisons II
- 第16回 Describing people, looks and personality I
- 第17回 Describing people, looks and personality II
- 第18回 Travel, talking about cities, giving advice on what to do I
- 第19回 Travel, talking about cities, giving advice on what to do II
- 第20回 Review and story telling
- 第21回 Asking for and giving directions, places around town I
- 第22回 Asking for and giving directions, places around town II
- 第23回 Talking about vacations, activities I
- 第24回 Talking about vacations, activities II
- 第25回 Talking about future plans: going to I
- 第26回 Talking about future plans: going to II
- 第27回 Review and story telling
- 第28回 Games, activities and quizzes
- 第29回 Test

【成績評価の方法】

試験 90% 出席 10%

【教科書】

Ken Wilson, Thomas Healy Smart Choice 1 Oxford

【備考】

・02～07生は読替一覧参照

科目名 クラス 講義区分	
中級英語OC 07<春集>	
Douglas Meyer	2単位

【講義概要】

Course outline: this course will take students through a number of interesting issues, which are of a global nature. Students will gain an appreciation for English use in the world outside Japan, and the benefits of initiating communication.

【学習目標】

Purpose of class: to build English fluency to a level of communicative competence using a number of engaging material sources. Several opportunities for output will be encouraged.

【講義計画】

- 第1回 Teacher & student introductions.
 Explain course goals, objectives, and syllabus.
 Text unit 1: Giving personal information.
- 第2回 Unit 1: Talking about people and their occupations.
- 第3回 Unit 1: Talking about people and their occupations.
- 第4回 Unit 2: Work, rest, and play. Talk about a work day.
- 第5回 Unit 2: Work, rest, and play. Free time.
- 第6回 Unit 2: Work, rest, and play. Describe a festival.
- 第7回 Unit 3: Going places. Destinations and travel preparations.
- 第8回 Unit 3: Going places. Ask and give personal travel information.
- 第9回 Unit 3: Going places. Travel advice.
- 第10回 Review units 1-3. Start Unit 4: Food. Ordering in a restaurant.
- 第11回 Unit 4: Food. Ordering in a restaurant. Listening practice.
- 第12回 Unit 6: Destinations. Vacations and travel activities.
- 第13回 Unit 6: Destinations. Personal experiences.
- 第14回 Unit 6: Destinations. Vacations and travel activities.
- 第15回 Review previous units, start Unit 7: Communication.
- 第16回 Unit 7: Communication. Personal communication and contact details.
- 第17回 Unit 7: Communication. Characteristics and qualities.
- 第18回 Unit 8: The future. Long term and short term plans.
- 第19回 Unit 8: The future. Discuss future plans.
- 第20回 Review units 4, 6, 7, and 8.
- 第21回 Unit 9: Shopping. Comparisons and preferences.
- 第22回 Unit 9: Shopping. Comparisons and preferences.
- 第23回 Unit 9: Shopping. Understand and describe a process.
- 第24回 Unit 11: Achievements- today's chores.
- 第25回 Unit 11: Achievements- chores and job interviews.
- 第26回 Unit 12: Consequences. Managing money, making choices. The environment.
- 第27回 Unit 12: Consequences. Managing money, making choices. The environment.
- 第28回 Unit 12: Consequences. How our actions can have positive consequences.
- 第29回 Comprehensive review day
- 第30回 Final exam date

【成績評価の方法】

試験 30% レポート 30% 出席 40%

【教科書】

Milner and Johannssen World English level 1 Heinle Cengage Learning

【備考】

・02~07生は読替一覧参照

科目名 クラス 講義区分	
中級英語OC 08<秋集>	
Hershey Wier	2単位

【講義概要】

In this course, students will spend the majority of time speaking to each other in English using a variety of topics as a medium. However, writing will also be one of the exercises throughout the course. One of the main goals of this course is to train students to listen to what their conversation partner is saying, digest that information, and formulate an original response. Another goal of this course is the building of useful vocabulary.

【学習目標】

Pairwork, group work, vocabulary work, and quizzes will be employed in the teaching approach to this course.

【講義計画】

- 第1回 Course Introduction
- 第2回 Personal Information Vocabulary
- 第3回 Personal Information Conversation I
- 第4回 Personal Information Conversation II
- 第5回 Personal Information Conversation III
- 第6回 Personal Information Writing
- 第7回 Personal Experiences Vocabulary
- 第8回 Personal Experiences Conversation I
- 第9回 Personal Experiences Conversation II
- 第10回 Personal Experiences Conversation III
- 第11回 Personal Experiences Writing
- 第12回 Personality Vocabulary
- 第13回 Personality Conversation I
- 第14回 Personality Conversation II
- 第15回 Personality Conversation III
- 第16回 Personality Writing
- 第17回 Dating Conversation I
- 第18回 Dating Conversation II
- 第19回 Dating Conversation III
- 第20回 Dating Writing
- 第21回 Shopping Vocabulary
- 第22回 Shopping Conversation I
- 第23回 Shopping Conversation II
- 第24回 Shopping Conversation III
- 第25回 Shopping Writing
- 第26回 Travel Vocabulary
- 第27回 Travel Conversation I
- 第28回 Travel Conversation II
- 第29回 Review
- 第30回 Exam

【成績評価の方法】

試験 25% レポート 75% 出席 0%

【教科書】

Dale Fuller and Corey Fuller Face to Face MacMillan

【参考文献】

English - Japanese and Japanese - English dictionaries (no cell phone); electronic dictionary or hard copy dictionary are absolutely required. Also: loose leaf paper; pencil; eraser; red pen

【備考】

This is a participation based class. If you participate fully, you will be able to pass this class relatively easily.

・02~07生は読替一覧参照

科目名 クラス 講義区分	
中級英語OC 09<秋集>	
Arthur Frederick Lauritsen	2 単位

【講義概要】

This course is designed to familiarize students with the speaking and listening sections of the TOEFL test. The listening section measures your ability to understand spoken English from North America and other English-speaking parts of the world. In academic environments students need to listen to lectures and conversations. The speaking section includes speaking about familiar topics, and answering questions about reading passages and lectures. This introductory class is designed to help students whose current TOEFL test score ranges approximately from 380 to 400 on the TOEFL PBT or 26-32 on the TOEFL iBT.

【学習目標】

At the end of this course students will:
 Be familiar with the format and language of the TOEFL speaking and listening sections.
 Understand the discrete skills necessary to fully utilize their English knowledge during the test.
 Have improved their English through practice during and outside of class.

【講義計画】

- 第1回 Introduction - class, syllabus, textbook, grading, word cards, homework, presentations and book report
- 第2回 Vocabulary quiz
Conversation based lesson
- 第3回 Vocabulary Quiz and summary
Conversation based lesson
- 第4回 Vocabulary Quiz and summary
Conversation based lesson
- 第5回 Vocabulary and summary
Presentation Prep
- 第6回 Presentation
- 第7回 Vocabulary quiz and summary
Conversation based lesson
- 第8回 Vocabulary quiz and summary
Conversation based lesson
- 第9回 Vocabulary quiz and Book Report #1 due Rough Draft
Presentation Prep
- 第10回 Presentation
- 第11回 Vocabulary quiz and Book Report #1 due
Conversation based lesson
- 第12回 Vocabulary quiz and summary
Conversation based lesson
- 第13回 Vocabulary quiz and summary
Presentation Prep
- 第14回 Presentation
- 第15回 Vocabulary quiz and summary
Conversation based lesson
- 第16回 Vocabulary quiz and summary
Conversation based lesson
- 第17回 Vocabulary quiz and summary
Presentation Prep
- 第18回 Presentation
- 第19回 Vocabulary quiz and summary
Conversation based lesson
- 第20回 Vocabulary quiz and summary
Conversation based lesson
- 第21回 Vocabulary quiz and summary
Presentation Prep
- 第22回 Presentation
- 第23回 Vocabulary quiz and summary
Conversation based lesson
- 第24回 Vocabulary quiz and summary
Conversation based lesson
- 第25回 Vocabulary quiz and summary
Presentation Prep
- 第26回 Presentation
- 第27回 Vocabulary quiz
Conversation based lesson

- 第28回 Vocabulary quiz and Book Report #2 Due
Final Speaking Presentation preparation
- 第29回 Final Speaking Presentation!

【成績評価の方法】

- 試験 40% レポート 40% 出席 20%
- 20% Attendance and participation
- 10% Vocabulary cards
- 25% Vocabulary quizzes (10 quizzes @ 2.5 points each)
- 15% Speaking test
- 30% Homework assignments

【教科書】

Deborah Phillips Introductory Course for the TOEFL test
 Longman

【備考】

- ・02～07生は読替一覧参照

た
行

科目名 クラス 講義区分	
中級英語OC 10<秋集>	
John Weir	2単位

【講義概要】

Taking into account the achievement objectives, students will practice oral communication through various activities such as everyday conversation, drama, discussion, debates, speeches, presentations, and so on. At the same time they will acquire vocabulary, grammar, and the necessary world knowledge needed to improve their speaking skills.

【学習目標】

The broad objectives of Intermediate English are to raise the English communication ability of students, while at the same time helping them to acquire accuracy. In Intermediate English OC (Oral Communication) students will be taught not only to express their own intentions, but also to distinguish between appropriate styles of expressions and utterances, and to speak with accurate pronunciation, wording, and grammar.

【講義計画】

- 第1回 Introduction
- 第2回 Vacations and travel language I
- 第3回 Vacations and travel language II
- 第4回 Giving opinions, movies, music I
- 第5回 Giving opinions, movies, music II
- 第6回 Talking about exciting experiences I
- 第7回 Talking about exciting experiences II
- 第8回 Describing places, world geography, famous places I
- 第9回 Describing places, world geography, famous places II
- 第10回 Review and storytelling
- 第11回 Birthdays, weddings and social events I
- 第12回 Birthdays, weddings and social events II
- 第13回 Giving advice on healthy lifestyles and sports I
- 第14回 Giving advice on healthy lifestyles and sports II
- 第15回 Shopping I
- 第16回 Shopping II
- 第17回 Appearance and personality, describing preferences I
- 第18回 Appearance and personality, describing preferences II
- 第19回 Review and storytelling
- 第20回 Accidents and injuries, relating events I
- 第21回 Accidents and injuries, relating events II
- 第22回 Speculating and describing I
- 第23回 Speculating and describing II
- 第24回 Talking about past habits and activities: used to I
- 第25回 Talking about past habits and activities: used to II
- 第26回 Explaining possibilities, if clauses I
- 第27回 Explaining possibilities, if clauses II
- 第28回 Review and story telling
- 第29回 Test

【成績評価の方法】

試験 90% 出席 10%

【教科書】

Ken Wilson, Thomas Healy Smart Choice 2 Oxford

【備考】

・02～07生は読替一覧参照

科目名 クラス 講義区分	
中級英語OC 11<秋集>	
Hershey Wier	2単位

【講義概要】

In this course, students will spend the majority of time speaking to each other in English using a variety of topics as a medium. However, writing will also be one of the exercises throughout the course. One of the main goals of this course is to train students to listen to what their conversation partner is saying, digest that information, and formulate an original response. Another goal of this course is the building of useful vocabulary.

【学習目標】

Pairwork, group work, vocabulary work, and quizzes will be employed in the teaching approach to this course.

【講義計画】

- 第1回 Course Introduction
- 第2回 Personal Information Vocabulary
- 第3回 Personal Information Conversation I
- 第4回 Personal Information Conversation II
- 第5回 Personal Information Conversation III
- 第6回 Personal Information Writing
- 第7回 Personal Experiences Vocabulary
- 第8回 Personal Experiences Conversation I
- 第9回 Personal Experiences Conversation II
- 第10回 Personal Experiences Conversation III
- 第11回 Personal Experiences Writing
- 第12回 Personality Vocabulary
- 第13回 Personality Conversation I
- 第14回 Personality Conversation II
- 第15回 Personality Conversation III
- 第16回 Personality Writing
- 第17回 Dating Vocabulary
- 第18回 Dating Writing
- 第19回 Shopping Vocabulary
- 第20回 Shopping Conversation I
- 第21回 Shopping Conversation II
- 第22回 Shopping Conversation III
- 第23回 Shopping Writing
- 第24回 Travel Vocabulary
- 第25回 Travel Conversation I
- 第26回 Travel Conversation II
- 第27回 Travel Conversation III
- 第28回 Travel Writing
- 第29回 Review
- 第30回 Exam

【成績評価の方法】

試験 25% レポート 75% 出席 0%

【教科書】

Dale Fuller and Corey Fuller Face to Face MacMillian

【参考文献】

English - Japanese and Japanese - English dictionaries (no cell phone); electronic dictionary or hard copy dictionary are absolutely required. Also: loose leaf paper; pencil; eraser; red pen

【備考】

This is a participation based class. If you participate fully, you will be able to pass this class relatively easily.

・02～07生は読替一覧参照

科目名 クラス 講義区分	
中級英語OC 12<秋集> 中級英語OC 13<秋集>	
RobertB. Sanderson	2単位

【講義概要】

We learn by doing, and by doing something again and again, hopefully in varied and interesting ways, until we can say that we have “learned” it. Because our main purpose is for students to improve their fluency in the four main skills of reading, writing, listening, and speaking, we’ll do a number of activities that are extensive in nature, rather than intensive. We will communicate in English a great deal, in pairs, small groups, and as a whole class, on a wide range of topics of interest to students, and will focus on developing our vocabulary. Assignments will vary depending on student numbers, interests, and abilities.

【学習目標】

The main purpose of this class is to improve students’ English fluency in the four main skills of reading, writing, listening, and speaking, though improved accuracy will be an important secondary goal. Increasing facility with the most commonly used words in English is a primary goal.

【講義計画】

- 第1回 Talking about summer
- 第2回 Review activities
- 第3回 Unit 3, Chapter 9
- 第4回 Chapter 9 continued
- 第5回 Chapter 10
- 第6回 Chapter 10 continued
- 第7回 Chapter 11
- 第8回 Chapter 11 continued
- 第9回 Chapter 12
- 第10回 Chapter 12 continued
- 第11回 Unit 3 Review
- 第12回 Unit 3 Test
- 第13回 Writing Day
- 第14回 Unit 4, Chapter 13
- 第15回 Chapter 13 continued
- 第16回 Chapter 14
- 第17回 Chapter 14 continued
- 第18回 Chapter 15
- 第19回 Chapter 15 continued
- 第20回 Christmas/End of year activities
- 第21回 Christmas/End of year activities
- 第22回 New Year’s resolutions
- 第23回 Chapter 16
- 第24回 Chapter 16 continued
- 第25回 Unit 4 Review, Self-Test
- 第26回 Peer portfolio assessment and review
- 第27回 Final Test & Oral Check
- 第28回 Class closing activities

【成績評価の方法】

Grades are determined mostly by considering each student’s efforts to improve, as shown by their attendance, active participation in class, overall attitude, outside class preparation, and by their portfolio of work done over the course of each semester. Students are encouraged to attend every class in order to improve most noticeably. More than six absences and three latenesses will result in automatic failure for the course.

【教科書】

Linda Butler Password 1 - A Reading and Vocabulary Text Longman

【備考】

Students should be sure to get the version of the textbook with the CD included so they can do listening practice outside of class.

・02～07生は読替一覧参照

科目名 クラス 講義区分	
中級英語OC 14<秋集>	
Mark Donnellan	2単位

【講義概要】

Taking into account the achievement objectives, students will practice oral communication through various activities such as everyday conversation, drama, discussion, debates, speeches, presentations, and so on. At the same time they will acquire vocabulary, grammar, and the necessary world knowledge needed to improve their speaking skills.

【学習目標】

In Intermediate English OC (Oral Communication) students will be taught not only to express their own intentions, but also to distinguish between appropriate styles of expressions and utterances, and to speak with accurate pronunciation, wording, and grammar.

【講義計画】

- 第1回 Introductions/Class rules/Instructions
- 第2回 unit 1
- 第3回 unit 1
- 第4回 unit 2
- 第5回 unit 2
- 第6回 unit 3
- 第7回 unit 3
- 第8回 Presentations/projects
- 第9回 unit 4
- 第10回 unit 4
- 第11回 unit 5
- 第12回 unit 5
- 第13回 unit 6
- 第14回 unit 6
- 第15回 mid-term test
- 第16回 unit 7
- 第17回 unit 7
- 第18回 unit 8
- 第19回 unit 8
- 第20回 unit 9
- 第21回 unit 9
- 第22回 Presentations/projects
- 第23回 unit 10
- 第24回 unit 10
- 第25回 unit 11
- 第26回 unit 11
- 第27回 unit 12
- 第28回 unit 12
- 第29回 Review
- 第30回 Final test

【成績評価の方法】

試験 25% レポート 25% 出席 50%

The attendance score also includes participation and homework.

There will be a final test and a mid-term test.

The reports will be either:

- Projects
- Group work
- Presentations

【教科書】

McCarthy touchstone 2 Cambridge

【備考】

・02～07生は読替一覧参照

た
行

科目名 クラス 講義区分	
中級英語 R 01<春集> 中級英語 R 06<春集>	
上 村 淳 子	2 単位

【講義概要】

奇数回：大意の把握、パラグラフの構成に留意しながら連続したミステリーを読む。英文の構造を正しく理解するよう、必要に応じて文法事項も復習する。
偶数回：具体的にリーディングのスキルを学習する。

【学習目標】

まずは英文を正しく読むこと、その上で速く読めることを目指す。

【講義計画】

- 第1回 オリエンテーション
The Awakening prologue
以下奇数回はThe Awakening、偶数回はTechnical Skills for Extensive and Intensive Readingのテキストを使用
- 第2回 Introduction Part 1
- 第3回 Chapter 1 The awakening
- 第4回 Introduction Part 2
- 第5回 Chapter 2 Starting a new life
- 第6回 Chapter 1 Part 1
- 第7回 Chapter 3 The stalker
- 第8回 Chapter 1 Part 2
- 第9回 Chapter 4 The road ahead
- 第10回 Chapter 2 Part 1
- 第11回 Chapter 5 At Oxbridge airport
- 第12回 Chapter 2 Part 2
- 第13回 Chapter 6 A long hard search
- 第14回 Chapter 3 Part 1
- 第15回 Chapter 7 Boarding time
- 第16回 Chapter 3 Part 2
- 第17回 Chapter 8 The old photograph
- 第18回 Chapter 4 Part 1
- 第19回 Chapter 9 Meeting the principal
- 第20回 Chapter 4 Part 2
- 第21回 Chapter 10 Confronting the hard truth
- 第22回 Chapter 5 Part 1
- 第23回 Chapter 11 The letter from the past
- 第24回 Chapter 5 Part 2
- 第25回 Chapter 12 Departure for the future
- 第26回 Chapter 6 Part 1
- 第27回 Chapter 6 Part 2
- 第28回 春学期の復習
- 第29回 春学期の復習
- 第30回 最終試験

【成績評価の方法】

- 最終試験 40%
出席 20%
小テスト 20%
提出物 20%

【教科書】

Atsuko Uemura, Miwako Yamashina他 To Be Continued... (vol. 2)
The Awakening Asahi Press
Mitsuko Yukishige, Tetsuko Ishimoto他 Technical Skills for Extensive and Intensive Reading 英宝社

【備考】

【準備学習の指示】

- ・授業には、出席するだけでなく、積極的に参加することが重要です。
- ・課題と予習は必ず行ってください。
- ・02～07生は読替一覧参照

科目名 クラス 講義区分	
中級英語 R 02<春集>	
井 口 淳	2 単位

【講義概要】

大意の把握だけではなく、パラグラフの構成にも留意しながら、より細部まで正確に読み取れるようになるための指導を行う。

【学習目標】

英語によるコミュニケーション能力の育成を重視すると同時に、実際の社会生活において要求される、より正確かつ正確な英語力を身に付けさせることを目標とする。

【講義計画】

- 第1回 授業方針の説明。学生諸君の理解度を見ながら授業を進める。従って、以下の計画は、一応の目安であり、変更することもあり得る。
時間に余裕があればプリント教材も使用する。
Rachel Carson and the Wonders of the Earth
- 第2回 Rachel Carson and the Wonders of the Earth
- 第3回 Rachel Carson and the Wonders of the Earth
- 第4回 Gambling with Survival: Chemicals, Hormones and Destiny
- 第5回 Gambling with Survival: Chemicals, Hormones and Destiny
- 第6回 Gambling with Survival: Chemicals, Hormones and Destiny
- 第7回 Think Different
- 第8回 Think Different
- 第9回 War Comes Home: The Kent State Shootings
- 第10回 War Comes Home: The Kent State Shootings
- 第11回 War For Sale: Nayirah's Testimony and The Gulf War
- 第12回 War For Sale: Nayirah's Testimony and The Gulf War
- 第13回 Barbara Lee Votes 'No'
- 第14回 Barbara Lee Votes 'No'
- 第15回 中間試験
- 第16回 Isamu Noguchi and the Internment of Japanese-Americans
- 第17回 Isamu Noguchi and the Internment of Japanese-Americans
- 第18回 Isamu Noguchi and the Internment of Japanese-Americans
- 第19回 The Spirit of Aloha
- 第20回 The Spirit of Aloha
- 第21回 The Spirit of Aloha
- 第22回 The Limits of Forgiveness: The Amish Schoolhouse Murders
- 第23回 The Limits of Forgiveness: The Amish Schoolhouse Murders
- 第24回 Eugene Debs and Joseph McCarthy
- 第25回 Eugene Debs and Joseph McCarthy
- 第26回 The End of "Separate but Equal"
- 第27回 The End of "Separate but Equal"
- 第28回 Wounded Knee: 1890, 1973
- 第29回 Wounded Knee: 1890, 1973
- 第30回 定期試験

【成績評価の方法】

試験 70% レポート 10% 出席 20%
中間試験、定期試験、レポート(宿題)、授業での発表内容、授業に積極的に参加しているかどうか、出席率などを総合的に評価する。

【教科書】

Jonathan Mack, Shinji Iwamasa 他 Different Histories 金星堂

【参考文献】

授業で指示する。

【備考】

【準備学習の指示】 予習をしておきたい。具体的には、CDを聴いた後、知らない単語を辞書で調べておくこと。
・02～07生は読替一覧参照

科目名 クラス 講義区分	
中級英語R 03<春集> 中級英語R 14<秋集>	
松田 雄治	2単位

【講義概要】

エッセイ、会話、Eメールなどのリーディングコンテンツ（14例）を、英文法を援用しながら読解の手ほどきをします。授業でそれぞれの全訳を提供することで内容が理解できれば、模範朗読CDの音声に合わせて音読（パラレルリーディング）して下さい。TOEIC形式の豊富な文法・語彙問題を練習することでTOEICのリーディングセクションへの対応が可能になります。

【学習目標】

英文の文法事項の習得と英文の音読ならびに筆写を学習目標としています。近い将来に受験されるTOEICテストのリスニングセクションやリーディングセクションに、この講義（演習）からの学習成果を生かすことができます。内容が豊富ですので、必ず、自宅等で予習しておいて下さい。

【講義計画】

- 第1回 授業のオリエンテーションの後、すぐに授業に入ります。
Unit 1. Departure (1)
- 第2回 Unit 1. Departure (2)
- 第3回 Unit 2. As for culture, let's take a tour! (1)
- 第4回 Unit 2. As for culture, let's take a tour! (2)
- 第5回 Unit 3. Meet Bill: the history of his Japanese stereotypes (1)
- 第6回 Unit 3. Meet Bill: the history of his Japanese stereotypes (2)
- 第7回 Unit 4. Airport hell: when Sue talks, you listen (1)
- 第8回 Unit 4. Airport hell: when Sue talks, you listen (2)
- 第9回 Unit 5. Hell: two universal truths (1)
- 第10回 Unit 5. Hell: two universal truths (2)
- 第11回 Unit 6. A summer day in the life of Sue and Bill (1)
- 第12回 Unit 6. A summer day in the life of Sue and Bill (2)
- 第13回 Unit 7. No culture shock: Monday is hell everywhere! (1)
- 第14回 Unit 7. No culture shock: Monday is hell everywhere! (2)
- 第15回 定期試験（筆記試験）
- 第16回 Unit 8. Wake up, this is a nightmare, too much TV... (1)
- 第17回 Unit 8. Wake up, this is a nightmare, too much TV... (2)
- 第18回 Unit 9. Textbook draft (1)
- 第19回 Unit 9. Textbook draft (2)
- 第20回 Unit 10. Flying high in the sky, like... (1)
- 第21回 Unit 10. Flying high in the sky, like... (2)
- 第22回 Unit 11. Tough men and their weekend tradition (1)
- 第23回 Unit 11. Tough men and their weekend tradition (2)
- 第24回 Unit 12. The international language of drinking games (1)
- 第25回 Unit 12. The international language of drinking games (2)
- 第26回 Unit 13. Dear Reader: imagine your global future! (1)
- 第27回 Unit 13. Dear Reader: imagine your global future! (2)
- 第28回 Unit 14. Dear Sue: Taro rocks (1)
- 第29回 Unit 14. Dear Sue: Taro rocks (2)
- 第30回 定期試験（筆記試験）

【成績評価の方法】

試験 20% レポート 30% 出席 50%
なによりも講義（演習）への出席が肝要です。レポート等は締切を守って下さい。

【教科書】

久保善宏ほか Outsiders Looking In 開文社出版（株）

【参考文献】

開講時に紹介します。

【備考】

・02～07生は読替一覧参照

科目名 クラス 講義区分	
中級英語R 04<春集>	
福屋 義則	2単位

【講義概要】

英語インプット（リーディング、リスニング、語彙など）に重点を置く。学習目標を達成するために、受講生はTVコマーシャルを媒介とした外国文化に触れる。また、受講生は記事（新聞、雑誌、ウェブ・サイトから）の読解課題をこなす。

【学習目標】

「大意の把握だけでなく、より細部まで正確に読み取り、聞き取れることを目標とする。また、外国文化に触れる事で実用的なコミュニケーションに役立つ知識と語彙を身につけることを目標とする。

【講義計画】

- 第1回 Course Introduction
Unit 1: Meijer—Higher Standards, Lower Prices (Part I)
- 第2回 Unit 1: Meijer—Higher Standards, Lower Prices (Part II)
- 第3回 Unit 2: This Calls for a Bud Light (Part I)
- 第4回 Unit 2: This Calls for a Bud Light (Part II)
- 第5回 Unit 3: Anti-Discrimination Campaign (Part I)
- 第6回 Unit 3: Anti-Discrimination Campaign (Part II)
- 第7回 Unit 4: McDonald's—King of Fast-Food Restaurants (Part I)
- 第8回 Unit 4: McDonald's—King of Fast-Food Restaurants (Part II)
- 第9回 Unit 5: Relax, it's FedEx. (Part I)
- 第10回 Unit 5: Relax, it's FedEx. (Part II)
- 第11回 Unit 6: BMW—A Car beyond Reason (Part I)
- 第12回 Unit 6: BMW—A Car beyond Reason (Part II)
- 第13回 Unit 7: Banking for the Filthy Rich (Part I)
- 第14回 Unit 7: Banking for the Filthy Rich (Part II)
- 第15回 Unit 8: Learning Languages (Part I)
- 第16回 Unit 8: Learning Languages (Part II)
- 第17回 Unit 9: Pepsi—Ask for More (Part I)
- 第18回 Unit 9: Pepsi—Ask for More (Part II)
- 第19回 Unit 10: United Nations Development Programme (Part I)
- 第20回 Unit 10: United Nations Development Programme (Part II)
- 第21回 Unit 11: Disney—Magic Happens (Part I)
- 第22回 Unit 11: Disney—Magic Happens (Part II)
- 第23回 Unit 12: Coca Cola—For Everyone (Part I)
- 第24回 Unit 12: Coca Cola—For Everyone (Part II)
- 第25回 Unit 13: Anti-Smoking Campaign (Part I)
- 第26回 Unit 13: Anti-Smoking Campaign (Part II)
Unit 14: Counterfeit Mini Coopers (Part I)
- 第27回 Unit 14: Counterfeit Mini Coopers (Part II)
Unit 15: Hallmark of a Teacher (Part I)
- 第28回 Unit 15: Hallmark of a Teacher (Part II)
- 第29回 春学期末試験は無し

【成績評価の方法】

語彙テスト40%、課題60%、出席0%（五回以上欠席した受講生には単位を与えない。）

【教科書】

Masayuki Aoki English in 30 Seconds (2009) Nan' un-do DVD included.

【備考】

【授業時間以外での準備学習と課題】

毎回の語彙テストに備える。読解課題をこなす。
・02～07生は読替一覧参照

た
行

科目名 クラス 講義区分	
中級英語R 05<春集>	
大川 愛子	2単位

【講義概要】

中級英語R(リーディング)では大意の把握を試み内容理解を第一とし、読み進める中で英文構成の把握をも努める。

【学習目標】

英語におけるコミュニケーション能力の育成を重視すると同時に実際の社会生活において要求されるより正確かつ精確な英語力を身に付けさせることを目標とする。

【講義計画】

- 第1回 Multinational Businesses
- 第2回 Other Business-Related Problems
- 第3回 Visitors from Abroad
- 第4回 Visitors from Abroad
- 第5回 Minority Rights
- 第6回 Minority Rights
- 第7回 Academic Interest
- 第8回 Academic Interest
- 第9回 Communication
- 第10回 Culture
- 第11回 Communication and Culture Linked
- 第12回 Communication and Culture Linked
- 第13回 Intercultural Communication
- 第14回 Intercultural Communication
- 第15回 Meanings of Other Terms
- 第16回 Meanings of Other Terms
- 第17回 Verbal Communication
- 第18回 Verbal Communication
- 第19回 Nonverbal Communication
- 第20回 Nonverbal Communication
- 第21回 Perception
- 第22回 Perception
- 第23回 Self-Perception
- 第24回 Self-Perception
- 第25回 Needs
- 第26回 Needs
- 第27回 Values, Beliefs/ Attitudes
- 第28回 Roles

【成績評価の方法】

授業出席は基本的条件で1/3欠席は不可
評価は学期末試験50%、毎回の授業中の小テスト、スピーチ、プレゼンテーション等々が50%。学習態度を重視します。

【教科書】

Donald W. Klopf Communicating Effectively across Cultures
南雲堂

【備考】

- ・英語の授業には出席するだけでなく積極的に参加することが重要です。
- ・課題と予習は必ず行なって下さい。
- ・02～07生は読替一覧参照

科目名 クラス 講義区分	
中級英語R 07<春集>	
井口 淳	2単位

【講義概要】

大意の把握だけではなく、パラグラフの構成にも留意しながら、より細部まで正確に読み取れるようになるための指導を行う。

【学習目標】

英語によるコミュニケーション能力の育成を重視すると同時に、実際の社会生活において要求される、より正確かつ精確な英語力を身に付けさせることを目標とする。

【講義計画】

- 第1回 授業方針の説明を行う。学生諸君の理解度を見ながら授業を進めたい。従って、以下の計画は、一応の目安であり、変更することもあり得る。時間に余裕があれば、プリントを使用して授業を行う。
Family-Unfriendly Policies
- 第2回 Family-Unfriendly Policies
- 第3回 Family-Unfriendly Policies
- 第4回 Family-Unfriendly Policies
- 第5回 Uneasy in the Middle
- 第6回 Uneasy in the Middle
- 第7回 Uneasy in the Middle
- 第8回 Energy to Burn
- 第9回 Energy to Burn
- 第10回 Energy to Burn
- 第11回 A Good Immigration Bill
- 第12回 A Good Immigration Bill
- 第13回 A Good Immigration Bill
- 第14回 調整とまとめ
- 第15回 中間試験
- 第16回 The Case for Surveillance
- 第17回 The Case for Surveillance
- 第18回 The Case for Surveillance
- 第19回 The Case for Surveillance
- 第20回 The "Israel Lobby" Myth
- 第21回 The "Israel Lobby" Myth
- 第22回 The "Israel Lobby" Myth
- 第23回 The Golden Age Is Ending
- 第24回 The Golden Age Is Ending
- 第25回 The Golden Age Is Ending
- 第26回 Seven Instant Mood Boosters
- 第27回 Seven Instant Mood Boosters
- 第28回 Seven Instant Mood Boosters
- 第29回 調整とまとめ
- 第30回 定期試験

【成績評価の方法】

試験 70% レポート 10% 出席 20%
中間試験、定期試験、レポート(宿題)、授業での発表内容、授業に積極的に参加しているかどうか、出席率などを総合的に評価する。

【教科書】

Naohisa Murakami Matters of Opinion 南雲堂

【参考文献】

授業で指示する。

【備考】

- 【準備学習の指示】予習をしておきたい。具体的には、CDを聴いた後、知らない単語を辞書で調べておくこと。
- ・02～07生は読替一覧参照

科目名 クラス 講義区分	
中級英語R 08<秋集>	
葛原 香代子	2単位

【講義概要】

到達目標を念頭におきながら、エッセイ、小説、詩、新聞、雑誌、ウェブサイト、広告文など様々な英語を題材にして、精読、多読の訓練を行い、同時にリーディング力向上のために必要な知識および語彙力、文法力を身につけてもらう。

【学習目標】

中級英語では、英語によるコミュニケーション能力の育成を重視すると同時に、社会生活において要求される、より正確かつ精確な英語力を身につけさせることを目標にする。特にリーディングにおいては、大意の把握だけでなく、パラグラフの構成にも留意しながら、より細部まで正確に読み取れるようになるための指導を行う。

【講義計画】

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 Topic12
- 第3回 Topic12
- 第4回 Topic13
- 第5回 Topic13
- 第6回 Topic14
- 第7回 Topic14
- 第8回 Topic15
- 第9回 Topic15
- 第10回 Topic16
- 第11回 Topic16
- 第12回 Topic17
- 第13回 Topic17
- 第14回 Topic18
- 第15回 Topic18
- 第16回 Topic18
- 第17回 Topic19
- 第18回 Topic19
- 第19回 Topic19
- 第20回 Topic20
- 第21回 Topic20
- 第22回 Topic20
- 第23回 Topic21
- 第24回 Topic21
- 第25回 Topic21
- 第26回 Topic22
- 第27回 Topic22
- 第28回 Topic22
- 第29回 Final Exam

【成績評価の方法】

試験 70% 出席 30%
試験70%の内訳には Semester 期末試験50%と数回の小テスト20%が含まれる。

【教科書】

Kazushi Kuzumi, Hiroaki Natsume, Suzy Fukuda What It's About!
三修社

【備考】

準備学習の指示: 「英語」の授業には、出席するだけでなく、積極的に参加することが重要です。課題と予習は必ず行ってください。

・02~07生は読替一覧参照

科目名 クラス 講義区分	
中級英語R 09<秋集> 中級英語R 10<秋集>	
川口 剛	2単位

【講義概要】

身近で興味を引く話題を取り上げた2種類のテキストをもとに読み進めながら、同時にリーディングのコツや役立つスキルを身につける。ユニット順に読んでいくことを基本とするが、時間数の関係上、特に興味深い内容のものから取り上げて読んでいく。

【学習目標】

大意の把握だけでなく、パラグラフの構成にも留意しながら、より細部まで正確に読み取れるようになることを目標にする。また直読直解のための基礎的な力をつけるために、返り読みをしないで読めるようになることを目標にする。

【講義計画】

- 第1回 Unit 2 Tipping Tips を読む。進め方はテキストに基づき、A Complete College English Program Book 2 については Vocabulary Bank → One-Pice Talk → Reading → Cheking → Focus on Reading → Drill → Listening → Plus One Activity の順で行う。
- 第2回 Book 2 Unit 3 The Republicans and the democrats
- 第3回 Career Paths Unit 1 Travel Agent 旅は心のビタミン! 豊か感動のステージに!
- 第4回 Book 2 Unit 4 Tropical Rainforests
- 第5回 Career Paths Unit 4 Flight Attendant 快適な空のたびを演出
- 第6回 Career Paths Unit 8 Flight language School Owner・Teacher 世の扉を開く英語
- 第7回 Book 2 Unit 6 Indodemics
- 第8回 Book 2 Unit 7 Manga Mania
- 第9回 Career Paths Unit 12 Executive Search Consultant 会社と人を結びつけるエグゼクティブヘッドハンター
- 第10回 Book 2 Unit 9 Economy Class Syndrome
- 第11回 Book 2 Unit 10 The Awe of Auroras
- 第12回 Career Paths Unit 18 Japanese Language Teacher 日本と世界の架け橋を担う日本語教師
- 第13回 Book 2 Unit 11 What Happened When She Was Stolen?
- 第14回 Book 2 Unit 12 Sizing Japan Up, or Down
- 第15回 Test
- 第16回 Unit 10 The Awe of Auroras (Book 2)
- 第17回 Unit 11 What Happened When She Was Stolen? (Book 2)
- 第18回 Unit 12 Sizing Japan Up, or Down (Book 2)
- 第19回 Unit 13 Product Placement (Book 2)
- 第20回 Unit 14 Blue Whale (Book 2)
- 第21回 Unit 15 DNA Fingerprinting (Book 2)
- 第22回 Unit 12 Executive Search Consultant (English Career Paths t)
- 第23回 Unit 10 Cheerleader (English Career Paths)
- 第24回 Unit 2 Freelance Journalist t (English Career Paths to Success)
- 第25回 Unit 13 Restaurant Owner・Chef (English Career Paths to Success)
- 第26回 Unit 20 Translator t (English Career Paths to Success)
- 第27回 Unit 16 UN Worker (English Career Paths)
- 第28回 英字新聞または問題集から興味深い読み物を抜粋し読むプリント配布
- 第29回 英字新聞または問題集から興味深い読み物を抜粋し読むプリント配布
- 第30回 試験

【成績評価の方法】

試験 60% 出席 40%
出席率だけでなく、授業への積極的な参加姿勢を評価します。

【教科書】

Takehisa Tsuchiya A Complete College English Program Book 2
KINSEIDO
金星堂出版のテキストです。授業開始までに各自で購入していただくようお願いいたします。
Kyoko Shiomi English Career Paths to Success SEIBIDO

【参考文献】

A Complete College English Program Book 1

【備考】**【準備学習の指示】**

指定のテキストの各回に予定されているユニットを事前に読んで予習して置いてください。また普段からジャパンタイムズや朝日ウィークリーなどの英字新聞を読む習慣を付けてください。websiteで読むこともできます。

・02～07生は読替一覧参照

科目名 クラス 講義区分

中級英語R 11<秋集>

葛原 香代子

2単位

【講義概要】

到達目標を念頭におきながら、エッセイ、小説、詩、新聞、雑誌、ウェブサイト、広告文などの英語を題材に、精読、多読の訓練を行い、同時にリーディング力向上のために必要な知識、語彙力、文法力が伸びるように授業をすすめる。

【学習目標】

英語によるコミュニケーション能力の育成と、社会生活で要求される正確かつ精確な英語力を身につけることを目標にする。特にリーディングにおいては、大意の把握だけでなくパラグラフの構成にも留意し、より細部まで正確に読み取れることを目指す。

【講義計画】

第1回 オリエンテーション
 第2回 Unit 1
 第3回 Unit 2
 第4回 Unit 3
 第5回 Unit 4
 第6回 Unit 4
 第7回 Unit 5
 第8回 Unit 5
 第9回 Unit 6
 第10回 Unit 6
 第11回 Unit 7
 第12回 Unit 7
 第13回 Unit 8
 第14回 Unit 8
 第15回 Unit 9
 第16回 Unit 9
 第17回 Unit 10
 第18回 Unit 10
 第19回 Unit 11
 第20回 Unit 11
 第21回 Unit 12
 第22回 Unit 12
 第23回 Unit 13
 第24回 Unit 13
 第25回 Unit 14
 第26回 Unit 14
 第27回 Unit 15
 第28回 Unit 15
 第29回 Final Exam

【成績評価の方法】

試験 70% 出席 20%

試験70%の内訳には Semester 期末試験50%と数回の小テスト20%が含まれる。

【教科書】

Takehisa Tsuchiya, Eiichi Yubune, Bill Benfield Power Reading 2
 成美堂

【備考】

準備学習の指示: 「英語」の授業には、出席するだけでなく、積極的に参加することが重要です。課題と予習は必ず行ってください。

・02～07生は読替一覧参照

科目名	クラス	講義区分
中級英語R 12<秋集>		
大川 愛子	2単位	

【講義概要】

中級英語R(リーディング)では大意の把握を試み内容理解を第一とし、読み進める中で英文構成の把握をも努める。

【学習目標】

英語におけるコミュニケーション能力の育成を重視すると同時に実際の社会生活において要求されるより正確かつ精確な英語力を身に付けさせることを目標とする。

【講義計画】

- 第1回 The Paradox of International Tourism
- 第2回 The Paradox of International Tourism
- 第3回 The Padadox of International Tourism
- 第4回 The Sensitive Kind
- 第5回 The Sensitive Kind
- 第6回 Different Standards
- 第7回 Different Standards
- 第8回 The Big Problem
- 第9回 The Big Problem
- 第10回 The Big Problem
- 第11回 To Buy or Not to Buy
- 第12回 To Buy or Not to Buy
- 第13回 Suicidal Tendencies
- 第14回 Suicidal Tendencies
- 第15回 Behind the Veil
- 第16回 Behind the Veil
- 第17回 Women Are Not from Venus, Men Are Not from Mars
- 第18回 Women Are Not from Venus, Men Are not from Mars
- 第19回 Women Are Not from Venus, Men Are not from Mars
- 第20回 Working to Death
- 第21回 Working to Death
- 第22回 All Jamicans Love Reggae Music
- 第23回 All Jamicans Love Reggae Music
- 第24回 I'm Sorry
- 第25回 I'm Sorry
- 第26回 I'm Sorry
- 第27回 Living on Fiji Time
- 第28回 Living on Fiji Time

【成績評価の方法】

授業出席は基本的条件で1/3欠席は不可
評価は学期末試験50%、毎回の授業中の小テスト、スピーチ、プレゼンテーション等々が50%。学習態度を重視します。

【教科書】

Masamichi Asama Cultural Conundrums 英宝社

【備考】

- ・英語の授業には出席するだけでなく積極的に参加することが重要です。
- ・課題と予習は必ず行なって下さい。
- ・02~07生は読替一覧参照

科目名	クラス	講義区分
中級英語R 13<秋集>		
宮之原 匡子	2単位	

【講義概要】

Cultural Literacyについてのエッセイを読み、基本的語彙、文法知識の設問に答えながら、読解力を高める。

【学習目標】

基本的語彙、文法を再確認し、大意の把握だけでなく、より細部まで正確に読み取れるようにする。

【講義計画】

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 Lesson 1(1)
- 第3回 Lesson 1(2)
- 第4回 Lesson 2(1)
- 第5回 Lesson 2(2)
- 第6回 Lesson 3(1)
- 第7回 Lesson 3(2)
- 第8回 Lesson 4(1)
- 第9回 Lesson 4(2)
- 第10回 Lesson 5(1)
- 第11回 Lesson 5(2)
- 第12回 Lesson 6(1)
- 第13回 Lesson 6(2)
- 第14回 Review
- 第15回 Lesson 7(1)
- 第16回 Lesson 7(2)
- 第17回 Lesson 8(1)
- 第18回 Lesson 8(2)
- 第19回 Lesson 9(1)
- 第20回 Lesson 9(2)
- 第21回 Lesson 10(1)
- 第22回 Lesson 10(2)
- 第23回 Lesson 11(1)
- 第24回 Lesson 11(2)
- 第25回 Lesson 12(1)
- 第26回 Lesson 12(2)
- 第27回 Lesson 13
- 第28回 Lesson 14
- 第29回 秋学期末試験

【成績評価の方法】

秋学期末試験：50%、出席状況、小テスト、提出物などの平常点：50%

【教科書】

岡野圭壹・杉山泰・川田伸道 Do You Know This? 朝日出版社

【備考】

- 辞書は必携。
- ・02~07生は読替一覧参照

た
行

科目名 クラス 講義区分	
中級英語W 01<秋集>	
Terence J. O'Brien	2単位

【講義概要】

Students will practice different kinds of writing.

【学習目標】

This is a workshop lesson where students write in English. Students will learn to make basic descriptions, short stories and letter writing.

【講義計画】

- 第1回 Describing objects
- 第2回 Self introduction
- 第3回 Describing people
- 第4回 Describing situations
- 第5回 Reporting in the past tense
- 第6回 Instructions and directions
- 第7回 Instructions - making and doing things
- 第8回 Speed writing
- 第9回 making a story from key words
- 第10回 Stories - continuing
- 第11回 Stories - continuing
- 第12回 Stories - finishing
- 第13回 Stories - finishing
- 第14回 Future tense - assumption and doubt
- 第15回 Test
- 第16回 Past tense - describing a holiday
- 第17回 Informal letter - layout
- 第18回 Letter - reporting
- 第19回 Letter - asking for money
- 第20回 Advice - unhappy student
- 第21回 Advice - shoplifting
- 第22回 Business letter - layout
- 第23回 Letter - enquiry and form filling
- 第24回 Discussion
- 第25回 News
- 第26回 News
- 第27回 Advice to a foreign visitor
- 第28回 When I am 40
- 第29回 Free comment
- 第30回 Test

【成績評価の方法】

Students need to have good attendance, good participation in class and have good homework and test scores.

【備考】

・02～07生は読替一覧参照

科目名 クラス 講義区分	
中級英語W 02<秋集>	
Antonio Smith	2単位

【講義概要】

リーディングとライティングの練習を行うことで英語を書く力を効果的に伸ばす。リーディングに関しては、Graded readersを利用し、レベルに合った英文を読むことで、英語を読む楽しみを知り、英語の表現・構文を自然に学ぶ。そして、実際に読んだ本に関するbook reportを執筆することで、英作文の基本を学ぶ。

週2回の授業は以下の内容とする。

月曜日：リーディング

木曜日：月曜日に読んだものに関して、話の要約や感想などを書く練習を少しずつ行う。また、読んだ本の内容についてグループでディスカッションを行い、レポートの執筆に役立てる。

【学習目標】

英文を読むことと英語でのディスカッションをすることで、英作文の能力を高める。

【講義計画】

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 リーディング
- 第3回 ライティング・グループディスカッション
- 第4回 リーディング
- 第5回 ライティング・グループディスカッション
- 第6回 リーディング
- 第7回 ライティング・グループディスカッション
- 第8回 リーディング
- 第9回 ライティング・グループディスカッション
- 第10回 リーディング
- 第11回 ライティング・グループディスカッション
- 第12回 リーディング
- 第13回 ライティング・グループディスカッション
- 第14回 リーディング
- 第15回 中間発表
- 第16回 リーディング
- 第17回 中間発表
- 第18回 リーディング
- 第19回 ライティング・グループディスカッション
- 第20回 リーディング
- 第21回 ライティング・グループディスカッション
- 第22回 リーディング
- 第23回 ライティング・グループディスカッション
- 第24回 リーディング
- 第25回 ライティング・グループディスカッション
- 第26回 リーディング
- 第27回 ライティング・グループディスカッション
- 第28回 最終レポート発表
- 第29回 最終レポート発表

【成績評価の方法】

レポート 60% 出席 40%

【備考】

テキストなし。プリント配布

・02～07生は読替一覧参照

科目名 クラス 講義区分	
中級英語W 03<秋集> 中級英語W 14<春集>	
Mark Donnellan	2単位

【講義概要】

Taking into account the achievement objectives, students will practice writing in various genres in English such as essays, short reports, diaries, blogs, letters, emails, business documents and so on. At the same time they will acquire vocabulary, grammar, and the necessary world knowledge needed to improve their writing skills.

【学習目標】

In Intermediate English W (Writing) students will be taught not only to express their own intentions, but also to distinguish between appropriate styles of expressions and utterances, and to speak with accurate pronunciation, usage, and grammar.

【講義計画】

- 第1回 Introductions/Class rules/Instructions
- 第2回 unit 1
- 第3回 unit 1
- 第4回 unit 2
- 第5回 unit 2
- 第6回 unit 3
- 第7回 unit 3
- 第8回 unit 4
- 第9回 unit 4
- 第10回 Presentations/Group projects
- 第11回 Presentations/Group projects
- 第12回 unit 5
- 第13回 unit 5
- 第14回 unit 6
- 第15回 unit 6
- 第16回 unit 7
- 第17回 unit 7
- 第18回 unit 8
- 第19回 unit 8
- 第20回 Presentations/Group projects
- 第21回 Presentations/Group projects
- 第22回 unit 9
- 第23回 unit 9
- 第24回 unit 10
- 第25回 unit 10
- 第26回 unit 11
- 第27回 unit 11
- 第28回 unit 12
- 第29回 unit 12
- 第30回 Final Exam

【成績評価の方法】

試験 10% レポート 60% 出席 30%
The attendance score also includes participation.
The reports score includes:
Projects
Group work
Presentations
Homework assignments

【教科書】

Kelly Writing From Within Cambridge

【備考】

- ・02～07生は読替一覧参照

科目名 クラス 講義区分	
中級英語W 04<秋集>	
Craig Gamble	2単位

【講義概要】

This course is a continuation from the Spring semester and will focus on improving students' skills in communicative English with emphasis on speaking and listening in a cross-cultural environment. Students will be given opportunities to express their ideas on various subjects. Fluency practice will also be included to increase the speed of speaking, language processing, and confidence in the material learned. Supplementary material may be used to increase the amount of communicative practice in pairs and groups. Reading and writing will be used to reinforce oral tasks.

【学習目標】

The objectives of this course are to strengthen student's ability and confidence in all basic areas, inferring meaning, and using accurate and appropriate exponents to achieve practical functional outcomes in direct communication with one another. At the end of this course students will be able to:

- ・Avoid all but minor pronunciation errors that do not hinder comprehension
- ・Speak fairly fluently, using circumlocution when lacking relevant vocabulary
- ・Use vocabulary and grammatical structures necessary for expressing degrees of certainty
- ・Actively participate in discussions, responding quickly and effectively to questions from others
- ・State and argue a point of view, after collecting and organizing supporting information
- ・Use vocabulary and grammatical structures necessary to present a complex process or story
- ・Actively use new words typically used by educated speakers of English
- ・Present an informative presentation to the class (up to 15 minutes) from an outline or notes
- ・Give short oral summaries from publications
- ・Recognize clues and cues provided by tone of voice, stress and intonation in identifying contrast and emphasis
- ・Identify specific information (recognize which information is important)

【講義計画】

- 第1回 Class orientation
Unit 7 - Architecture (describing buildings)
- 第2回 Unit 7 - Architecture (Identifying fact and opinion)
- 第3回 Unit 7 - Architecture
- 第4回 Unit 7 - Architecture
- 第5回 Quiz - Unit 7
Unit 8 - Globalization (positive and negative aspects)
- 第6回 Unit 8 - Globalization
- 第7回 Unit 8 - Globalization
- 第8回 Unit 8 - Globalization
- 第9回 Quiz - Unit 8
Unit 9 - Art (exhibitions and opinions)
- 第10回 Unit 9 - Art
- 第11回 Unit 9 - Art
- 第12回 Unit 9 - Art
- 第13回 Test - Units 7-9
- 第14回 Unit 10 - Psychology (Discussing team roles)
- 第15回 Unit 10 - Psychology
- 第16回 Unit 10 - Psychology
- 第17回 Unit 10 - Psychology
- 第18回 Quiz - Unit 10
Unit 11 - Culture (Cultural differences)
- 第19回 Unit 11 - Culture (Time capsule)
- 第20回 Unit 11 - Culture
- 第21回 Unit 11 - Culture
- 第22回 Unit 11 - Culture
- 第23回 Quiz - Unit 11

た
行

Unit 12- Technology (Discussing benefits)
 第24回 Unit 12- Technology
 第25回 Unit 12- Technology
 第26回 Unit 12- Technology
 第27回 Test Units 10-12
 第28回 Review Units 7-12 for final semester exam

【成績評価の方法】

試験 60% レポート 40% 出席 0%

Tests

Regular tests/quizzes 30%

Final semester test 30%

Reports

Homework 10%

Class activities 30%

【教科書】

David Cotton, David Falvey, Simon Kent Language Leader - Upper intermediate Pearson/Longman

【備考】

・02～07生は読替一覧参照

科目名 クラス 講義区分

中級英語W 05<秋集>

Antonio Smith

2単位

【講義概要】

リーディングとライティングの練習を行うことで英語を書く力を効果的に伸ばす。リーディングに関しては、Graded readersを利用し、レベルに合った英文を読むことで、英語を読む楽しみを知り、英語の表現・構文を自然に学ぶ。そして、実際に読んだ本に関するbook reportを執筆することで、英作文の基本を学ぶ。

週2回の授業は以下の内容とする。

月曜日：リーディング

木曜日：月曜日に読んだものに関して、話の要約や感想などを書く練習を少しずつ行う。また、読んだ本の内容についてグループでディスカッションを行い、レポートの執筆に役立てる。

【学習目標】

英文を読むことと英語でのディスカッションをすることで、英作文の能力を高める。

【講義計画】

第1回 オリエンテーション
 第2回 リーディング
 第3回 ライティング・グループディスカッション
 第4回 リーディング
 第5回 ライティング・グループディスカッション
 第6回 リーディング
 第7回 ライティング・グループディスカッション
 第8回 リーディング
 第9回 ライティング・グループディスカッション
 第10回 リーディング
 第11回 ライティング・グループディスカッション
 第12回 リーディング
 第13回 ライティング・グループディスカッション
 第14回 リーディング
 第15回 中間発表
 第16回 リーディング
 第17回 中間発表
 第18回 リーディング
 第19回 ライティング・グループディスカッション
 第20回 リーディング
 第21回 ライティング・グループディスカッション
 第22回 リーディング
 第23回 ライティング・グループディスカッション
 第24回 リーディング
 第25回 ライティング・グループディスカッション
 第26回 リーディング
 第27回 ライティング・グループディスカッション
 第28回 最終レポート発表
 第29回 最終レポート発表

【成績評価の方法】

レポート 60% 出席 40%

【備考】

テキストなし。プリント配布

・02～07生は読替一覧参照

科目名 クラス 講義区分	
中級英語W 06<秋集>	
John Weir	2単位

【講義概要】

Taking into account the achievement objectives, students will practice writing in various genres in English such as essays, short reports, diaries, blogs, letters, emails, business documents and so on. At the same time they will acquire vocabulary, grammar, and the necessary world knowledge needed to improve their writing skills. The other skills of listening, speaking and reading will also be covered.

【学習目標】

The general objectives of Intermediate English are to raise the English communication ability of students, while at the same time helping them to acquire accuracy. In Intermediate English W (Writing) students will be taught not only to express their own intentions, but also to distinguish between appropriate styles of expressions and utterances, and to write and speak with accuracy.

【講義計画】

- 第1回 Introduction
- 第2回 Likes, dislikes and routines
- 第3回 Personal correspondence to friends
- 第4回 Landing cards, application forms
- 第5回 Formal and informal thank you letters, emails
- 第6回 Requesting and sending information, formal I
- 第7回 Requesting and sending information, formal II
- 第8回 Review and practice
- 第9回 Requesting and sending information, informal: wh-questions
- 第10回 Requesting and sending information, informal: wh-questions
- 第11回 Invitations, acceptance and refusal I
- 第12回 Invitations, acceptance and refusal II
- 第13回 Making and changing arrangements I
- 第14回 Making and changing arrangements II
- 第15回 Giving directions
- 第16回 Complaints I
- 第17回 Complaints II
- 第18回 Review and practice
- 第19回 Working with descriptive language I
- 第20回 Working with descriptive language II
- 第21回 Writing reviews: movies, music, books, restaurants, hotels, etc I
- 第22回 Writing reviews: movies, music, books, restaurants, hotels, etc II
- 第23回 Personal experiences, vacations and travel I
- 第24回 Personal experiences, vacations and travel II
- 第25回 Writing about personal interests I
- 第26回 Writing about personal interests II
- 第27回 Writing application letters
- 第28回 Review, games and practice
- 第29回 Test

【成績評価の方法】

試験 90% 出席 10%

【教科書】

Roger Barnard and Dorothy E. Zemach Writing for the Real World 1 Oxford

【備考】

・02～07生は読替一覧参照

科目名 クラス 講義区分	
中級英語W 07<秋集>	
Douglas Meyer	2単位

【講義概要】

Course outline: This intensive autumn writing course is intended to improve student's basic writing abilities. This will be done through work on extensive writing and writing fluency activities.

【学習目標】

Purpose of class: to enable students to write and express basic concepts, introductions, and simple letters.

【講義計画】

- 第1回 Student/teacher introductions.
Text unit 1: Writing letters of introduction
- 第2回 Unit 1: Letters of introduction
- 第3回 Unit 1: Letters of introduction
- 第4回 Unit 2: Writing a personal story
- 第5回 Unit 2: Writing a personal story
- 第6回 Unit 2: Writing a personal story
- 第7回 Unit 3: Writing about people
- 第8回 Unit 3: Writing about people
- 第9回 Unit 3: Writing about people
- 第10回 Unit 4: Using timelines to write
- 第11回 Unit 4: Using timelines to write
- 第12回 Unit 4: Using timelines to write
- 第13回 Unit 5: Topic sentences and paragraphs
- 第14回 Unit 5: Topic sentences and paragraphs
- 第15回 Unit 5: Topic sentences and paragraphs
- 第16回 Review class
- 第17回 Unit 6: Plans and instructions
- 第18回 Unit 6: Plans and instructions
- 第19回 Unit 6: Plans and instructions
- 第20回 Unit 7: A thank-you letter
- 第21回 Unit 7: A thank-you letter
- 第22回 Unit 7: A thank-you letter
- 第23回 Unit 8: Writing a movie review
- 第24回 Unit 8: Writing a movie review
- 第25回 Unit 8: Writing a movie review
- 第26回 Unit 9: Friendship. Combining and supporting sentences
- 第27回 Unit 9: Friendship. Combining and supporting sentences
- 第28回 Unit 9: Friendship. Combining and supporting sentences
- 第29回 Unit 11: Writing an advertisement
- 第30回 Review class

【成績評価の方法】

試験 30% レポート 30% 出席 40%

【教科書】

Kelly & Gargagliano Writing from within: Intro Cambridge

【備考】

Notes:

・02～07生は読替一覧参照

た
行

科目名 クラス 講義区分	
中級英語W 08<春集> 中級英語W 11<春集>	
Hershey Wier	2単位

【講義概要】

In this course, students will spend the majority of time speaking to each other in English using a variety of topics as a medium. However, writing will also be one of the exercises throughout the course. One of the main goals of this course is to train students to listen to what their conversation partner is saying, digest that information, and formulate an original response. Another goal of this course is the building of useful vocabulary.

【学習目標】

Pairwork, group work, vocabulary work, and quizzes will be employed in the teaching approach to this course.

【講義計画】

- 第1回 Course Introduction
- 第2回 Opinions Vocabulary
- 第3回 Opinions Conversation I
- 第4回 Opinions Conversation II
- 第5回 Opinions Writing
- 第6回 Music Vocabulary
- 第7回 Music Conversation I
- 第8回 Music Conversation II
- 第9回 Music Writing
- 第10回 Personality Vocabulary
- 第11回 Personality Conversation I
- 第12回 Personality Conversation II
- 第13回 Personality Writing
- 第14回 Review
- 第15回 Exam
- 第16回 Synopsis of Material Learned Thus Far
- 第17回 Money Vocabulary
- 第18回 Money Conversation I
- 第19回 Money Conversation II
- 第20回 Money Writing
- 第21回 Past Events Vocabulary
- 第22回 Past Events Conversation I
- 第23回 Past Events Conversation II
- 第24回 Past Events Writing
- 第25回 Future Events Vocabulary
- 第26回 Future Events Conversation I
- 第27回 Future Events Conversation II
- 第28回 Future Events Writing
- 第29回 Review
- 第30回 Exam

【成績評価の方法】

試験 75% レポート 25% 出席 0%

【教科書】

Dale Fuller and Corey Fuller Face to Face MacMillan

【参考文献】

English - Japanese and Japanese - English dictionaries (no cell phone); electronic dictionary or hard copy dictionary are absolutely required. Also: loose leaf paper; pencil; eraser; red pen

【備考】

This is a participation based class. If you participate fully, you will be able to pass this class relatively easily.

・02~07生は読替一覧参照

科目名 クラス 講義区分	
中級英語W 09<春集>	
Arthur Frederick Lauritsen	2単位

【講義概要】

This course is designed to familiarize students with the speaking and listening sections of the TOEFL test. The listening section measures your ability to understand spoken English from North America and other English-speaking parts of the world. In academic environments students need to listen to lectures and conversations. The speaking section includes speaking about familiar topics, and answering questions about reading passages and lectures. This introductory class is designed to help students whose current TOEFL test score ranges approximately from 380 to 400 on the TOEFL PBT or 26-32 on the TOEFL iBT.

【学習目標】

At the end of this course students will:

Be familiar with the format and language of the TOEFL speaking and listening sections.

Understand the discrete skills necessary to fully utilize their English knowledge during the test.

Have improved their English through practice during and outside of class.

【講義計画】

- 第1回 Introduction - class, syllabus, textbook, grading, word cards, homework, presentations and book report
- 第2回 Vocabulary quiz
Conversation based lesson
- 第3回 Vocabulary Quiz and summary
Conversation based lesson
- 第4回 Vocabulary Quiz and summary
Conversation based lesson
- 第5回 Vocabulary and summary
Presentation Prep
- 第6回 Presentation
- 第7回 Vocabulary quiz and summary
Conversation based lesson
- 第8回 Vocabulary quiz and summary
Conversation based lesson
- 第9回 Vocabulary quiz and Book Report #1 due Rough Draft
Presentation Prep
- 第10回 Presentation
- 第11回 Vocabulary quiz and Book Report #1 due
Conversation based lesson
- 第12回 Vocabulary quiz and summary
Conversation based lesson
- 第13回 Vocabulary quiz and summary
Presentation Prep
- 第14回 Presentation
- 第15回 Vocabulary quiz and summary
Conversation based lesson
- 第16回 Vocabulary quiz and summary
Conversation based lesson
- 第17回 Vocabulary quiz and summary
Presentation Prep
- 第18回 Presentation
- 第19回 Vocabulary quiz and summary
Conversation based lesson
- 第20回 Vocabulary quiz and summary
Conversation based lesson
- 第21回 Vocabulary quiz and summary
Presentation Prep
- 第22回 Presentation
- 第23回 Vocabulary quiz and summary
Conversation based lesson
- 第24回 Vocabulary quiz and summary
Conversation based lesson
- 第25回 Vocabulary quiz and summary
Presentation Prep
- 第26回 Presentation
- 第27回 Vocabulary quiz
Conversation based lesson

第28回 Vocabulary quiz and Book Report #2 Due
Final Speaking Presentation preparation
第29回 Final Speaking Presentation!

【成績評価の方法】

Grades will be based on in-class participation, homework, homework quizzes, and a final exam.

【教科書】

Phillips, Deborah Longman Introductory Course for the TOEFL iBT Pearson Longman

【備考】

・02～07生は読替一覧参照

科目名 クラス 講義区分	
中級英語W 10<春集>	
John Weir	2単位

【講義概要】

Taking into account the achievement objectives, students will practice writing in various genres in English such as essays, short reports, diaries, blogs, letters, emails, business documents and so on. At the same time they will acquire vocabulary, grammar, and the necessary world knowledge needed to improve their writing skills. The other skills of listening, speaking and reading will also be covered.

【学習目標】

The general objectives of Intermediate English are to raise the English communication ability of students, while at the same time helping them to acquire accuracy. In Intermediate English W (Writing) students will be taught not only to express their own intentions, but also to distinguish between appropriate styles of expressions and utterances, and to write and speak with accuracy.

【講義計画】

- 第1回 Introduction
- 第2回 Some focus on grammar in writing
- 第3回 Writing about personal interests, elaborating I
- 第4回 Writing about personal interests, elaborating II
- 第5回 Composition structure and styles I
- 第6回 Composition structure and styles II
- 第7回 Editing
- 第8回 Requesting and sending information, formal I
- 第9回 Requesting and sending information, formal II
- 第10回 Review and practice
- 第11回 Informal letters I
- 第12回 Informal letters II
- 第13回 Writing application letters
- 第14回 Telling a story I
- 第15回 Telling a story II
- 第16回 Writing a speech I
- 第17回 Writing a speech II
- 第18回 Complaints I
- 第19回 Complaints II
- 第20回 Review and practice
- 第21回 Language of description I
- 第22回 Language of description II
- 第23回 Personal experiences, vacations and travel I
- 第24回 Personal experiences, vacations and travel I
- 第25回 Writing reviews: movies, music, books, restaurants, hotels, etc II
- 第26回 Writing reviews: movies, music, books, restaurants, hotels, etc II
- 第27回 Reporting, current events, sports
- 第28回 Review, games, quizzes and practice
- 第29回 Test

【成績評価の方法】

試験 90% 出席 10%

【教科書】

David Olsher Words in Motion Student Book Oxford

【備考】

・02～07生は読替一覧参照

た
行

科目名 クラス 講義区分	
中級英語W 12<春集> 中級英語W 13<春集>	
RobertB. Sanderson	2単位

【講義概要】

We learn by doing, and by doing something again and again, hopefully in varied and interesting ways, until we can say that we have “learned” it. Because our main purpose is for students to improve their fluency in the four main skills of reading, writing, listening, and speaking, we’ll do a number of activities that are extensive in nature, rather than intensive. We will communicate in English a great deal, in pairs, small groups, and as a whole class, on a wide range of topics of interest to students, and will focus on developing our vocabulary. Assignments will vary depending on student numbers, interests, and abilities.

【学習目標】

The main purpose of this class is to improve students’ English fluency in the four main skills of reading, writing, listening, and speaking, though improved accuracy will be an important secondary goal. Increasing facility with the most commonly used words in English is a primary goal.

【講義計画】

- 第1回 Course overview, warm-ups, intro to pair-talking and Extensive Reading
- 第2回 More warm-ups, Text Unit 1 (Free Time) Chapter 1
- 第3回 Student Profiles due, Chapter 1 continued
- 第4回 Chapter 2
- 第5回 Chapter 2 continued
- 第6回 Chapter 3
- 第7回 Chapter 3 continued
- 第8回 Chapter 4 Scrabble
- 第9回 Chapter 4 continued
- 第10回 Review of Unit 1
- 第11回 Unit 1 Test
- 第12回 Writing about an important person
- 第13回 Writing about an important person, continued
- 第14回 Unit 2 (Places…) Chapter 5
- 第15回 Chapter 5 continued
- 第16回 Chapter 6
- 第17回 Chapter 6 continued
- 第18回 Chapter 7
- 第19回 Chapter 7 continued
- 第20回 Chapter 8
- 第21回 Chapter 8 continued
- 第22回 Review of Unit 2
- 第23回 Unit 2 Test
- 第24回 Writing about a favorite place
- 第25回 Writing about a favorite place, continued
- 第26回 Poster presentations
- 第27回 Summer plans & activities
- 第28回 Oral Check

【成績評価の方法】

Grades are determined mostly by considering each student’s efforts to improve, as shown by their attendance, active participation in class, overall attitude, outside class preparation, and by their portfolio of work done over the course of each semester. Students are encouraged to attend every class in order to improve most noticeably. More than six absences and three latenesses will result in automatic failure for the course.

【教科書】

Linda Butler Password 1 - A Reading and Vocabulary Text Longman

【備考】

Students should be sure to get the version of the textbook with the CD included so they can do listening practice outside of class.

・02～07生は読替一覧参照

科目名 クラス 講義区分		
中国企業論 <秋>		
唐	成	2単位

【講義概要】

本講義では、「世界の工場」の担い手としての中国企業、とりわけ国有企業と民営企業に関する豊かな実態データをもとに、企業とその経営実態を分析しつつ、中国企業のビジネスモデルとその実力を解き明かす。そのうえで、1990年代以降急増した外資系企業の中国進出の現状、中国企業との経営戦略、組織、人事などの特徴を具体的な事例を紹介しつつ明らかにする。また、講義と関連するテーマに沿って、グループによるテーマの勉強を重ねる（詳細は授業中に説明）。なお、期末テストの代わりに、グループワークのプレゼンテーションを行い、期末レポートを提出する。

【学習目標】

本講義は、中国経済および中国企業を学ぶことによって、日本企業の中国への投資戦略を考え、そのビジネスの成功と失敗のカギを探ることである。

【講義計画】

- 第1回 中国企業を捉える視点
- 第2回 国有企業の改革と現状
- 第3回 民営企業の形成と発展
- 第4回 外資系企業の進出と現状
- 第5回 中国企業の実力
- 第6回 経営者の実態、能力・素質と技能
- 第7回 中国企業の経営システム I
- 第8回 中国企業の経営システム II
- 第9回 ビデオ
- 第10回 中国企業のグローバル化
- 第11回 中国的勝ち組のビジネスモデル（事例研究 I）
- 第12回 中国的勝ち組のビジネスモデル（事例研究 II）
- 第13回 ビデオ
- 第14回 グループワークによるプレゼンテーション I
- 第15回 グループワークによるプレゼンテーション II

【成績評価の方法】

出席40%、グループワークのプレゼンテーション30%、レポート40%を総合的に評価する。ただし、講義登録者数によって評価方法の変更がある。

【教科書】

特になし。毎回講義資料を配付する。

【参考文献】

第1回目の講義で指示する。

【備考】

・06～10生対象

科目名	クラス	講義区分
中国経済論 <春集>		
敵 善 平	4単位	

【講義概要】

過去30年間の中国経済は年平均10%近くの成長を続け、2010年に日本を抜いて世界第2位の経済大国に躍り出る見込みだ。2008年末以来、世界経済が低迷する中、中国は8%超の成長率を保った。いま、中国経済は世界経済の重要な一角を担うようになっている。他方、高度成長に伴って発生した環境問題の深刻化、都市農村間の格差、独裁的な政治体制に由来する腐敗などの問題もある。

本講義では、中国経済の成長過程を明らかにし、高度成長が実現した背景、直面している主な問題、今後の課題について解説する。テキストのほかに、中国経済の動きに関する新聞報道なども紹介し、NHKなどが制作したドキュメンタリーを放映するなどして、授業がわかりやすいように心掛ける。

授業の進捗を見ながら、受講生と相談の上、講義内容などの微調整を行うことがある。

【学習目標】

週刊誌レベルの中国経済論を超え、日本との相互依存関係を持つ現代中国の経済をより体系的客観的に理解する。

【講義計画】

- 第1回 授業の進め方、講義内容の概要などについて説明する。
- 第2回 なぜ、今は中国経済なのか：日本との相互依存関係
- 第3回 中国経済のいま：経済大国としての姿
- 第4回 近現代中国の歩み①：清王朝から中華民国へ
- 第5回 NHKドキュメンタリー：毛沢東とその時代・前編
- 第6回 近現代中国の歩み②：毛沢東時代の中国(1949-70年代末)
- 第7回 NHKドキュメンタリー：毛沢東とその時代・後編
- 第8回 近現代中国の歩み③：改革開放時代の中国(1980年代～)
- 第9回 改革開放時代の経済成長：プロセスとパフォーマンスの鳥瞰
- 第10回 NHKドキュメンタリー：改革開放の30年
- 第11回 計画から市場への経済改革①：農業改革
- 第12回 計画から市場への経済改革②：国有企業改革
- 第13回 対外開放の軌跡①：外資利用
- 第14回 対外開放の軌跡②：貿易拡大
- 第15回 日中貿易にみる相互依存関係の深化
- 第16回 NHKドキュメンタリー(建国60周年祝賀行事など)
- 第17回 高度成長のメカニズム①：経済発展論の視点から
- 第18回 高度成長のメカニズム②：人口ボーナスの考えから
- 第19回 中国の農業・農村・農民問題
- 第20回 人口移動と農民工問題
- 第21回 NHKドキュメンタリー(出稼ぎ労働者)
- 第22回 所得分配と格差
- 第23回 農村貧困削減への取り組み
- 第24回 NHKドキュメンタリー(豊かさへの模索)
- 第25回 環境問題をどう克服するか
- 第26回 だれが中国を養うか
- 第27回 少子高齢化は成長を阻むか
- 第28回 一党独裁の政治体制は成長の中で溶解するか
- 第29回 総括・復習
- 第30回 期末テスト

【成績評価の方法】

試験 40% レポート 20% 出席 40%
出席カードで出席確認を行う。2回の小レポートがある。

【教科書】

南亮進・牧野文夫編『中国経済入門—世界の工場から世界の市場へ—』日本評論社
テキストをベースに授業を進めるが、プリントも配布する。テストの範囲はプリントを含む。

【参考文献】

加藤弘之・久保亨『進化する中国の資本主義』岩波書店、2009年。
敵善平『シリーズ現代中国経済5 農民国家の課題』名古屋大学出版会、2002年。
敵善平『農村から都市へ—1億3000万人の農民大移動』岩波書店、2009年。
丸川知雄『中国なしで生活できるか—貿易から読み解く日中関係の真実』PHP研究所、2009年。
関志雄・朱建榮ほか編『中国経済 成長の壁』勁草書房、2009年。

科目名	クラス	講義区分
中国語 I a 01<春>		
汪 暁 京	1単位	

【講義概要】

使うテキストはCD付きで、ビデオも対応している。そして、テキストの本文からビデオまで習う言葉と文型がいろんな形でリピートされている。発音段階が終わったら本文の勉強に入る。第1課から第16課までの本文は全て会話文からなる。また、中国語の勉強と共に、中国の文化、社会、風俗、習慣などについて紹介する。

【学習目標】

「発音よければ、半ばよし」——この言い方は同じ漢字を使う日本人にとってなおさらの真実だ。初めての中国語、何と言っても発音のマスターが一番重要だ。目標はまずピンイン(ローマ字による発音表記)の習得、それを頼りに、繰り返し声を出して練習し、正確、きれいな発音を覚える。その次、最も基本的な文法を中心に、易しい日常会話と平易な中国語の文章を習得。

【講義計画】

- 第1回 導入：
中国語について
中国語の勉強について
この授業について
- 第2回 ピンイン
- 第3回 ピンイン
- 第4回 ピンイン
- 第5回 ピンイン
- 第6回 ピンイン
- 第7回 第1課
- 第8回 第2課
- 第9回 第3課
- 第10回 第4課
- 第11回 第4課
- 第12回 第5課
- 第13回 第6課
- 第14回 第7課

【成績評価の方法】

出席状況、勉強の態度、平素の小テストの評点と期末の試験の評点で総合的に評価します。【平常点40%(出席、小テスト) 期末の試験60%】。出席回数が三分の二を満たさない者には、定期試験の成績如何にかかわらず単位は与えられない。

【教科書】

相原 茂 + 陳 淑梅 + 飯田 敦子「一年生のころ」(ビデオで学ぶ中国語 改訂版 CD付) 朝日出版社

【参考文献】

中日辞書

【備考】

出席は勿論、必ず声を出して練習すること。
・02~07生は読替一覧参照

科目名 クラス 講義区分		
中国語 I a 02<春>		
左	虹	1 単位

【講義概要】

中国語 1 は、中国語を初めて勉強する学生に対して、表現力を中心とした授業を実施する。中国語 1 では、音声、特に会話力に重点を置く。正しい発音の基礎、聴く力の向上に努める。もちろん、構造を理解して、会話を正しく読解する力を身につけることも心がける。毎回の授業は、発音を練習しながら、自己紹介、家族、趣味、年齢、日付などを主にした簡単な会話文を中心に進める。また指定した教科書の他、ビデオ、カセット、DVDなどを通じて、中国の文化、思想、中国人のものの見方、考え方、風俗、習慣なども紹介する。

【学習目標】

- ・中国語の発音と文法を覚え、基本的な日常会話ができるようになる。
- ・さまざまな側面から中国の衣・食・住などの様子を紹介し、現代中国を理解する。

【講義計画】

- 第1回 オリエンテーション 中国語の紹介、発音一声調、単母音、子音、複母音など
- 第2回 発音一変調、ピンインの綴り方・発音一あいさつ言葉、発音の総合復習
- 第3回 発音編小テスト 第一課 お名前は（人称代名詞・名前の尋ね方・判断文）
- 第4回 第一課 お名前は（省略疑問文、指示代名詞1・疑問詞疑問文）（発音練習）練習
- 第5回 第二課 これは何ですか（指示代名詞1・疑問詞疑問文、副詞「也」と「的」）
- 第6回 第二課 これは何ですか（発音練習）練習
- 第7回 第三課 中国語は難しいですか（形容詞の文・反復疑問文文型「太～了」「不太～」）
- 第8回 第三課 中国語は難しいですか（指示代名詞2）発音練習・練習
- 第9回 第四課 ご家族は何人ですか（助数詞・指示代名詞3「有」の使い方）
- 第10回 第四課 ご家族は何人ですか（家族構成）発音練習・練習
- 第11回 第五課 一緒に行きましょう（動詞述語文・選択疑問文）
- 第12回 第五課 一緒に行きましょう（過去の経験など）発音練習・練習
- 第13回 第六課 明日は何曜日ですか（月日と曜日の言い方・年齢の尋ね方・答え方）
- 第14回 第六課 明日は何曜日ですか 発音練習・練習 総合復習
- 第15回 期末テスト

【成績評価の方法】

試験 50% レポート 30% 出席 20%
 定期試験（筆記）の成績と平常成績で総合評価する。
 平常成績：出席状況、授業への参加態度、随時行われる小テストの成績など。

【教科書】

郭海燕/周一川『楽しくはじめる中国語』発音・文法・会話』松柏社

【参考文献】

中検準4級・4級レベルの語彙と文法に絞った教材を参考する

【備考】

・02～07生は読替一覧参照

科目名 クラス 講義区分		
中国語 I a 03<春>		
林	宏作	1 単位

【講義概要】

中国語の発音や語法の基礎訓練、特に漢語ローマ字や拼音・四声の習熟、さらに基本文型の理解から、日常会話を習得し、教科書を用いながら講読する。

【学習目標】

漢語、ローマ字をはじめ、拼音・四音などを習得し、日常会話ができることを目標とする。

【講義計画】

- 第1回 ガイダンス ・授業計画について
- 第2回 中国語について
- 第3回 漢語ローマ字と拼音
- 第4回 漢語ローマ字と拼音
- 第5回 漢語ローマ字と拼音
- 第6回 教科書第1課～第9課までの講読と発音練習。2コマークのペースで行う。
- 第7回 教科書第1課～第9課までの講読と発音練習。2コマークのペースで行う。
- 第8回 教科書第1課～第9課までの講読と発音練習。2コマークのペースで行う。
- 第9回 教科書第1課～第9課までの講読と発音練習。2コマークのペースで行う。
- 第10回 教科書第1課～第9課までの講読と発音練習。2コマークのペースで行う。
- 第11回 教科書第1課～第9課までの講読と発音練習。2コマークのペースで行う。
- 第12回 教科書第1課～第9課までの講読と発音練習。2コマークのペースで行う。
- 第13回 教科書第1課～第9課までの講読と発音練習。2コマークのペースで行う。
- 第14回 教科書第1課～第9課までの講読と発音練習。2コマークのペースで行う。
- 第15回 教科書第1課～第9課までの講読と発音練習。2コマークのペースで行う。

【成績評価の方法】

定期試験、平常点、出席などによる総合評価。

【教科書】

康玉華・王徳珮著 興水優監修『基礎中国語会話』改訂版 東方書店

【備考】

第1回で授業計画の詳細な説明を行う。

【準備学習の指示】

マイコンピュータのレッスンに収められている録音を聞きながら予習・復習して下さい。

・02～07生は読替一覧参照

科目名 クラス 講義区分	
中国語 I b 01<春>	
徐 国 玉	1 単位

【講義概要】

使うテキスト はCD付きで、ビデオも対応している。そして、テキストの本文からビデオまで習う言葉と文型がいろんな形でリピートされている。発音段階が終わったら本文の勉強に入る。第1課から第16課までの本文は全て会話文からなる。

また、中国語の勉強と共に、中国の文化、社会、風俗、習慣などについて紹介する。

【学習目標】

「発音よければ、半ばよし」——この言い方は同じ漢字を使う日本人にとってなおさらの真実だ。初めての中国語、何と言っても発音のマスターが一番重要だ。目標はまずピンイン（ローマ字による発音表記）の習得、それを頼りに、繰り返し声を出して練習し、正確、きれいな発音を覚える。その次、最も基本的な文法を中心に、易しい日常会話と平易な中国語の文章を習得。

【講義計画】

- 第1回 発音編
- 第2回 発音編
- 第3回 発音編
- 第4回 発音編
- 第5回 第1課
- 第6回 第2課
- 第7回 第3課
- 第8回 第4課
- 第9回 第5課
- 第10回 第6課
- 第11回 第6課
- 第12回 第7課
- 第13回 第7課
- 第14回 総復習
- 第15回 試験

【成績評価の方法】

定期試験、平常点、出席などによる総合評価。

【教科書】

相原 茂 一年生のころ 朝日出版社

【備考】

・02～07生は読替一覧参照

科目名 クラス 講義区分	
中国語 I b 02<春>	
徐 国 玉	1 単位

【講義概要】

中国語1は、中国語を初めて勉強する学生に対して、表現力を中心とした授業を実施する。中国語1では、音声、特に会話力に重点を置く。正しい発音の基礎、聴く力の向上に努める。もちろん、構造を理解して、会話文を正しく読解する力を身につけることも心がける。毎回の授業は、発音を練習しながら、自己紹介、家族、趣味、年齢、日付などを主にした簡単な会話文を中心に進める。また指定した教科書の他、ビデオ、カセット、DVDなどを通じて、中国の文化、思想、中国人のものの見方、考え方、風俗、習慣なども紹介する。

【学習目標】

- ・中国語の発音と文法を覚え、基本的な日常会話が出来るようになる。
- ・さまざまな側面から中国の衣・食・住などの様子を紹介し、現代中国を理解する。

【講義計画】

- 第1回 オリエンテーション 中国語の紹介、発音—声調、単母音、子音、複母音など
- 第2回 発音—変調、ピンインの綴り方・発音—あいさつ言葉、発音の総合復習
- 第3回 発音編小テスト 第一課 お名前は（人称代名詞・名前の尋ね方・判断文
- 第4回 第一課 お名前は（省略疑問文、指示代名詞1・疑問詞疑問文）（発音練習）練習
- 第5回 第二課 これは何ですか（指示代名詞1・疑問詞疑問文、副詞「也」と「的」）
- 第6回 第二課 これは何ですか（発音練習）練習
- 第7回 中国語は難しいですか（形容詞の文・反復疑問文文型「太～了」「不太～」）
- 第8回 第三課 中国語は難しいですか（指示代名詞2）発音練習・練習
- 第9回 第四課 ご家族は何人ですか（助数詞・指示代名詞3「有」の使い方）
- 第10回 第四課 ご家族は何人ですか（家族構成）発音練習・練習
- 第11回 第五課 一緒に行きましょう（動詞述語文・選択疑問文）
- 第12回 第五課 一緒に行きましょう（過去の経験など）発音練習・練習
- 第13回 第六課 明日は何曜日ですか（月日と曜日の言い方・年齢の尋ね方・答え方）
- 第14回 第六課 明日は何曜日ですか 発音練習・練習 総合復習
- 第15回 期末テスト

【成績評価の方法】

出席状況、勉強の態度、平素の小テストの評点と期末の試験の評点とで総合的に評価します。三分の二以上出席しなかった者には、定期試験の成績にかかわらず、単位は与えられない。

【教科書】

郭海燕/周一川『『楽しくはじめる中国語』発音・文法・会話』松柏社 2008年 第1版

【備考】

・02～07生は読替一覧参照

た
行

科目名 クラス 講義区分	
中国語Ⅰ b 03<春>	
林 宏 作	1単位

【講義概要】

中国語の発音や語法の基礎訓練、特に漢語ローマ字や拼音・四声の習熟、さらに基本文型の理解から、日常会話を習得し、教科書を用いながら講読する。

【学習目標】

漢語、ローマ字をはじめ、拼音・四音などを習得し、日常会話ができることを目標とする。

【講義計画】

- 第1回 ガイダンス ・授業計画について
漢語ローマ字と拼音
- 第2回 漢語ローマ字と拼音
- 第3回 漢語ローマ字と拼音
- 第4回 教科書第1課～第9課までの講読と発音練習。2コマのペースで行う。
- 第5回 教科書第1課～第9課までの講読と発音練習。2コマのペースで行う。
- 第6回 教科書第1課～第9課までの講読と発音練習。2コマのペースで行う。
- 第7回 教科書第1課～第9課までの講読と発音練習。2コマのペースで行う。
- 第8回 教科書第1課～第9課までの講読と発音練習。2コマのペースで行う。
- 第9回 教科書第1課～第9課までの講読と発音練習。2コマのペースで行う。
- 第10回 教科書第1課～第9課までの講読と発音練習。2コマのペースで行う。
- 第11回 教科書第1課～第9課までの講読と発音練習。2コマのペースで行う。
- 第12回 教科書第1課～第9課までの講読と発音練習。2コマのペースで行う。
- 第13回 教科書第1課～第9課までの講読と発音練習。2コマのペースで行う。
- 第14回 教科書第1課～第9課までの講読と発音練習。2コマのペースで行う。
- 第15回 期末試験

【成績評価の方法】

定期試験、平常点、出席などによる総合評価。

【教科書】

康玉華・王徳珮著『基礎中国語会話』改訂版 東方書店

【備考】

第1回で授業計画の詳細な説明を行う。

【準備学習の指示】

マイコンピュータのレッスンに収められている録音を聞きながら予習・復習して下さい。

- ・02～07生は読替一覧参照

科目名 クラス 講義区分	
中国語Ⅱ a 01<秋>	
汪 暁 京	1単位

【講義概要】

使うテキストはCD付きで、ビデオも対応している。そして、テキストの本文からビデオまで習う言葉と文型がいろんな形でリピートされている。発音段階が終わったら本文の勉強に入る。第1課から第16課までの本文は全て会話文です。また、中国語の勉強と共に、中国の文化、社会、風俗、習慣などについて紹介する。

【学習目標】

「発音よければ、半ばよし」——この言い方は同じ漢字を使う日本人にとってなおさらの真実だ。初めての中国語、何と言っても発音のマスターが一番重要だ。目標はまずピンイン（ローマ字による発音表記）を頼りに、繰り返し声を出して練習し、正確、きれいな発音を覚える。その次、最も基本的な文法を中心に、易しい日常会話と平易な中国語の文章を習得。

【講義計画】

- 第1回 春学期の復習
第8課
- 第2回 第8課
- 第3回 第9課
- 第4回 第10課
- 第5回 第10課
- 第6回 第11課
- 第7回 第12課
- 第8回 第12課
- 第9回 第13課
- 第10回 第14課
- 第11回 第14課
- 第12回 第15課
- 第13回 第16課
- 第14回 第16課

【成績評価の方法】

出席状況、勉強の態度、平素の小テストの評点と期末の試験の評点で総合的に評価します。【平常点40%(出席、小テスト) 期末の試験60%】。出席回数が三分の二を満たさない者には、定期試験の成績如何にかかわらず単位は与えられない。

【教科書】

相原 茂 + 陳 淑梅 + 飯田 敦子「一年生のころ」(ビデオで学ぶ中国語 改訂版 CD付) 朝日出版社

【参考文献】

中日辞書

【備考】

出席は勿論、必ず声を出して練習すること。

- ・02～07生は読替一覧参照

科目名 クラス 講義区分	
中国語Ⅱ a 02<秋>	
左 虹	1単位

【講義概要】

中国語を半年勉強した学生に対して、発音基礎を固めながら、表現力のさらなる向上を目指す。表現パターン、語彙量を増やしなが
ら、陳述、依頼などの表現を含む簡単な会話を理解し、コミュニ
ケーション力をつけていくように授業を進める。また中国の歴史、
文化、社会などに関する内容も積極的に取り入れ、中国語を学習し
ながら、時事中国についての知識も身につけていきたい。

【学習目標】

中国語Ⅰで習った語彙と文法を使って、日常会話を話したり、簡単
な作文を書いたりすることができる。

【講義計画】

- 第1回 前学期の総合復習
- 第2回 第七課（前置詞「在」の使い方/前置詞の使い方/動詞の重
ね型など）
- 第3回 第七課 発音練習・練習 総合復習 第八課
- 第4回 第八課（動作の進行形/時刻表現/連動文の中の「去」と
「来」など）
- 第5回 第八課 発音練習・練習 総合復習 第九課
- 第6回 第九課（「是～的」の使い方/連動文②/時間の長さ/助詞
「了」の使い方）
- 第7回 第九課 発音練習・練習 総合復習 第十課
- 第8回 中間テスト 第十課（助動詞の使い方①/「有点儿」と「一
点儿」の違いなど）
- 第9回 第十課 発音練習・練習 総合復習 第十一課
- 第10回 第十一課（比較表現/お金の単位など）発音練習・練習
総合復習
- 第11回 第十二課（助詞「得」の使い方/助動詞の使い方②/二重目
的語など）
- 第12回 第十二課発音練習・練習 総合復習 第十三課
- 第13回 第十三課：「越来越」の使い方/未来形「快～了」の用法
/数など
- 第14回 第十三課 発音練習・練習 総合復習
- 第15回 期末テスト

【成績評価の方法】

試験 60% レポート 20% 出席 20%
定期試験（筆記）の成績と平常成績で総合評価する。
平常成績：出席状況、授業への参加態度、随時行われる小テストの
成績など。

【教科書】

郭海燕/周一川『楽しくはじめる中国語』発音・文法・会話』松柏
社

【参考文献】

中検準4級・4級レベルの語彙と文法に絞った教材を参考する

【備考】

・02～07生は読替一覧参照

科目名 クラス 講義区分	
中国語Ⅱ a 03<秋>	
林 宏 作	1単位

【講義概要】

中国語の発音や語法の基礎訓練、特に漢語ローマ字や拼音・四声の
習熟、さらに基本文型の理解から、日常会話を習得し、教科書を用
いながら講読する。

【学習目標】

漢語、ローマ字をはじめ、拼音・四音などを習得し、日常会話がで
きることを目標とする。

【講義計画】

- 第1回 1. はじめに ガイダンス ・授業計画について
- 第2回 漢語ローマ字と拼音の復習
- 第3回 漢語ローマ字と拼音の復習
- 第4回 教科書第10課～第21課までの講読と発音練習。2コマ一課
のペースで行う。
- 第5回 教科書第10課～第21課までの講読と発音練習。2コマ一課
のペースで行う。
- 第6回 教科書第10課～第21課までの講読と発音練習。2コマ一課
のペースで行う。
- 第7回 教科書第10課～第21課までの講読と発音練習。2コマ一課
のペースで行う。
- 第8回 教科書第10課～第21課までの講読と発音練習。2コマ一課
のペースで行う。
- 第9回 教科書第10課～第21課までの講読と発音練習。2コマ一課
のペースで行う。
- 第10回 教科書第10課～第21課までの講読と発音練習。2コマ一課
のペースで行う。
- 第11回 教科書第10課～第21課までの講読と発音練習。2コマ一課
のペースで行う。
- 第12回 教科書第10課～第21課までの講読と発音練習。2コマ一課
のペースで行う。
- 第13回 教科書第10課～第21課までの講読と発音練習。2コマ一課
のペースで行う。
- 第14回 教科書第10課～第21課までの講読と発音練習。2コマ一課
のペースで行う。
- 第15回 教科書第10課～第21課までの講読と発音練習。2コマ一課
のペースで行う。

【成績評価の方法】

定期試験、平常点、出席などによる総合評価。

【教科書】

康玉華・王徳珮著 輿水優監修『基礎中国語会話』改訂版 東方書
店

【備考】

第1回で授業計画の詳細な説明を行う。

【準備学習の指示】

マイコンピュータのレッスンの録音を聞きながら予
習・復習して下さい。

・02～07生は読替一覧参照

た
行

科目名 クラス 講義区分	
中国語Ⅱ b 01<秋>	
徐 国 玉	1 単位

【講義概要】

使うテキストはCD付きで、ビデオも対応している。そして、テキストの本文からビデオまで習う言葉と文型がいろんな形でリピートされている。発音段階が終わったら本文の勉強に入る。第1課から第16課までの本文は全て会話文からなる。

また、中国語の勉強と共に、中国の文化、社会、風俗、習慣などについて紹介する。

【学習目標】

「発音よければ、半ばよし」——この言い方は同じ漢字を使う日本人にとってなおさらの真実だ。初めての中国語、何と言っても発音のマスターが一番重要だ。目標はまずピンイン（ローマ字による発音表記）の習得、それを頼りに、繰り返し声を出して練習し、正確、きれいな発音を覚える。その次、最も基本的な文法を中心に、易しい日常会話と平易な中国語の文章を習得。

【講義計画】

- 第1回 第8課
- 第2回 第8課～第9課
- 第3回 第9課
- 第4回 第10課
- 第5回 第10課～第11課
- 第6回 第11課
- 第7回 第12課
- 第8回 第12課～第13課
- 第9回 第13課
- 第10回 第14課
- 第11回 第14課～第15課
- 第12回 第15課
- 第13回 第16課
- 第14回 第16課～総復習
- 第15回 試験

【成績評価の方法】

出席状況、勉強の態度、平素の小テストの評点と期末の試験の評点で総合的に評価します。三分の二以上出席しなかった者には、定期試験の成績にかかわらず、単位は与えられない。

【教科書】

相原 茂 一年生のころ 朝日出版社

【備考】

・02～07生は読替一覧参照

科目名 クラス 講義区分	
中国語Ⅱ b 02<秋>	
徐 国 玉	1 単位

【講義概要】

中国語1は、中国語を初めて勉強する学生に対して、表現力を中心とした授業を実施する。中国語1では、音声、特に会話力に重点を置く。正しい発音の基礎、聴く力の向上に努める。もちろん、構造を理解して、会話文を正しく読解する力を身につけることも心がける。毎回の授業は、発音を練習しながら、自己紹介、家族、趣味、年齢、日付などを主にした簡単な会話文を中心に進める。また指定した教科書の他、ビデオ、カセット、DVDなどを通じて、中国の文化、思想、中国人のものの見方、考え方、風俗、習慣なども紹介する。

【学習目標】

- ・中国語の発音と文法を覚え、基本的な日常会話ができるようにする。
- ・さまざまな側面から中国の衣・食・住などの様子を紹介し、現代中国を理解する。

【講義計画】

- 第1回 第1回
前学期の総合復習
- 第2回 第七課（前置詞「在」の使い方/前置詞の使い方/動詞の重ね型など）
- 第3回 第七課 発音練習・練習 総合復習 第八課
- 第4回 第八課（動作の進行形/時刻表現/連動文の中の「去」と「来」など）
- 第5回 第八課 発音練習・練習 総合復習 第九課
- 第6回 第九課（「是～的」の使い方/連動文②/時間の長さ/助詞「了」の使い方）
- 第7回 第九課 発音練習・練習 総合復習 第十課
- 第8回 中間テスト 第十課（助動詞の使い方①/「有点儿」と「一点儿」の違いなど）
- 第9回 第十課 発音練習・練習 総合復習 第十一課
- 第10回 第十一課（比較表現/お金の単位など）発音練習・練習 総合復習
- 第11回 第十二課（助詞「得」の使い方/助動詞の使い方②/二重目的語など）
- 第12回 第十三課：「越来越」の使い方/未来形「快～了」の用法/数など
第十二課発音練習・練習 総合復習 第十三課
- 第13回 第十三課 発音練習・練習 総合復習
- 第14回 第十三課 発音練習・練習 総合復習
- 第15回 期末テスト

【成績評価の方法】

出席状況、勉強の態度、平素の小テストの評点と期末の試験の評点で総合的に評価します。三分の二以上出席しなかった者には、定期試験の成績にかかわらず、単位は与えられない。

【備考】

前期と同じテキスト使用

・02～07生は読替一覧参照

科目名 クラス 講義区分	
中国語Ⅱ b 03<秋>	
林 宏 作	1 単位

【講義概要】

中国語の発音や語法の基礎訓練、特に漢語ローマ字や拼音・四声の習熟、さらに基本文型の理解から、日常会話を習得し、教科書を用いながら講読する。

【学習目標】

漢語、ローマ字をはじめ、拼音・四音などを習得し、日常会話ができることを目標とする。

【講義計画】

- 第1回 1. はじめに ガイダンス ・授業計画について
教科書第10課～第21課までの講読と発音練習。2コマー課のペースで行う。
- 第2回 教科書第10課～第21課までの講読と発音練習。2コマー課のペースで行う。
- 第3回 教科書第10課～第21課までの講読と発音練習。2コマー課のペースで行う。
- 第4回 教科書第10課～第21課までの講読と発音練習。2コマー課のペースで行う。
- 第5回 教科書第10課～第21課までの講読と発音練習。2コマー課のペースで行う。
- 第6回 教科書第10課～第21課までの講読と発音練習。2コマー課のペースで行う。
- 第7回 教科書第10課～第21課までの講読と発音練習。2コマー課のペースで行う。
- 第8回 教科書第10課～第21課までの講読と発音練習。2コマー課のペースで行う。
- 第9回 教科書第10課～第21課までの講読と発音練習。2コマー課のペースで行う。
- 第10回 教科書第10課～第21課までの講読と発音練習。2コマー課のペースで行う。
- 第11回 教科書第10課～第21課までの講読と発音練習。2コマー課のペースで行う。
- 第12回 教科書第10課～第21課までの講読と発音練習。2コマー課のペースで行う。
- 第13回 総復習
第14回 総復習
第15回 期末試験

【成績評価の方法】

定期試験、平常点、出席などによる総合評価。

【教科書】

康玉華・王徳珮著 輿水優監修『基礎中国語会話』改訂版 東方書店

【備考】

第1回で授業計画の詳細な説明を行う。

【準備学習の指示】

マイコンピュータのレッスンの録音を聞きながら学習・復習して下さい。

・02～07生は読替一覧参照

科目名 クラス 講義区分	
中国語Ⅲ a 01<春>	
汪 暁 京	1 単位

【講義概要】

使用するテキストは全部で15課、各課は語句の注釈、文法の解説、練習などの部分から構成している。会話文に文章体の課文も加え、読解力の向上にも配慮している。豊富なドリルを通して実力を養う。

【学習目標】

この授業では中国語の聞く力、話す力、理解力を一層高めることを目標とする。1年次で学んだピンイン、語彙、文法事項を復習しながら、より上の段階の語彙、文法を系統的に学習する。徐々にやや難しい会話ができるように進めていく。

【講義計画】

- 第1回 導入
第1課
- 第2回 第1課
- 第3回 第2課
- 第4回 第2課
- 第5回 第3課
- 第6回 第3課
- 第7回 第4課
- 第8回 第4課
- 第9回 第5課
- 第10回 第5課
- 第11回 第6課
- 第12回 第6課
- 第13回 第7課
- 第14回 第7課

【成績評価の方法】

出席状況、勉強の態度、平素の小テストの評点と期末の試験の評点で総合的に評価します。【平常点40%(出席、小テスト) 期末の試験60%】。出席回数が三分の二を満たさない者には、定期試験の成績如何にかかわらず単位は与えられない。

【教科書】

徐国玉 山田忠司 中国語実力アップ教本 白帝社

【参考文献】

中日辞書

【備考】

・02～07生は読替一覧参照

た
行

科目名 クラス 講義区分		
中国語Ⅲ a 02<春>		
左	虹	1単位

【講義概要】

中国社会に密接に関連した話題の文章を読みつつ、初級段階に続く文法事項を学ぶ。同時にリスニング等の訓練も行う。既習の文法事項を確認しながら、単文レベルの作文練習を徹底的に行い、中国語の文の組み立てに関する知識を確かなものにするを目的とする。

【学習目標】

中国の社会・生活・文化に関連した文章を読みつつ、初級段階に続くさまざまな表現を学ぶ。

【講義計画】

- 第1回 オリエンテーション 第1課 (中国人の食生活/前置詞, 助動詞など)
- 第2回 第1課 (中国人の食生活/前置詞, 助動詞など)
- 第3回 第1課 (中国人の食生活/前置詞, 助動詞など) 発音練習・確認練習
- 第4回 第2課 (家族間のあいさつ/結果補語, 接続詞など)
- 第5回 第2課 (家族間のあいさつ/結果補語, 接続詞など)
- 第6回 第2課 (家族間のあいさつ/結果補語, 接続詞など) 発音練習・確認練習
- 第7回 総合復習・中間確認試験
- 第8回 第3課 (中国人同士のつきあい/回数の表現など)
- 第9回 第3課 (中国人同士のつきあい/回数の表現など)
- 第10回 第3課 (中国人同士のつきあい/回数の表現など) 発音練習・確認練習
- 第11回 第4課 (交際上のマナー/受身, 禁止, 比較など)
- 第12回 第4課 (交際上のマナー/受身, 禁止, 比較など)
- 第13回 第4課 (交際上のマナー/受身, 禁止, 比較など)
- 第14回 第4課 (交際上のマナー/受身, 禁止, 比較など) 発音練習・確認練習
- 第15回 総合復習・学期末確認試験

【成績評価の方法】

試験 50% レポート 30% 出席 20%
 定期試験(筆記)の成績と平常成績で総合評価する。
 平常成績:出席状況、授業への参加態度、随時行われる小テストの成績など。

【教科書】

池上貞子・張国路 中国ってこんな国! 朝日出版社

【参考文献】

中検3級レベルの語彙と文法に絞った教材を参考する

【備考】

・02~07生は読替一覧参照

科目名 クラス 講義区分		
中国語Ⅲ a 03<春>		
林	宏作	1単位

【講義概要】

中国語Ⅰ・中国語Ⅱで修得した発音と語法をふまえて、語彙を増やし、読解力のスピードアップを目指す。受講生は必ず予習・復習を励行し、出席を怠らないこと。また毎課の後に附している練習問題は宿題として必ず提出すること。出席状況及び宿題の提出をもって平常点とする。

【学習目標】

一年次で学んだ拼音や基本文法を復習しながら、語彙を増やし、読解力のスピードアップを目指す。

【講義計画】

- 第1回 1. はじめに ガイダンス ・授業計画について
- 第2回 復習編(一)の講読
- 第3回 復習編(一)の発音練習
- 第4回 復習編(一)の練習問題
- 第5回 復習編(二)の講読
- 第6回 復習編(二)の発音練習
- 第7回 復習編(二)の練習問題
- 第8回 復習編(三)の講読
- 第9回 復習編(三)の発音練習
- 第10回 復習編(三)の練習問題
- 第11回 復習編(四)の講読
- 第12回 復習編(四)の発音練習
- 第13回 復習編(四)の練習問題
- 第14回 復習編(五)の講読
- 第15回 復習編(五)の発音練習

【成績評価の方法】

定期試験、平常点、出席などによる総合評価。

【教科書】

丁秀山、坂井田ひとみ 編著『日常的対話』金星堂

【参考文献】

香坂順一 編『簡約 現代中国語辞典』光生館

【備考】

第1回で授業計画の詳細な説明を行う。

【準備学習の指示】

マイコンピュータのレッスンに収められている録音を聞きながら予習・復習して下さい。

・02~07生は読替一覧参照

科目名 クラス 講義区分	
中国語Ⅲ b 01<春>	
徐 国 玉	1 単位

【講義概要】

全部で15課、どの課も語句の注釈、文法の解説、練習などの部分から構成している。会話文に文章体の課文も加え、読解の向上にも配慮。豊富なドリルを通して実力を養う。

【学習目標】

この授業では中国語の聞く力、話す力、理解力を一層高めることを目標とする。1年次で学んだピンイン、語彙、文法事項を復習しながら、より上の段階の語彙、文法を系統的に学習する。徐々にちょっと難しい会話ができるように進めていく。

【講義計画】

- 第1回 第1課
- 第2回 第1課
- 第3回 第2課
- 第4回 第2課
- 第5回 第3課
- 第6回 第3課
- 第7回 第4課
- 第8回 第4課
- 第9回 第5課
- 第10回 第5課
- 第11回 第6課
- 第12回 第6課
- 第13回 第7課
- 第14回 第7課
- 第15回 試験

【成績評価の方法】

出席状況、勉強の態度、平素の小テストの評点と期末の試験の評点で総合的に評価します。三分の二以上出席しなかった者には、定期試験の成績にかかわらず、単位は与えられない。

【教科書】

徐国玉 山田忠司 実力アップ中国語教本 白帝社

【備考】

・02～07生は読替一覧参照

科目名 クラス 講義区分	
中国語Ⅲ b 02<春>	
徐 国 玉	1 単位

【講義概要】

全部で15課、どの課も会話文、語句注釈、文法解説、類義語分析、練習問題などの部分から構成している。日本人と中国人の2人の主人公による日本国内の旅行会話をテーマとし、日中両国の文化、風俗習慣及び名勝、史跡に触れている。

【学習目標】

この授業では中国語の聞く力、話す力、理解力を一層高めることを目標とする。1年次で学んだピンイン、語彙、文法事項を復習しながら、より上の段階の語彙、文法を系統的に学習する。徐々にちょっと難しい会話ができるように進めていく。

【講義計画】

- 第1回 復習
- 第2回 第1課
- 第3回 第1課
- 第4回 第2課
- 第5回 第2課
- 第6回 第3課
- 第7回 第3課
- 第8回 第4課
- 第9回 第4課
- 第10回 第5課
- 第11回 第5課
- 第12回 第6課
- 第13回 第6課
- 第14回 復習
- 第15回 試験

【成績評価の方法】

出席状況、勉強の態度、平素の小テストの評点と期末の試験の評点で総合的に評価します。三分の二以上出席しなかった者には、定期試験の成績にかかわらず、単位は与えられない。

【教科書】

徐国玉 話せる中国語は、「書き取り」でこそ身につく 国際語学社

【備考】

・02～07生は読替一覧参照

た
行

科目名 クラス 講義区分	
中国語Ⅲ b 03<春>	
林 宏 作	1 単位

【講義概要】

中国語Ⅰ・中国語Ⅱで修得した発音と語法をふまえて、語彙を増やし、読解力のスピードアップを目指す。受講生は必ず予習・復習を励行し、出席を怠らないこと。また毎課の後に附している練習問題は宿題として必ず提出すること。出席状況及び宿題の提出をもって平常点とする。

【学習目標】

一年次で学んだ拼音や基本文法を復習しながら、語彙を増やし、読解力のスピードアップを目指す。

【講義計画】

- 第1回 はじめに ガイダンス ・授業計画について
復習編（五）の練習問題
- 第2回 中間試験
- 第3回 応用編第一課の講読
- 第4回 応用編第一課の発音練習
- 第5回 応用編第一課の総合練習
- 第6回 応用編第二課の講読
- 第7回 応用編第二課の発音練習
- 第8回 応用編第二課の総合練習
- 第9回 応用編第三課の講読
- 第10回 応用編第三課の発音練習
- 第11回 応用編第三課の総合練習
- 第12回 応用編第四課の講読
- 第13回 応用編第四課の発音練習
- 第14回 応用編第四課の総合練習
- 第15回 期末試験

【成績評価の方法】

定期試験、平常点、出席などによる総合評価。

【教科書】

丁秀山、坂井田ひとみ 編著『日常的対話』金星堂

【参考文献】

香坂順一 編『簡約 現代中国語辞典』光生館

【備考】

第1回で授業計画の詳細な説明を行う。

【準備学習の指示】

マイコンピュータのレッスンの録音を聞きながら予習・復習して下さい。

・02～07生は読替一覧参照

科目名 クラス 講義区分	
中国語Ⅳ a 01<秋>	
汪 暁 京	1 単位

【講義概要】

使用するテキストは全部で15課、各課は語句の注釈、文法の解説、練習などの部分から構成している。会話文に文章体の課文も加え、読解力の向上にも配慮している。豊富なドリルを通して実力を養う。

【学習目標】

この授業では中国語の聞く力、話す力、理解力を一層高めることを目標とする。1年次で学んだピンイン、語彙、文法事項を復習しながら、より上の段階の語彙、文法を系統的に学習する。徐々にやや難しい会話ができるように進めていく。

【講義計画】

- 第1回 第8課
- 第2回 第8課
- 第3回 第9課
- 第4回 第9課
- 第5回 第10課
- 第6回 第10課
- 第7回 第11課
- 第8回 第11課
- 第9回 第12課
- 第10回 第12課
- 第11回 第13課
- 第12回 第14課
- 第13回 第15課
- 第14回 復習

【成績評価の方法】

出席状況、勉強の態度、平素の小テストの評点と期末の試験の評点で総合的に評価します。【平常点40%（出席、小テスト） 期末の試験60%】。出席回数が三分の二を満たさない者には、定期試験の成績如何にかかわらず単位は与えられない。

【教科書】

徐国玉 山田忠司 中国語実力アップ教本 白帝社

【参考文献】

中日辞書

【備考】

・02～07生は読替一覧参照

科目名	クラス	講義区分
中国語Ⅳ a 02<秋>		
左	虹	1単位

【講義概要】

中国社会に密接に関連した話題の文章を読みつつ、初級段階に続く文法事項を学ぶ。同時にリスニング等の訓練も行う。既習の文法事項を確認しながら、単文レベルの作文練習を徹底的に行い、中国語の文の組み立てに関する知識を確かなものにするを目的とする。

【学習目標】

中国の社会・生活・文化に関連した文章を読みつつ、初級段階に続くさまざまな表現を学ぶ。

【講義計画】

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 第5課（中国人のレジャー、娯楽／過去の習慣、連動文など）
- 第3回 第5課（中国人のレジャー、娯楽／過去の習慣、連動文など）
- 第4回 第5課（中国人のレジャー、娯楽／過去の習慣、連動文など）発音・確認練習
- 第5回 第6課（中国の交通手段／動作の進行、可能補語など）
- 第6回 第6課（中国の交通手段／動作の進行、可能補語など）
- 第7回 第6課（中国の交通手段／動作の進行、可能補語など）発音・確認練習
- 第8回 中間確認テスト
- 第9回 第7課（通過儀礼／使役、変化の文末助詞など）
- 第10回 第7課（通過儀礼／使役、変化の文末助詞など）
- 第11回 第7課（通過儀礼／使役、変化の文末助詞など）発音・確認練習
- 第12回 第8課（慶事の赤、弔辞の白／方向補語など）
- 第13回 第8課（慶事の赤、弔辞の白／方向補語など）
- 第14回 第8課（慶事の赤、弔辞の白／方向補語など）発音・確認練習
- 第15回 学期末テスト

【成績評価の方法】

試験 50% レポート 30% 出席 20%
 定期試験（筆記）の成績と平常成績で総合評価する。
 平常成績：出席状況、授業への参加態度、随時行われる小テストの成績など。

【教科書】

池上貞子・張国路 中国ってこんな国！ 朝日出版社
 中検3級レベルの語彙と文法に絞った教材を参考する

【参考文献】

中検準3級レベルの語彙と文法に絞った教材を参考する

【備考】

・02～07生は読替一覧参照

科目名	クラス	講義区分
中国語Ⅳ a 03<秋>		
林	宏作	1単位

【講義概要】

中国語Ⅰ・中国語Ⅱで修得した発音と語法をふまえて、語彙を増やし、読解力のスピードアップを目指す。受講生は必ず予習・復習を励行し、出席を怠らないこと。また毎課の後に附している練習問題は宿題として必ず提出すること。出席状況及び宿題の提出をもって平常点とする。

【学習目標】

一年次で学んだ拼音や基本文法を復習しながら、語彙を増やし、読解力のスピードアップを目指す。

【講義計画】

- 第1回 1. はじめに ガイダンス ・授業計画について
- 第2回 応用編第五課の講読
- 第3回 応用編第五課の発音練習
- 第4回 応用編第五課の総合練習
- 第5回 応用編第六課の講読
- 第6回 応用編第六課の発音練習
- 第7回 応用編第六課の総合練習
- 第8回 応用編第七課の講読
- 第9回 応用編第七課の発音練習
- 第10回 応用編第七課の総合練習
- 第11回 応用編第八課の講読
- 第12回 応用編第八課の発音練習
- 第13回 応用編第八課の総合練習
- 第14回 応用編第九課の講読
- 第15回 応用編第九課の発音練習

【成績評価の方法】

定期試験、平常点、出席などによる総合評価。

【教科書】

丁秀山、坂井田ひとみ 編著『日常的対話』金星堂

【参考文献】

香坂順一 編『簡約 現代中国語辞典』光生館

【備考】

第1回で授業計画の詳細な説明を行う。

【準備学習の指示】

マイコンピュータのレッスンに収められている録音を聞きながら予習・復習して下さい。

・02～07生は読替一覧参照

た
行

科目名 クラス 講義区分	
中国語Ⅳ b 01<秋>	
徐 国 玉	1 単位

【講義概要】

全部で15課、どの課も語句の注釈、文法の解説、練習などの部分から構成している。会話文に文章体の課文も加え、読解の向上にも配慮。豊富なドリルを通して実力を養う。

【学習目標】

この授業では中国語の聞く力、話す力、理解力を一層高めることを目標とする。1年次で学んだピンイン、語彙、文法事項を復習しながら、より上の段階の語彙、文法を系統的に学習する。徐々にちょっと難しい会話ができるように進めていく。

【講義計画】

第1回 第8課
 第2回 第8課
 第3回 第9課
 第4回 第9課
 第5回 第10課
 第6回 第10課
 第7回 第11課
 第8回 第11課
 第9回 第12課
 第10回 第12課
 第11回 第13課
 第12回 第14課
 第13回 第15課
 第14回 復習
 第15回 試験

【成績評価の方法】

出席状況、勉強の態度、平素の小テストの評点と期末の試験の評点で総合的に評価します。三分の二以上出席しなかった者には、定期試験の成績にかかわらず、単位は与えられない。

【教科書】

前期と同じ教科書使用

【備考】

・02～07生は読替一覧参照

科目名 クラス 講義区分	
中国語Ⅳ b 02<秋>	
徐 国 玉	1 単位

【講義概要】

全部で15課、どの課も会話文、語句注釈、文法解説、類義語分析、練習問題などの部分から構成している。日本人と中国人の2人の主人公による日本国内の旅行会話をテーマとし、日中両国の文化、風俗習慣及び名勝、史跡に触れている。

【学習目標】

この授業では中国語の聞く力、話す力、理解力を一層高めることを目標とする。1年次で学んだピンイン、語彙、文法事項を復習しながら、より上の段階の語彙、文法を系統的に学習する。徐々にちょっと難しい会話ができるように進めていく。

【講義計画】

第1回 復習
 第2回 第7課
 第3回 第7課
 第4回 第8課
 第5回 第8課
 第6回 第9課
 第7回 第9課
 第8回 第10課
 第9回 第10課
 第10回 第11課
 第11回 第11課
 第12回 第12課
 第13回 第12課
 第14回 復習
 第15回 試験

【成績評価の方法】

出席状況、勉強の態度、平素の小テストの評点と期末の試験の評点で総合的に評価します。三分の二以上出席しなかった者には、定期試験の成績にかかわらず、単位は与えられない。

【備考】

前期と同じテキスト使用
 ・02～07生は読替一覧参照

科目名	クラス	講義区分
中国語Ⅳ b 03<秋>		
林 宏 作	1 単位	

【講義概要】

中国語Ⅰ・中国語Ⅱで修得した発音と語法をふまえて、語彙を増やし、読解力のスピードアップを目指す。受講生は必ず予習・復習を励行し、出席を怠らないこと。また毎課の後に附している練習問題は宿題として必ず提出すること。出席状況及び宿題の提出をもって平常点とする。

【学習目標】

一年次で学んだ拼音や基本文法を復習しながら、語彙を増やし、読解力のスピードアップを目指す。

【講義計画】

- 第1回 はじめに ガイダンス ・授業計画について
応用編第九課の総合練習
- 第2回 中間試験
- 第3回 応用編第十課の講読
- 第4回 応用編第十課の発音練習
- 第5回 応用編第十課の総合練習
- 第6回 応用編第十一課の講読
- 第7回 応用編第十一課の発音練習
- 第8回 応用編第十一課の総合練習
- 第9回 応用編第十二課の講読
- 第10回 応用編第十二課の発音練習
- 第11回 応用編第十二課の総合練習
- 第12回 応用編第十三課の講読
- 第13回 応用編第十三課の発音練習
- 第14回 応用編第十三課の総合練習
- 第15回 期末試験

【成績評価の方法】

定期試験、平常点、出席などによる総合評価。

【教科書】

丁秀山、坂井田ひとみ 編著『日常的対話』金星堂

【参考文献】

香坂順一 編『簡約 現代中国語辞典』光生館

【備考】

第1回で授業計画の詳細な説明を行う。

【準備学習の指示】

マイコンピュータのレッスンの録音を聞きながら予習・復習して下さい。
・02～07生は読替一覧参照

科目名	クラス	講義区分
中国史Ⅰ <春>		
石 黒 亜 維	2 単位	

【講義概要】

経済的な急成長をとげ、政治的にも影響力を拡大しつつある隣国中国。近年、日中関係の重要性がさまざまな局面において議論されているが、歴史を繙けば、その関係の始まりは古代にまで遡り、また相互認識・交流のあり方も時に応じて変化してきた。現代中国および日中関係に対する理解を深めるためには、中国はもとより日中間のこの長い動的な歴史をまず理解する必要がある。本講義では古代中国から明末清初までの中国史を概観する。中国に対する理解を深めるため、映像資料等も適宜活用していく。

【学習目標】

- (1) 通史としての基本的な事象を把握すること。
- (2) 具体的なトピックスを通して各時代の特徴を考察すること。

【講義計画】

- 第1回 「中国」とは何か
- 第2回 古代文明と初期王朝①
- 第3回 古代文明と初期王朝②
- 第4回 春秋戦国から秦の統一へ①
- 第5回 春秋戦国から秦の統一へ②
- 第6回 漢帝国と周辺地域①
- 第7回 漢帝国と周辺地域②
- 第8回 帝国の分裂と再統合①
- 第9回 帝国の分裂と再統合②
- 第10回 隋・唐帝国の形成①
- 第11回 隋・唐帝国の形成②
- 第12回 宋と北方諸民族①
- 第13回 宋と北方諸民族②
- 第14回 元から明へ①
- 第15回 元から明へ②

【成績評価の方法】

筆記試験、出席状況から総合的に判断する。

【教科書】

岸本美緒 中国社会の歴史的展開 放送大学教育振興会

【参考文献】

尾形勇、岸本美緒編『中国史』山川出版、1998年
山根幸夫『中国史研究入門』上下、山川出版社、1986年

【備考】

【準備学習の指示】

テキストを十分に活用し、予習・復習に努めてください。また歴史的視点から現代中国に関する時事問題等も適宜とりあげますので、日頃から新聞・雑誌等のメディアを通じて関連事項の情報収集を心がけてください。

・06～10生対象

た
行

科目名 クラス 講義区分	
中国史Ⅱ <秋>	
石 黒 亜 維	2単位

【講義概要】

19世紀半ば以来、中国は列強諸国からの支配を受け、その後隣国日本との戦争によって甚大なる被害を被り、中華人民共和国の成立後も国際的・国内的諸矛盾のなかにおかれるなど、中国にとって20世紀はまさに激動の世紀であった。本講義では中国の近現代史を東アジア諸国との関係を視野に入れつつ多角的にとりあげる。

【学習目標】

- (1)20世紀の中国社会はどのようなパラダイムで把握されてきたのかを理解する。
- (2)日中関係はどのような変遷をたどったのか考察する。
- (3)グローバル化の流れにある中国社会の変容を歴史的に検討する。

【講義計画】

- 第1回 清朝の成立とその治世①
- 第2回 清朝の成立とその治世②
- 第3回 「西洋の衝撃」と中国の反応①
- 第4回 「西洋の衝撃」と中国の反応②
- 第5回 辛亥革命と中華民国の成立①
- 第6回 辛亥革命と中華民国の成立②
- 第7回 中国ナショナリズムの高揚①
- 第8回 中国ナショナリズムの高揚②
- 第9回 第二次世界大戦と中国①
- 第10回 第二次世界大戦と中国②
- 第11回 内戦から新中国誕生へ①
- 第12回 内戦から新中国誕生へ②
- 第13回 中華人民共和国の27年①
- 第14回 中華人民共和国の27年②
- 第15回 現代中国の新たな展開

【成績評価の方法】

筆記試験、出席状況から総合的に判断する。

【教科書】

岸本美緒 中国社会の歴史的展開 放送大学教育振興会

【参考文献】

池田誠、副島昭一、西村成雄、安井三吉『図説中国近現代史（第3版）』法律文化社、2009年

【備考】

【準備学習の指示】

テキストを十分に活用し、予習・復習に努めてください。また歴史的視点から現代中国に関する時事問題等も適宜とりあげますので、日頃から新聞・雑誌等のメディアを通じて、関連事項の情報収集を心がけてください。

・06～10生対象

科目名 クラス 講義区分	
中国体験特講 <春>	
上 野 勝 男	2単位

【講義概要】

中国ビジネスキャリアコースの学生だけに開設された、キャリア形成を考えるための科目です。

日本と中国の間で、ビジネスなどで活躍されてきた外部の講師を何人かお招きして、その貴重な体験や若い学生に学んでほしいことなどを、様々な角度からお話いただきます。

【学習目標】

- (1)これから自分自身がどのように「中国ビジネス」のキャリアを作っていけばよいのかを考えながら講義を聴くことが、まず大切です。
- (2)その上で、講師の先生のビジネスや会社などについて、事前事後の学習をおこなって、先生のお話をより深く理解するように努力しましょう。

【講義計画】

- 第1回 授業のガイダンス：講師のスケジュールと、授業運営、成績評価などについてお話しします。
以下に掲げるのは昨年どのスケジュールですが、本年度についてはガイダンスでお知らせします。
- 第2回 中国の運輸業
- 第3回 中国との商取引
- 第4回 上海での起業経験
- 第5回 中国ビジネスの心構え
- 第6回 中国への企業進出
- 第7回 中国での事業展開
- 第8回 中国の合弁企業
- 第9回 南通の繊維産業
- 第10回 中国のビール市場
- 第11回 中国事情
- 第12回 大阪府と上海市
- 第13回 中国生活体験
- 第14回 講義のまとめ

【成績評価の方法】

中国ビジネスキャリアコースの1回生は必ず受講してください。きちんと毎回出席するのが一番肝心です。成績の評価については、ガイダンスでお話します。

【備考】

- 事前学習の指示
- 毎回の授業で、次回の授業までに進めておくべき準備あるいは課題についての指示を出します。
- ・インテグレーション科目

科目名 クラス 講義区分	
中国の自然と地域 <秋>	
馬 桂 芸	2単位

【講義概要】

中国の社会現象をより深く理解するためには、同国の自然・歴史・政治・経済・人文などいくつかの基本知識が必要不可欠である。本講義は中国の自然と地域を中心に、同国の国土に関する基本知識を提供する。本講義の前半では中国の気候、人口、河川、海洋、自然資源、農村、都市などの基本知識を提供する。後半では、地域構造、地域発展戦略、経済圏という総合的な視点から中国の地域の全体像を紹介する。また、分かり易くするために、講義の中で関連する映像を挿入して見る。それらを通じて中国に対する知識を深める。

【学習目標】

本講義を通じて、中国の自然地理の輪郭を把握し、中国関連問題における多様性と複雑性に対する理解を深める。

【講義計画】

- 第1回 ガイダンス
- 第2回 中国の自然と地域の概要
- 第3回 資源・環境・交通
- 第4回 人口・民族
- 第5回 江河湖泊と水利
- 第6回 DVD
- 第7回 農業と食文化
- 第8回 都市の発達と7大古都
- 第9回 DVD
- 第10回 地域構造と行政区分
- 第11回 地域発展戦略
- 第12回 DVD
- 第13回 経済圏
- 第14回 総復習
- 第15回 期末試験

【成績評価の方法】

試験 100%

【参考文献】

- 中国地理概論（単行本）
季 増民（著）
単行本：199ページ
出版社：ナカニシヤ出版（2008/10）
ISBN-10：4779502802
ISBN-13：978-4779502804
発売日：2008/10
定価：2400円＋税
中国情報ハンドブック 2008年版（2008）（単行本）
21世紀中国総研（編さん）
価格：¥ 3,150（税込）
単行本：629ページ
出版社：蒼蒼社（2008/08）
ISBN-10：4883600785
ISBN-13：978-4883600786
発売日：2008/08
中国経済地理（単行本）
胡 欣（著）、李 夫珍（著）、邵 秦（著）、青木 英一（翻訳）、北村 嘉行（翻訳）、上野 和彦（翻訳）
価格：¥ 1,165
単行本：412ページ
出版社：大明堂（1993/07）
ISBN-10：4470500402
ISBN-13：978-4470500406
発売日：1993/07
中国全省を読む地図—22省・4直轄市・5自治区・香港・マカオ・台湾（新潮文庫）（文庫）
莫 邦富（著、原著）
価格：¥ 500（税込）
文庫：282ページ
出版社：新潮社（2001/11）
ISBN-10：4101300232
ISBN-13：978-4101300238
発売日：2001/11

【備考】

・06～10生対象

科目名 クラス 講義区分	
中国ビジネスインターンシップ <秋>	
中 野 瑞 彦	8単位

【講義概要】

中国の南通市に進出している日系企業において実務に従事し、就業体験をする。

【学習目標】

各企業の業務内容を理解するとともに、任された各自の仕事を十分に習得する。

【講義計画】

- 第1回 企業内容・業務の説明
- 第2回 各自の仕事の説明と内容の把握
- 第3回 就業体験①
- 第4回 就業体験②
- 第5回 就業体験③
- 第6回 就業体験④
- 第7回 就業体験⑤
- 第8回 就業体験⑥
- 第9回 就業体験⑦
- 第10回 就業体験⑧
- 第11回 就業体験⑨
- 第12回 就業体験⑩
- 第13回 就業体験⑪
- 第14回 就業体験⑫
- 第15回 まとめ

【成績評価の方法】

出席 100%
各企業での就業体験が必須である。

【教科書】

別途指示する。

【参考文献】

別途指示する。

【備考】

・09生対象

科目名	クラス	講義区分
中国貿易投資事情 <春>		
上野 勝 男	2単位	

【講義概要】

この科目は、液晶ディスプレイなどの独自技術で躍進を続けるシャープ株式会社の全面的な協力を得ておこなうものです。

授業では、(1)シャープのこれまでの歩みから経営の理念・戦略を多角的に講義します。それと同時に、(2)シャープは、経済の台頭著しい中国に早くから生産拠点を構え、事業を発展させています。この中国戦略について、中国に進出する際にクリアしなければならなかった問題を、具体的な苦勞のエピソードを交えながらわかりやすく述べていく予定です。

【学習目標】

授業を通じて、中国経済・貿易投資の現状を理解すると共に、日本企業の対中国戦略について、今後の展望について関心と理解を深めることを目標とします。中国経済に関心のある諸君はもちろん、シャープやエレクトロニクス産業に興味ともつ諸君にも大いに役立つはずです。

【講義計画】

- 第1回 オリエンテーション
以下は2009年度の講義計画です。2010年度もほぼ同じ内容で進める予定ですが、第1回の授業でスケジュールを知らせますので確認してください。
- 第2回 シャープの中国事業戦略(1)
第3回 シャープの中国事業戦略(2)
第4回 シャープの中国事業戦略(3)
第5回 中国ビジネス解説(1)
第6回 シャープの中国事業戦略(4)
第7回 シャープの中国事業戦略(5)
第8回 シャープの中国マーケティング(1)
第9回 シャープのオンリーワン戦略
第10回 シャープの中国マーケティング(2)
第11回 シャープの中国マーケティング(3)
第12回 中国ビジネス解説(2)
第13回 シャープの人事制度
第14回 講義のまとめ

【成績評価の方法】

- (1)出席(聴講態度、出席カードへの記入) 40%
(2)課題(レポート2～3回) 30%
(3)試験(最終回の授業に予定) 30%
都合により評価配分を多少変更することがあります。

【備考】

授業中に私語をするなど、聴講態度が悪いと判断された場合は、教室からの退去を命じます。

また悪質な場合はただちに不合格を宣告しますので、くれぐれも注意してください。

事前学習の指示

毎回の授業で、次回の授業までに進めておくべき準備あるいは課題について指示を与えます。

- ・インテグレーション科目
- ・06～10生対象

科目名	クラス	講義区分
中小企業論 <春集>		
義永 忠 一	4単位	

【講義概要】

我が国経済は、戦後最長となる景気拡大期間を経験した後、2008年から経済環境が激変し、大きな変革の中にあります。中小企業論では、現状における中小企業に関する様々な問題を追いながら、現在の課題について講義を展開します。

【学習目標】

特に製造業を中心に取り上げ講義を行います。これまで中小企業論が注目してきた「問題性」の認識と現在の課題を広く把握することを学習の目標とします。また講義において注目する中小企業の現状を、多角的に分析することができるようになることを到達目標としたい。

【講義計画】

- 第1回 「中小企業論」とは何か～映像からみる中小企業研究の課題～
以下のシラバスにおいて、教科書以外に、ビデオ、独自資料を使った講義も行います。また、小テスト実施の関係から、講義計画の進展が変更される場合があります。
- 第2回 小テストに関する説明～新聞チェック：あなた自身の分析軸を作る～
- 第3回 中小企業を捉える視点～中小企業研究史1～
第4回 中小企業を捉える視点～中小企業研究史2～
第5回 変化する中小企業(1-1) 中堅企業・ベンチャー企業
第6回 変化する中小企業(1-2) 中堅企業・ベンチャー企業
第7回 変化する中小企業(2-1) 生産システム論の理解
第8回 変化する中小企業(2-2) 生産システム論の理解
第9回 中小企業をめぐる環境の変化-情報化(1-1) SCM理解
第10回 中小企業をめぐる環境の変化-情報化(1-2) SCM理解
第11回 中小企業をめぐる環境の変化-情報化(2-1) 1990年代後半の事例
第12回 中小企業をめぐる環境の変化-情報化(2-2) 2008年の追加検証事例
第13回 中小企業をめぐる環境の変化-グローバル化(1-1) 1980年代の映像
第14回 中小企業をめぐる環境の変化-グローバル化(1-2) 1980年代の理解
第15回 中小企業をめぐる環境の変化-グローバル化(2-1) 2000年以降の変化
第16回 中小企業をめぐる環境の変化-グローバル化(2-2) 2000年以降の理解
第17回 環境変化をどのように捉えるのか(小括1)
第18回 環境変化をどのように捉えるのか(小括2)
第19回 産業集積への注目 研究の背景
第20回 産業集積に関する事例(1-1) 東大阪地域
第21回 産業集積に関する事例(1-2) 東大阪地域
第22回 産業集積に関する事例(1-3) 東大阪地域
第23回 産業集積に関する事例(2-1) その他の地域
第24回 産業集積に関する事例(2-2) その他の地域
第25回 中小企業政策の現状1
第26回 中小企業政策の現状2
第27回 まとめ1
第28回 まとめ2

【成績評価の方法】

試験 100%
毎講義開始15分間、当日の日本経済新聞のチェックを行います。当日の日本経済新聞朝刊を購入して講義に臨んでください。不定期に、この新聞チェックに関する小テストを実施します。小テスト(40%)と学期末試験(60%)で評価します。小テスト実施の関係から、上記の授業計画の進展が変更される場合があります。また受講者数によっては、新聞チェックを、受講者によるグループディスカッションにて実施し、発表することも行います。詳細は、講義の第1回目に説明をします。

【教科書】

植田浩史編著 中小企業・ベンチャー企業論 有斐閣

【参考文献】

適宜、指示します。

【備考】

準備学習の指示
成績評価の欄を参照してください。

科目名	クラス	講義区分
朝鮮語 I a	01<春>	
朝鮮語 I a	02<春>	
尹 英 和	1単位	

【講義概要】

大韓民国で使われる朝鮮語(以下韓国語)を中心に授業を進めます。韓国語の文字及び発音を日本語の文字及び発音と比較しながら繰り返し練習します。

【学習目標】

日常生活でよく使う挨拶表現を用い、韓国語で簡単な自己紹介が出来る。

【講義計画】

- 第1回 韓国語の特徴の概要。8つの基本母音。
- 第2回 9つの基本頭子音、頭子音の語中での有声音化
- 第3回 や行の二重母音、基本挨拶表現。
- 第4回 わ行の二重母音、頭子音(激音・濃音)
- 第5回 末子音(パッチム)、日本語のハングル表記
- 第6回 復習、小テスト
- 第7回 助詞(が・は)の使い分け、9課
- 第8回 丁寧体1(요니다/습니다)
- 第9回 自己紹介、指示代名詞
- 第10回 丁寧体2(예요/이에요)
- 第11回 10課、数字表現
- 第12回 11課、否定表現(이/가 아니예요)、小テスト
- 第13回 12課、買い物場面(~을/를ください)
- 第14回 総復習
- 第15回 期末テスト

【成績評価の方法】

試験 80% 出席 20%

【教科書】

長谷川由紀子 コミュニケーション韓国語会話編1 白帝社

【備考】

・02~07生は読替一覧参照

科目名	クラス	講義区分
朝鮮語 I b	01<春>	
朝鮮語 I b	02<春>	
徳 成 外志子	1単位	

【講義概要】

朝鮮半島の文字「ハングル」は、わずか24の音素文字(基本母音字10、基本子音字14)の組み合わせによってできていて、とても合理的で平易です。また、「てにをは」があることや、語順などの文法事項も日本語に非常によく似ていて、日本人にとって最も学びやすい外国語です。

この授業では、朝鮮語の初学者を対象に、文字・発音・基礎的文法事項を初歩から学習します。初めにハングル文字の読み・書きを徹底して身につけ、以後も常に音読を重視します。テキストに沿って7課まで学習し、ハムニダ体(上称形)名詞文、名詞文の否定と尊敬、ハムニダ体用言文、用言文の否定などを学び、辞書を引けるようにし、あいさつや、習った範囲での簡単な作文や会話も行えるようにします。また折に触れて、朝鮮半島の社会や文化等に対しても理解を深めるようにします。

授業は基本的に韓国で使われている言葉を中心に学び、北朝鮮で韓国と異なって使われている部分は、適宜補注していきます。

【学習目標】

朝鮮語の文字が発音し書けるようになる。基礎的文法事項を習得し、辞書が引けるようになる。簡単なあいさつや自己紹介、習った範囲での作文・読解などができる。

【講義計画】

- 第1回 年間及び今学期の授業のガイダンス、朝鮮語の特徴、基本母音字
- 第2回 基本子音字、反切表
- 第3回 反切表復習、濃音、合成母音字
- 第4回 終声、2文字の終声
- 第5回 連音、ハングルによる日本語表記
- 第6回 いろいろなあいさつ、総合復習問題
- 第7回 第5課 田中です：名詞文
- 第8回 第5課 田中です：名詞文
- 第9回 第6課 私のカバンではありません：名詞文の否定と尊敬
- 第10回 第6課 私のカバンではありません：名詞文の否定と尊敬
- 第11回 第7課 どこにありますか：用言文の肯定
- 第12回 第7課 どこにありますか：用言文の否定
- 第13回 第7課 どこにありますか：用言文・助詞など
- 第14回 今学期の総復習
- 第15回 期末テスト

【成績評価の方法】

期末テスト(60%)、平常の出席、小テスト、宿題、発音・聞き取りのチェックなど(40%)を総合的に評価する。

【教科書】

生越直樹・曹喜澈『ことばの架け橋』(CD付き) 白帝社

【参考文献】

油谷幸利他編『朝鮮語辞典』小学館。『ポケットプログレッシブ韓日・日韓辞典』小学館。その他、授業で適宜紹介する。

【備考】

必ず予習・復習をする。出てきた単語や文章は、発音し、書きながら覚える。街や身の回りでも韓国語を見かけるから、応用してみる。

・02~07生は読替一覧参照

科目名 クラス 講義区分	
朝鮮語Ⅱ a 01<秋> 朝鮮語Ⅱ a 02<秋>	
尹 英 和	1 単位

【講義概要】

大韓民国で使われる朝鮮語(以下韓国語)を中心に授業を進めます。韓国語の文字及び発音を日本語の文字及び発音と比較しながら繰り返し練習します。

【学習目標】

日常生活でよく使う挨拶表現を用い、韓国語で簡単な自己紹介が出来る。

【講義計画】

- 第1回 存在の有無(있어요/없어요)
- 第2回 誕生日及び歳をたずね合う、指示ゲーム(-세요/으세요)
- 第3回 時間を表す表現(언제)
- 第4回 単語帳(スポーツ)
- 第5回 丁寧体(-아요/어요)
- 第6回 小テスト、質問と答え：週末たい何をしていますか？
- 第7回 好き・嫌い表現
- 第8回 否定表現(안+丁寧表現)
- 第9回 否定表現(-지 않아요)
- 第10回 丁寧過去体(-았어요/었어요)
- 第11回 否定表現(못+丁寧表現)
- 第12回 小テスト、質問と答え：週末何をしましたか？
- 第13回 希望表現
- 第14回 総復習
- 第15回 期末テスト

【成績評価の方法】

試験 80% 出席 20%

【教科書】

長谷川由紀子 コミュニケーション韓国語会話編1 白帝社

【備考】

・02～07生は読替一覧参照

科目名 クラス 講義区分	
朝鮮語Ⅱ b 01<秋> 朝鮮語Ⅱ b 02<秋>	
徳 成 外志子	1 単位

【講義概要】

朝鮮語1bで学習した内容を定着させながら、さらに次の段階の文法事項を系統的に学習していきます。具体的には、テキストに沿って8課から12課の前半までを学習し、数詞・疑問詞の使い方、尊敬形、連用形・へヨ体(略待上称形)、へヨ体の尊敬形、過去形などを学びます。韓国語の読解力を向上させることを主としますが、すらすら読めるよう発音も重視し、作文や会話も取り入れ総合的に韓国語能力を向上させていきます。また折に触れて、朝鮮半島の社会や文化等に対しても理解を深めるようにします。

授業は基本的に韓国で使われている言葉を中心に学び、北朝鮮で韓国と異なって使われている部分は、適宜補注していきます。

【学習目標】

朝鮮語の文字がスムーズに読めるようになる。数詞・疑問詞の使い方、尊敬形、連用形・へヨ体(略待上称形)、へヨ体の尊敬形、過去形などの基礎的文法事項を習得し、辞書を引きながら簡単な朝鮮語の文章が読解でき、簡単な作文や会話も行える。

【講義計画】

- 第1回 第8課 1万3千ウォンです：漢数詞、年月日など
- 第2回 第8課 1万3千ウォンです：固有数詞、時間など
- 第3回 第8課 1万3千ウォンです：疑問詞、助詞など
- 第4回 第8課 1万3千ウォンです、総合復習問題
- 第5回 第9課 どこに行かれますか：尊敬形
- 第6回 第9課 どこに行かれますか：尊敬形
- 第7回 第10課 もう少しまけてください：連用形
- 第8回 第10課 もう少しまけてください：連用形の縮約、へヨ体
- 第9回 第10課の復習、およびビデオ教材など
- 第10回 第11課 ちょっとお待ちください：へヨ体の尊敬形
- 第11回 第11課 ちょっとお待ちください：へヨ体の尊敬形
- 第12回 第12課 何をなさいましたか：過去形
- 第13回 第12課 何をなさいましたか：過去形
- 第14回 後期の総復習
- 第15回 期末テスト

【成績評価の方法】

期末テスト(60%)、平常の出席、小テスト、宿題、発音・聞き取りのチェックなど(40%)を総合的に評価する。

【教科書】

生越直樹・曹喜澈『ことばの架け橋』(CD付き) 白帝社

【参考文献】

油谷幸利他編『朝鮮語辞典』小学館。『ポケットプログレッシブ韓日・日韓辞典』小学館。その他、授業で適宜紹介する。

【備考】

必ず予習・復習をする。出てきた単語や文章は、発音し、書きながら覚える。街や身の回りでも韓国語を見かけるから、応用してみる。

・02～07生は読替一覧参照

科目名 クラス 講義区分	
朝鮮語Ⅲ a <春>	
尹 英 和	1 単位

【講義概要】

朝鮮語Ⅰ、朝鮮語Ⅱで学習した内容を基に各課で新しく学習した発音・語彙・文型を中心にし口頭練習を繰り返していきます。

【学習目標】

韓国語で簡単な質問をし、返事を聞き取ることができる。
韓国の実生活と文化にかかわるトピックが理解できる。

【講義計画】

- 第1回 (1課)条件表現：～면/으면、可能(能力)：～ㄴ/을 수 있다(없다)
- 第2回 (2課)意向を尋ねる：～ㄴ/을까요?、禁止：-지 마십시오
- 第3回 (3課)能力否定：못、意図・計画：～려고/으려고
- 第4回 (4課)理由・原因：～아서/어서
- 第5回 復習・小テスト
- 第6回 (5課)形容詞の現在連体形：～ㄴ/은
- 第7回 (6課)動詞の現在連体形：～는
- 第8回 (7課)動詞の過去連体形：～ㄴ/은、理由：～니까/으니까
- 第9回 (8課)動詞の未来連体形：～ㄴ/을
- 第10回 復習・小テスト
- 第11回 (9課)前提動作：～아서/어서、動詞や文の名詞化：～는 것
- 第12回 (10課)進行・状態の継続：～고 있다、同時動作：～면서/으면서、試み：～아/어 보다
- 第13回 (11課)前提説明：～ㄴ/은데・～는데、過去の経験：～ㄴ/은 적이 있다(없다)
- 第14回 (12課)同意・確認：～지요?
- 第15回 期末テスト

【成績評価の方法】

試験 90% 出席 10%
期末テスト50%、小テスト：各20%

【教科書】

ガナダ韓国語学院 가나다 KOREAN For Jananese 初級 2 LanguagePLUS
Tel:82-1588-1582、
テキストは韓国で出版されたもので、定価20,000ウォンのものです。振込み確認後郵送してくれるそうです。(郵送料は出版社が持ちます。)

【備考】

・02～07生は読替一覧参照

科目名 クラス 講義区分	
朝鮮語Ⅲ b <春>	
青 野 正 明	1 単位

【講義概要】

「朝鮮語Ⅰ・Ⅱ」で学んだ基礎力をもとに、ⅢbとⅣbではさらに文法をしっかり学びながら、徐々に難しい文章の翻訳ができるように進めていく。この時期は、ある程度の基礎的な文法がわかっているため、高度な文法や文章表現の理解も容易であろう。

【学習目標】

1年間の学習を終えた段階で、辞書を引ながら新聞記事や簡単な論説文が翻訳できることを目標とする。

【講義計画】

- 第1回 授業計画・辞書・成績評価等の説明
- 第2回 11課
- 第3回 12課
- 第4回 復習
- 第5回 13課
- 第6回 14課
- 第7回 復習、練習問題(連用形)
- 第8回 練習問題(11～14課)
- 第9回 15課
- 第10回 16課
- 第11回 17課
- 第12回 復習
- 第13回 韓国のWEBサイトを訳してみよう
- 第14回 練習問題(11～17課)

【成績評価の方法】

期末テスト(100点満点)の点数から2点×欠席回数、1点×遅刻回数を減点して最終的な成績を出す。

【教科書】

金東漢・張銀英 改訂版 韓国語レッスン 初級Ⅱ スリーエーネットワーク

【備考】

予習・復習が語学力を伸ばします。
・02～07生は読替一覧参照

た
行

科目名 クラス 講義区分	
朝鮮語Ⅳ a <秋>	
尹 英 和	1 単位

【講義概要】

朝鮮語Ⅰ、朝鮮語Ⅱで学習した内容を基に各課で新しく学習した発音・語彙・文型を中心にし口頭練習を繰り返していきます。

【学習目標】

韓国語で簡単な質問をし、返事を聞き取ることができる。
韓国の実生活と文化にかかわるトピックが理解できる。

【講義計画】

- 第1回 (13課)義務表現：～아야/어야 해요
- 第2回 (14課)感情表現の動詞化：～아하다/어하다
- 第3回 (15課)時間の表現：～르/을 때、推量表現：～르/을 것 같다
- 第4回 *
- (16課)形容詞の変化：～아지다/어지다
- 第5回 復習・小テスト
- 第6回 (17課)状況の変化：～이/가 되다, 意思・予定・推量：～르/을 거예요
- 第7回 (18課)授受表現：～아/어 주다
- 第8回 (19課)方向：～아/어 가다, ～아/어 오다
- 第9回 (20課)婉曲表現：～ㄴ/은데요, ～는데요
- 第10回 復習・小テスト
- 第11回 (21課)推測疑問：～르/을까요, 許可：～아도/어도 되다
- 第12回 (22課)不規則活用：르,
- 第13回 (23課)推測表現：～ㄴ/은 것 같다, ～는 것 같다
- 第14回 (24課)発見：～니까/으니까
- 第15回 期末テスト

【成績評価の方法】

試験 90% 出席 10%
期末テスト：50%、各小テスト20%

【教科書】

ガナダ韓国語学院 가나다KOREAN For Jananese 初級2 LanguagePLUS
Tel:82-1588-1582、
テキストは韓国で出版されたもので、定価20,000ウォンのものです。振込み確認後郵送してくれるそうです。(郵送料は出版社が持ちます。)

【備考】

・02～07生は読替一覧参照

科目名 クラス 講義区分	
朝鮮語Ⅳ b <秋>	
青 野 正 明	1 単位

【講義概要】

「朝鮮語Ⅰ・Ⅱ」で学んだ基礎力をもとに、ⅢbとⅣbではさらに文法をしっかり学びながら、徐々に難しい文章の翻訳ができるように進めていく。この時期は、ある程度の基礎的な文法がわかっているため、高度な文法や文章表現の理解も容易であろう。

【学習目標】

1年間の学習を終えた段階で、辞書を引きながら新聞記事や簡単な論説文が翻訳できることを目標とする。

【講義計画】

- 第1回 18課
- 第2回 19課
- 第3回 復習
- 第4回 20課
- 第5回 21課
- 第6回 22課
- 第7回 復習
- 第8回 23課
- 第9回 24課
- 第10回 復習
- 第11回 25課
- 第12回 復習、韓国のWEBサイトを訳してみよう
- 第13回 練習問題 (18～25課)
- 第14回 練習問題 (11～17課)

【成績評価の方法】

期末テスト (100点満点) の点数から2点×欠席回数、1点×遅刻回数を減点して最終的な成績を出す。

【教科書】

金東漢・張銀英 改訂版 韓国語レッスン 初級Ⅱ スリーエーネットワーク

【備考】

予習・復習が語学力を伸ばします。
・02～07生は読替一覧参照

科目名	クラス	講義区分
地理学概論	01<春集>	
地理学概論	02<秋集>	
野 尻 亘		4単位

【講義概要】

地理学は、具体的な現実の「地域」、地域間の諸関係を反映した理論的・抽象的な「空間構造」および、人間の「空間的行動」や「環境知覚」などを研究対象とし、固有の理論や法則・思想を持っている。この授業では、これらの考え方を学ぶとともに、人文地理学や自然地理学の基礎について、一般的かつ包括的に幅広く、総合的に学習する。

【学習目標】

日本および世界の自然環境・景観・土地利用の特色について概説する。また人文地理学の方法論および経済立地理論・都市社会空間理論については、古典理論から、ポストモダンに至るまでの現代思想の動向をふまえた地理学の最新理論について学習を行う。

【講義計画】

- 第1回 第I部 地理学の思想
地理学とは何か
- 第2回 近代地理学の誕生 地域生態系の発見
- 第3回 地球環境問題
- 第4回 機能体としての地域の発見
- 第5回 空間構造、流動とネットワーク、重力モデル
- 第6回 時間と空間における個人の制約：時間地理学
- 第7回 人文主義地理学
- 第8回 構造主義・構造化理論と批判的地理学
- 第9回 リアリズム・ポストモダンの地理学
- 第10回 第II部 自然環境の地理
地球の起源と生命の歴史
- 第11回 プレートテクトニクスと弧状列島
- 第12回 地形の特色をさぐる
- 第13回 世界の気候と植生
- 第14回 日本の気候
- 第15回 日本列島の自然
- 第16回 第III部 産業活動の地理
経済地理学と立地論・中心地理論 チューネンからクルーグマンまで
- 第17回 世界の農業地域区分
- 第18回 世界の森林と林業
- 第19回 世界の漁場と水産業
- 第20回 近代工業の成立とその地域的条件
- 第21回 地場産業
- 第22回 世界の主要工業地域
- 第23回 流通と貿易の変化
- 第24回 第IV部 居住と移動の地理
人口移動と人口転換
- 第25回 アフリカの飢餓食糧問題
- 第26回 村落の社会地理
- 第27回 都市の社会空間
- 第28回 旅客交通とツーリズム
- 第29回 補論 地形図の基礎・地理と学校教育
地形図の読解
- 第30回 地理と学校教育

【成績評価の方法】

試験 100%

定期期間内試験（期末テスト）の得点のみで成績をつけます。試験はノート・教科書の持込不可です。教職に関連する科目なので、内容が幅広く、学習する事項が多くて負担が大きいですので、注意して履修してください。

【教科書】

野尻亘・古田昇 世界市民の地理学 晃洋書房

【参考文献】

地理学に関する文献については、授業中に適時紹介する。中学・高校時に使用した「地図帳」が家に残っていれば、授業に持参していただければ幸いです。

【備考】

地理学の基礎知識を本格的に身につけるためには、欧米のすぐれた最新の地理学論文を読むことが必要です。そのためには、地理学の学習以前に英語・数学・統計学・経済学理論・社会学理論を理解することも必要となってきます。

科目名	クラス	講義区分
データ解析実習	01<春集>	
阪 口 祐 介		4単位

【講義概要】

この科目は「社会調査A」「社会調査B」の単位取得者を対象に開講されるものである。少人数の演習形式によって、社会調査に関する深い知識と技法、特に統計解析諸技法の習得についてのものである。

【学習目標】

授業では、(1)過去の調査実習報告書や研究論文などの輪読・検討を通して、基本的な資料とデータの分析、量的データ解析の基礎的な手法について学ぶとともに、(2)「社会科学のための統計パッケージ」(SPSS)を活用しながら、既存データの再集計と分析をおこなうことで、統計解析諸技法を使いこなせるようになることを目指す。また、秋学期の「社会調査実習II」に向けて、各自が社会調査の問題意識を持ち、学期末には調査計画書の提出を義務付ける。

なお、調査実習は講義科目とも演習科目とも異なり、正規の授業時間以外にもきわめて多くの共同学習や作業の時間を必要とするので、学生諸君には、それなりの心がまえをもって履修してもらいたい。遅刻や無断欠席、不真面目な受講態度などは履修放棄とみなし、学期途中であっても除名する。

【講義計画】

- 第1回 実習の計画（必要な場合は実習生のグループ分け）
- 第2回 過去の調査報告書の検討 ①問題意識と仮説を学ぶ
- 第3回 過去の調査報告書の検討 ②問題意識と仮説を学ぶ
- 第4回 過去の調査報告書の検討 ①記述統計データの読み方・まとめ方（単純集計・度数分布）
- 第5回 過去の調査報告書の検討 ②記述統計データの読み方・まとめ方（代表値・平均値・分散）
- 第6回 過去の調査報告書の検討 ③記述統計データの読み方・まとめ方（クロス集計・比率の差）
- 第7回 過去の調査報告書の検討 ①相関関係と因果関係、疑似相関の概念（クラマー係数、ファイ係数）
- 第8回 過去の調査報告書の検討 ②相関関係と因果関係、疑似相関の概念（ピアソン係数、ケンドール係数）
- 第9回 過去の調査報告書の検討 ③相関関係と因果関係、疑似相関の概念
- 第10回 研究論文の検討 ①統計データの社会的分析法
- 第11回 研究論文の検討 ①多変量解析の基礎（重回帰分析）
- 第12回 研究論文の検討 ②多変量解析の基礎（因子分析、主成分分析）
- 第13回 研究論文の検討 ①さまざまな計量モデルを学ぶ（重回帰、ロジット回帰）
- 第14回 研究論文の検討 ②さまざまな計量モデルを学ぶ（数量化理論）
- 第15回 既存データの再集計 ①SPSSの基礎
- 第16回 既存データの再集計 ②SPSSの基礎
- 第17回 既存データの再集計 ①SPSSの応用
- 第18回 既存データの再集計 ②SPSSの応用
- 第19回 既存データの再集計 ①SPSSのプログラミング
- 第20回 既存データの再集計 ②SPSSのプログラミング
- 第21回 既存データの再集計 ③SPSSのプログラミング
- 第22回 データ分析と仮説検証 ①問題意識と仮説
- 第23回 データ分析と仮説検証 ①統計的検定
- 第24回 データ分析と仮説検証 ②統計的検定
- 第25回 データ分析と仮説検証 ①因果関係のエラボレーション
- 第26回 データ分析と仮説検証 ②因果関係のエラボレーション
- 第27回 データ分析と仮説検証 ①多変量解析の実際（重回帰分析）
- 第28回 データ分析と仮説検証 ②多変量解析の実際（因子分析、主成分分析）
- 第29回 データ分析と仮説検証 ①分析結果のまとめ・発表
- 第30回 データ分析と仮説検証 ②分析結果のまとめ・発表

【成績評価の方法】

実習活動への参加（毎回の出席は最低条件）と、小レポートなどの提出物、発表内容、学期提出の調査計画書（4000字程度）によって評価する。

【教科書】

大谷信介ほか編著『社会調査へのアプローチ[第2版]』ミネルヴァ書房

【備考】

- ・02～08生対象
- ・02～07生は読替一覧参照

た
行

科目名 クラス 講義区分	
データ解析実習 02<秋集>	
竹中英紀	4単位

【講義概要】

この科目は「社会調査A」「社会調査B」の単位取得者を対象に開講されるものである。少人数の実習形式により、(1)過去の調査実習報告書や研究論文などの輪読・検討を通して、基本的な資料とデータの分析、量的データ解析の基礎的な手法について学ぶ。また、(2)「社会科学のための統計パッケージ」(SPSS)を活用しながら、既存データの再集計と分析に取り組む。さらに、(3)次年度春学期の「社会調査実習」に向けて、各自が問題意識を持ち、仮説を構築して、調査計画書を執筆する。

【学習目標】

社会調査に関する深い知識と技法、特に統計解析の諸技法を習得することをめざす。またそれをふまえて、みずから社会調査の企画を立て、プレゼンテーションをする能力を身につけることを目標とする。

【講義計画】

- 第1回 実習の計画 (必要な場合は実習生のグループ分け)
- 第2回 過去の調査報告書の検討 (1)問題意識と仮説を学ぶ
- 第3回 過去の調査報告書の検討 (2)問題意識と仮説を学ぶ
- 第4回 過去の調査報告書の検討 (1)記述統計データの読み方・まとめ方 (単純集計・度数分布)
- 第5回 過去の調査報告書の検討 (2)記述統計データの読み方・まとめ方 (代表値・平均値・分散)
- 第6回 過去の調査報告書の検討 (3)記述統計データの読み方・まとめ方 (クロス集計・比率の差)
- 第7回 過去の調査報告書の検討 (1)相関関係と因果関係、疑似相関の概念 (クラマー係数、ファイ係数)
- 第8回 過去の調査報告書の検討 (2)相関関係と因果関係、疑似相関の概念 (ピアソン係数、ケンドール係数)
- 第9回 過去の調査報告書の検討 (3)相関関係と因果関係、疑似相関の概念
- 第10回 研究論文の検討 (1)統計データの社会的分析法
- 第11回 研究論文の検討 (1)多変量解析の基礎 (重回帰分析)
- 第12回 研究論文の検討 (2)多変量解析の基礎 (因子分析、主成分分析)
- 第13回 研究論文の検討 (1)さまざまな計量モデルを学ぶ (重回帰、ロジット回帰)
- 第14回 研究論文の検討 (2)さまざまな計量モデルを学ぶ (数量化理論)
- 第15回 既存データの再集計 (1)SPSSの基礎
- 第16回 既存データの再集計 (2)SPSSの基礎
- 第17回 既存データの再集計 (1)SPSSの応用
- 第18回 既存データの再集計 (2)SPSSの応用
- 第19回 既存データの再集計 (1)SPSSのプログラミング
- 第20回 既存データの再集計 (2)SPSSのプログラミング
- 第21回 既存データの再集計 (3)SPSSのプログラミング
- 第22回 データ分析と仮説検証 (1)問題意識と仮説
- 第23回 データ分析と仮説検証 (1)統計的検定
- 第24回 データ分析と仮説検証 (2)統計的検定
- 第25回 データ分析と仮説検証 (1)因果関係のエラボレーション
- 第26回 データ分析と仮説検証 (2)因果関係のエラボレーション
- 第27回 データ分析と仮説検証 (1)多変量解析の実際 (重回帰分析)
- 第28回 データ分析と仮説検証 (2)多変量解析の実際 (因子分析、主成分分析)
- 第29回 データ分析と仮説検証 (1)分析結果のまとめ・発表
- 第30回 データ分析と仮説検証 (2)分析結果のまとめ・発表

【成績評価の方法】

常日頃の発表内容 (30%)に加えて、司会やコメント、クラスの運営などで発揮する力量 (20%)、学期末提出の調査計画書 (4000字程度、50%)を総合して評価する。

【参考文献】

- [1] 田窪正則『SPSSで学ぶ調査系データ解析』東京図書、2009年。
- [2] 浦上昌則・脇田貴文『心理学・社会科学研究のための調査系論文の読み方』東京図書、2008年。
- [3] 村瀬洋一・高田洋・廣瀬毅士編『SPSSによる多変量解析』オーム社、2007年。

【備考】

【準備学習の指示】

この科目は、「社会調査A」と「社会調査B」の両方の単位をすでに修得していることが、受講のための前提条件になる。授業で用いる学術論文の読解や統計手法の習得にあたっては、辞書・事典や解説書などを適宜参照すること。半期集中のため授業の間隔が短い、その短い準備期間に、大量の資料・論文を読みこなしていかなければならない。またデータの統計解析についても、コンピュータの基本的操作だけにとどまらず、専用のプログラミング言語 (SPSS Syntax) の修得が不可欠である。

・08~09生対象